

海洋の未来を拓くために

国立大学法人

東京海洋大学

Tokyo University of Marine Science and Technology



ガイドブック 2023



皆さんは 海からどのような “声”が聞こえてきますか。

世界中には様々な人々が生活していて、様々な形で海と関わっています。

ある人は、生命に満ち溢れた、母なる海の優しい歌声が聞こえるかも知れません。

また、ある人は、環境破壊で苦しめられる悲痛な声が聞こえているかも知れません。

東京海洋大学の理念と目標等

大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

大学像

海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学。

大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、海を守り、海を利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

1. 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
2. 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
3. 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力
4. 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力
5. 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

本学ではさまざまな取組みを通して、 諸君のチャレンジを応援します。

2016年にスタートしたOQEANOUS（Oversea Quality-assured Education in Asian Nations for Ocean University Students）プログラムでは、国際的な単位互換制度（ボローニャ・プロセス）に準拠した教育の質保証制度に基づいて、ダブルディグリーを含む種々の海外派遣プログラムを提供してきました。国際社会での活躍を目指す多くの学生諸君の積極的な挑戦が、文部科学省による最終評価において最も優れた「S評価」を獲得しました。このプログラムを発展させたOQEANOUS Plus「持続可能な海洋開発・利用を実現する高度専門職業人養成プログラム」が2021年11月に採択され、進行中の3つの国費外国人留学生の優先配置特別プログラムと併せて、本学のグローバル教育研究を支える事業として力強く推進されています。

また、「コロナ禍による船舶の集団感染や魚介類の価格低迷等の課題を解決に導く海洋研究手法のパラダイムシフト」が令和3年度国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）として採択されました。これに伴い、共同利用機器センターを産学・地域連携推進機構に統合するとともに、卓越大学院プログラム推進室と創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト支援室を新たに設置し、学内の教育研究支援体制の強化を進めています。

INDEX

学長挨拶

学長 井関俊夫…………… 1

東京海洋大学学部・学科早見表…………… 2

沿革…………… 4

海洋生命 科学部

P.5

海洋生物資源学科…………… 7

食品生産科学科…………… 11

海洋政策文化学科…………… 15

海洋 工学部

P.19

海事システム工学科…………… 21

海洋電子機械工学科…………… 25

流通情報工学科…………… 29

海洋資源 環境学部

P.33

海洋環境科学科…………… 35

海洋資源エネルギー学科…………… 39

卒業後の進路について…………… 43

専攻科・実習科…………… 43

大学院…………… 44

学生交流協定校への交換留学(短期派遣)…………… 45

国際交流体験…………… 46

海外との共同研究／学生交流…………… 47

練習船／水圏科学フィールド教育研究センター…………… 48

施設紹介…………… 49

キャンパスライフ…………… 50

学生生活サポート…………… 53

入試・入学・就職関連データ

入試概要／2023年度募集人員…………… 55

令和4年度入学選抜データ…………… 56

令和4年度入試男女別入学状況…………… 58

令和4年度都道府県別志願者・入学者データ…………… 59

令和3年度卒業生の進路状況・就職状況…………… 59

キャンパスガイド…………… 60

東京海洋大学

品川キャンパス

海洋生命科学部

アドミッションポリシー

海洋生命科学部では、生命科学をはじめとする自然科学、人文・社会科学の深い理解を基盤に、人類社会の持続可能な発展に資するために、海洋を含む水圏に関するグローバルな諸課題に関心を持ち、世界をリードする研究を通して、海洋生物資源の利用、食品の生産・流通、人と海の共生などの分野に意欲的に取り組む学生を求めています。

海洋生物
資源学科

食品生産
科学科

海洋政策
文化学科

学べること

- 水生生物・魚貝類の体のしくみ
- 水生生物の飼育技術
- 生物多様性
- 生物資源
- 資源生態
- バイオテクノロジー
- ゲノム科学

- 食品の物性
- 保存方法
- 冷凍工学
- 微生物の利用
- 食の安心・安全
- 栄養と健康
- 未利用資源
- 食品加工
- 美味しさ

- 海洋政策
- 海洋法
- 海洋産業
- 水産経済
- 沿岸域・海洋管理
- 海洋保全
- 海洋文化
- マリンスポーツ
- 環境教育
- 生命・環境倫理

身につく知識・資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科・水産)
- 学芸員
- 三級海技士(航海)^{*1}
- 技術士補

- 高等学校教諭一種免許状(理科・水産)
- 学芸員
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 三級海技士(航海)^{*1}
- 技術士補

- 高等学校教諭一種免許状(理科・水産)
- 学芸員
- 三級海技士(航海)^{*1}
- 技術士補

^{*1} 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び海洋科学専攻科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

卒業後の進路

大学院 進学	58.8%	大学院 進学	58.3%	大学院 進学	21.6%
海洋科学 専攻科進学	1.5%	海洋科学 専攻科進学	3.3%	海洋科学 専攻科進学	10.8%
就職	36.8%	就職	36.7%	就職	64.9%
その他	2.9%	その他	1.7%	その他	2.7%

令和2年度卒業生のデータより

学部・学科 早見表

越中島キャンパス

品川キャンパス

海洋工学部

アドミッションポリシー

海洋工学部では、人類社会の持続的発展に資するため、海上輸送に関するグローバルな諸課題に関心を持ち、世界をリードする研究を通して、安全な運航、制御システム、省エネルギー技術、ロジスティクスなどについて、国際的な視野に立つ指導的エンジニアとして工学的視点から問題を解決しようとする意欲を持つ人を求めています。

海事
システム
工学科

海洋電子
機械工学科

流通情報
工学科

学べること

- 船舶運航
- 運航管理
- 船舶工学
- 情報・通信
- 海上交通システム
- システム工学
- 衛星測位工学
- 海洋気象学
- 海事法規
- 国際法
- 海事英語
- 海上危機管理
- エンジン
- ロボット
- 動力システム
- 制御システム
- 電気・電子機器
- 新材料
- 省エネ技術
- 環境対策技術
- 設計・製造技術
- ロジスティクス
- 物流管理
- 国際物流
- 交通計画
- 交通経済
- 流通経営
- 数理情報
- プログラミング

身につく知識・資格

- 高等学校教諭一種免許状（商船・工業）
- 第一級海上特殊無線技士
- 三級海技士（航海）^{※1}
- 船舶衛生管理者^{※3}
- 電子海図情報表示装置（ECDIS）講習の資格^{※4}
- 高等学校教諭一種免許状（商船・工業）
- 三級海技士（機関）^{※2}
- 船舶衛生管理者^{※3}
- 高等学校教諭一種免許状（工業）
- 授業で関係する内容を学べる資格：情報処理技術者、通関士、中小企業診断士、ビジネス・キャリア検定（ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション）

※1 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、海事システム工学科を卒業後、乗船実習科（p.43）を修了すれば、筆記試験が免除されます。
 ※2 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、機関システム工学コースを卒業後、乗船実習科（p.43）を修了すれば、筆記試験が免除されます。
 ※3 海事システム工学科、機関システム工学コースのいずれかを卒業し、乗船実習科（p.43）を修了後、講習受講により取得できます。
 ※4 三級海技士に合格することで、電子海図情報表示装置（ECDIS）搭載船舶に乗船できる資格を取得できます。

卒業後の進路

大学院進学	19.1%	大学院進学	26.7%	大学院進学	20.5%
乗船実習科進学	42.6%	乗船実習科進学	33.3%	就職	76.9%
就職	27.7%	就職	36.7%	その他	2.6%
その他	10.6%	その他	3.3%		

令和2年度卒業者のデータより

海洋資源環境学部

アドミッションポリシー

海洋資源環境学部では、海洋環境・海洋生物・資源・エネルギーに関するグローバルな諸課題に関心を持ち、環境の保全、海洋や資源の持続的利用、エネルギーの効率的利用などへの取り組みに意欲を持つ学生を求めています。

海洋環境
科学科

海洋資源
エネルギー
学科

学べること

- 気候変動
- 地球温暖化
- 環境保全
- 海流
- 波
- 混合・拡散
- 物質循環
- 海洋生物の分類と生理・生態・生化学
- 生物多様性
- 海洋生態系
- 海洋生物からの有用物質
- 海底資源開発・探査技術
- 再生可能エネルギー
- 自動制御技術
- 国際海洋管理
- 地震活動・津波・海底地殻変動
- 超電導・電気電子デバイス
- 海洋・沿岸構造物
- 水中音響センシング・測位技術
- 化学センシング技術
- 環境保全技術
- 船舶・海上労働安全

身につく知識・資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）
- 高等学校教諭一種免許状（水産）
- 技術士補
- 学芸員
- 三級海技士（航海）^{※1}
- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）
- 高等学校教諭一種免許状（水産）
- 技術士補
- 学芸員
- 三級海技士（航海）^{※1}

※1 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び海洋科学専攻科（p.43）を修了すれば、筆記試験が免除されます。

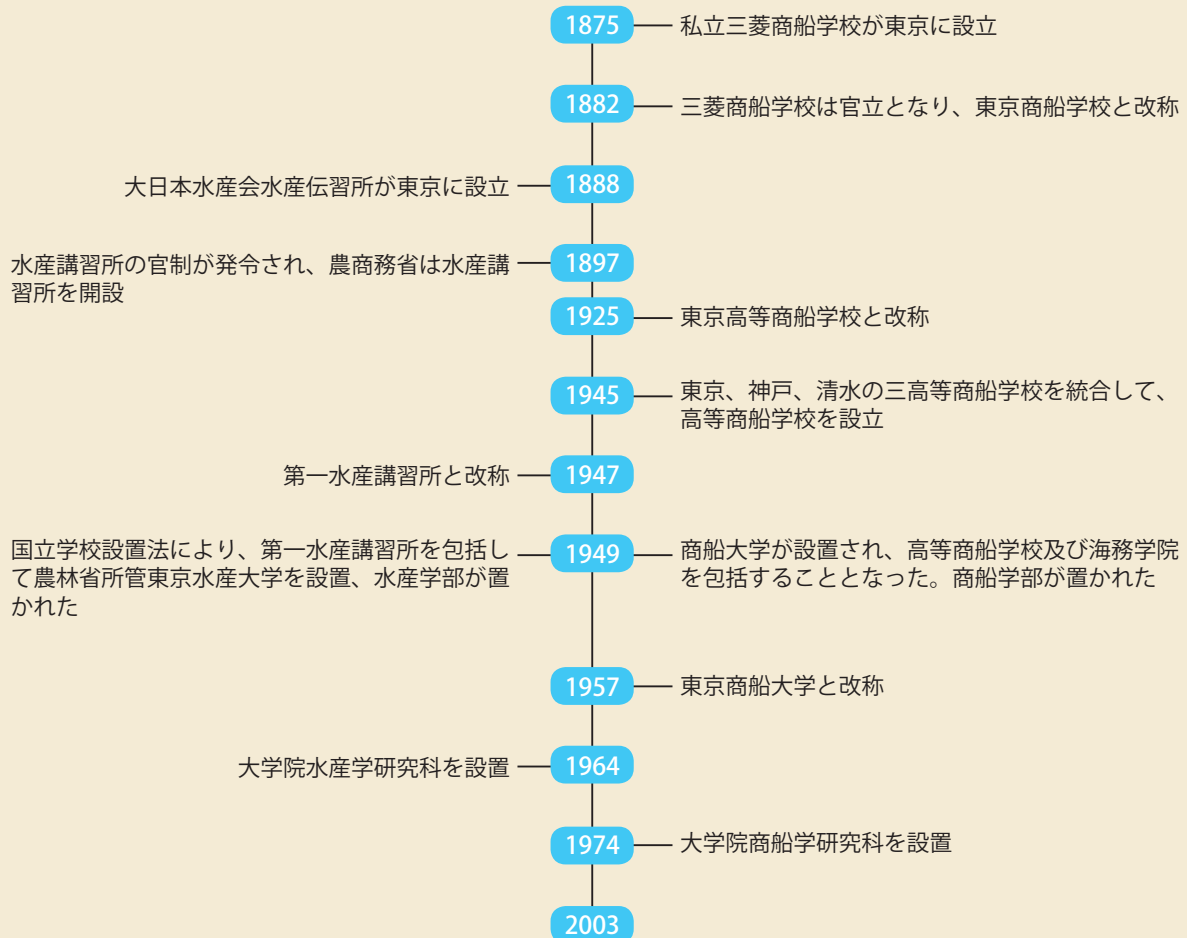
卒業後の進路

大学院進学	67.2%	大学院進学	57.2%
海洋科学専攻科進学	13.8%	海洋科学専攻科進学	19.0%
就職	15.5%	就職	23.8%
その他	3.5%		

令和2年度卒業者のデータより

沿革

東京海洋大学は2003年10月に東京商船大学と東京水産大学が統合した大学です。両大学の前身はそれぞれ1875年と1888年に設立されており、本学は140年を超える歴史と伝統を誇っています。東京海洋大学は両大学の伝統と個性・特徴を継承すると共に、時代の要請に応じて、新たな教育研究分野への展開を図り、国内唯一の海洋系大学として、世界最高水準の卓越した教育研究拠点の形成を目指しています。



東京海洋大学
 大学院海洋科学技術研究科
 海洋科学部／海洋工学部

2017

海洋資源環境学部を設置
 海洋科学部を海洋生命科学部に改称

東京海洋大学ゆかりの著名人

<p>鈴木善幸 第70代内閣総理大臣 水産講習所卒業</p>	<p>高碇達之助 日中貿易(LT貿易)の開始 通商産業大臣 水産講習所卒業</p>	<p>岩崎彌太郎 三菱財閥創業者 三菱商船学校を設立</p>	<p>米窪満亮 初代労働大臣 商船学校卒業</p>
---	---	---	--



海洋生命科学部

TOPICS

グローバル人材育成支援プログラム

海洋生命科学部の[®]グローバル人材育成支援プログラム

本学部の前身である海洋科学部の「グローバル人材育成支援プログラム」は、2012年に文部科学省の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業（特色型）」に採択され、最終評価（2017年）で高い評価を受けました。2017年に海洋生命科学部となっても、国立大学理系学生のグローバル人材育成改革を先導し、より優れたプログラムになるように改善に努めています。

● 詳細 <https://www.kaiyodaiglobal.com/>

STEP 1

社会が求める国際人として基礎英語力の向上
学部4年次へのTOEICスコア600点の進級要件化

STEP 2

グローバルな視野でキャリアを見渡せる学士力
学部3、4年次での海外派遣型キャリア実習

STEP 3

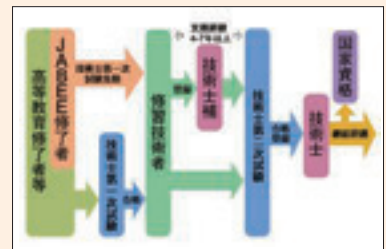
大学院レベルでの高度な論理的英語討論力
大学院（博士前期課程）授業の完全英語化

JABEE 認定教育プログラム

国際化に対応した技術者教育プログラム

日本技術者教育認定機構（JABEE）は、技術者を育成する教育プログラムを審査し認定する組織です。東京海洋大学の前身である東京水産大学水産学部の水産学プログラム（Engineering in Fisheries Science）は、2004年に農学一般関連分野として初のJABEE認定を受けました。大学統合により東京水産大学水産学部を継承した東京海洋大学海洋科学部も2008年に継続認定され、2017年度に改称・設置した海洋生命科学部・海洋資源環境学部は、2018年度に認定されています。

JABEE認定課程修了者には、「技術士」の一次試験が免除され、「修習技術者」として就職活動で大きな強みを持ちます。さらに実務経験を積んで国家資格「技術士」試験に合格すれば、高度な技術者として確たる評価を受けることになります。JABEEは、2005年からワシントン協定（Washington Accord：技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定）に加盟していることから、認定者には国際的に活躍する機会が広がります。



※グローバル人材育成支援プログラムは、海洋生命科学部と海洋資源環境学部の共通のプログラムです。



海洋生命科学部



海洋・水圏に関連する生命から食品、人間社会にいたるまでの総合的な教育・研究を行っています

海洋生命科学部長 黒瀬 光一

海洋生命科学部は、海洋・水圏の生命科学や水産およびそれらに関わる人の営みなどを共通の基盤とする3つの学科、海洋生物資源学科、食品生産科学科、海洋政策文化学科から構成されています。

本学部の特色は、生命科学や食品科学などの応用自然科学に加えて、流通・政策・文化などの社会・人文科学にもとづく知見と洞察をもって、海洋・水圏の生物から人間社会までを対象とした教育と研究を行う点にあります。

学科ごとにそれぞれ特色のある教育・研究を行っていますが、その根底にあるのは人との関わりです。遺伝子や細胞などのミクロな対象からよりマクロな対象、すなわち生物個体(群)やそれらの食用利用と流通、そして、社会や文化との関わりまで、対象は多岐にわ

たっていますが、それらいずれにも人との関わりという視点が存在しており、人間社会とつながっています。生命は原始の海から生まれ、悠久の時を経て人類が誕生しました。そして21世紀の今、我々は様々な問題に直面しています。その中で、水圏に関わる生命、食料生産、社会活動を包含する総合科学的な特徴を持つ海洋生命科学部は、多様な学問領域の連携により人類の共通目標である持続可能な社会の実現にも貢献しています。

皆さん、海洋・水圏に関するグローバルな諸課題へチャレンジし、かつ、世界をリードする意欲的な研究に取り組んでいる海洋生命科学部で一緒に学び、研究をしてみませんか。東京海洋大学 海洋生命科学部で過ごす時間は、あなたの人生をきっと実り多く豊かなものにすることでしょう。

品川キャンパス

入学定員総数

170名

海洋生物資源学科

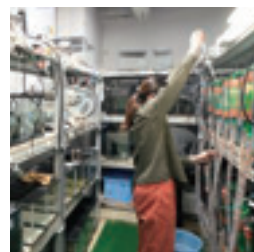
71名

食品生産科学科

58名

海洋政策文化学科

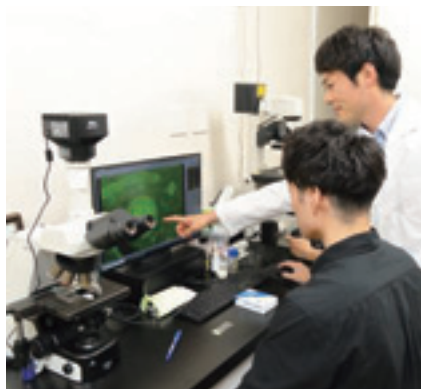
41名



海洋生物資源学科

海だけでなく広く水の中に暮らす生き物(水生生物)を対象として「生命科学」と「資源生物学」を教育・研究しています。具体的には、これらの生き物について遺伝子のレベルから、細胞、個体、群れ、生態系のレベルまでそれぞれに学ぶことができる講義や、それぞれの生き物と環境との関係について学ぶことができる講義などがあります。また、学んだ内容をさらに深めるための実習や実験も充実しています。

このような講義や実習・実験を通して、水生生物を守りながら、これらを利用していくための方法と考え方を習得することができます。



教育内容の概要

海洋生命科学に関する基礎及び専門的知識と技術を修得させるとともに、海洋生命科学における課題設定能力と解決能力、及び高度専門職業人としての基礎を修得させるために、総合科目、基礎科目、専門科目等の授業及び実験・実習等を体系的に編成し、組織的教育を行います。

総合科目及び基礎科目では、幅広い教養・論理的思考能力・文化的素養・国際的視野・コミュニケーション能力を養うこと、大局化した諸課題を総合的に理解・判断できる能力が修得できることを目標として講義・演習等を編成し、組織的に教育を行います。

また、専門科目では水圏に棲息する生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、持続的に利用するための「生命科学」と「資源生物学」に関する深い専門的知識・技術を修得します。さらに、海洋生命科学に関する諸課題を多面的に探求・分析・解決できる能力を修得できることを目標に講義・演習・実験・実習等、及び卒業論文等を体系的に編成し、組織的な教育を行います。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
総合科目	<ul style="list-style-type: none"> 共通導入科目 文化学系科目 哲学・科学論系科目 社会科学系科目 健康・スポーツ系科目 外国語系科目 				
基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 物理学* 化学* 生物学* 水産海洋概論Ⅰ* 水産海洋概論Ⅱ* 基礎微積分Ⅰ 基礎微積分Ⅱ 数理解析 線形代数 データサイエンス入門A データサイエンス入門B 	<ul style="list-style-type: none"> 統計学* 情報処理概論 陸水学 		<ul style="list-style-type: none"> 物理学実験 地学 地学実験 	
関連科目 グローバル・キャリア	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 入門* グローバルキャリア入門 キャリア形成論Ⅰ 		<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 演習* 海外派遣キャリア演習Ⅰ キャリア形成論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 海外派遣キャリア演習Ⅱ 	
コア課程科目	<ul style="list-style-type: none"> 有機化学Ⅰ* 分子生物学* 	<ul style="list-style-type: none"> 生物化学Ⅰ* 微生物学* 微生物学実験* 	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生学* 		
専門科目	基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> 海洋動物学 海洋植物学 	<ul style="list-style-type: none"> 生物化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 海洋動物学実習 水族生理学 動物発生学 動物組織学 動物組織学実験 遺伝子工学 動物生態学 藻類生態学 集団生物学 漁具漁法学 応用統計学 遺伝子工学実験 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋生物資源実務実習 水族生理学実験 職業指導 	
	アドバンスト課程科目 生命科学系			<ul style="list-style-type: none"> 水族遺伝育種学 応用藻類学 応用藻類学実習 水族病理学 水族養殖学 水族養殖・育種学実習Ⅰ 水族栄養学 栄養生物化学実験 水族薬理学 応用微生物学 応用微生物学実験 	<ul style="list-style-type: none"> 水族病理学実習 水族養殖・育種学実習Ⅱ
	生物資源学系		<ul style="list-style-type: none"> 漁業科学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 魚群行動学 生物資源モデリング 保全養殖学 鯨類資源論 集団生物学実習 漁業解析学 生産システム学 漁業科学演習 応用保全生物学 動物生態学実習 生物資源解析学 生物資源解析学演習 生物資源解析学実習 漁業科学実験 	
卒業研究科目				<ul style="list-style-type: none"> セミナー* 卒業論文* 	

1 週間の時間割例

括弧付きの科目は、資格取得のための科目です。

[2 年次] 総合科目、基礎科目中心、実験科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			Interactive English II		
2	Effective English II	(理科教育法 II)	集団生物学	Effective English II	生物化学 II
3	応用統計学	微生物学実験	動物組織学実験	海洋動植物学実習	遺伝子工学実験
4	情報処理概論	微生物学実験	動物組織学実験	海洋動植物学実習	遺伝子工学実験
5	情報処理概論	微生物学実験	動物組織学実験		遺伝子工学実験

[3 年次] 応用専門科目、実験科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	魚群行動学	水族養殖学		生物資源解析学	
2	水族病理学	応用藻類学	漁業解析学	応用微生物学	応用保全生物学
3	応用微生物学実験	漁業解析学	水族生理学実験	(水産科教育法 I)	漁業科学実験
4	応用微生物学実験	水族病理学	水族生理学実験	(博物館学 IV)	漁業科学実験
5	応用微生物学実験	生物資源解析学	水族生理学実験	公衆衛生学	漁業科学実験

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状 (理科・水産)
- 学芸員
- 三級海技士 (航海)※
- 技術士補

※ 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び海洋科学専攻科 (p.43) を修了すれば、筆記試験が免除されます。

卒業後の進路

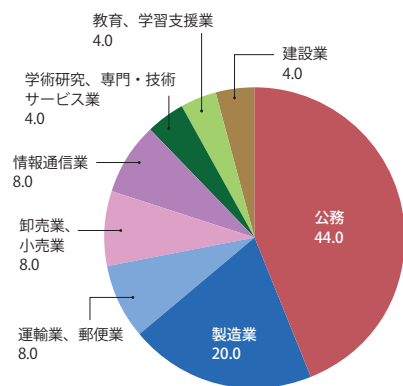
令和 2 年度卒業業者 (%)

大学院進学	58.8
海洋科学専攻科	1.5
就職	36.8
その他	2.9

就職先

味の素、いであ、ANA フーズ、オリエンタル酵母、海洋高校 (教員)、海遊館、カゴメ、葛西臨海水族館、キュービー、極洋、栗田工業、グローブライド、小林製薬、JF 共済、島津製作所、商船三井客船、水産庁、水産研究・教育機構、都道府県水産試験場、東京久栄、東洋水産、ニチモウ、ニチレイフーズ、日揮、日清丸紅餌料、日本ハム、日本 IBM システムエンジニアリング、日本食品分析センター、日本水産、ニッポン、ハウス食品、マルコメ、マルハニチロホールディングス、三井製糖、三菱商事ライフサイエンス、明治、モンベル、ヤクルト本社、ヤマサ醤油、山崎製パン、雪印、横浜・八景島シーパラダイス、理研食品、理研ビタミン、ロッテ 等

就職先業種



令和 2 年度卒業業者産業別就職状況 (%)
 ※進学等を除く学部卒業者の実績
 ※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

■ 水族生理学

水生生物の発生と繁殖、保全についての研究

■ 水族病理学

水生生物の病気と予防・治療についての研究

■ 水族栄養学

水生生物の栄養要求と飼料開発についての研究

■ 水族養殖学

水生生物の遺伝形質と育種技術、養殖技術と飼育装置開発に関する研究

■ 応用藻類学

海藻の生理・生態、遺伝・育種、養殖技術についての研究

■ 集団生物学

資源生物の多様性と保全についての研究

■ 増殖生態学

資源生物の増殖と生態・進化についての研究

■ 資源解析学

資源生物の変動機構と制御についての研究

■ 魚群制御学

資源生物の行動と制御技術についての研究

■ 生産システム学

資源生物の採集技術の開発と評価についての研究

■ ゲノム科学

水生生物のゲノム情報と遺伝子についての研究

■ 先端魚類防疫学

水生生物の免疫機構解明とその応用、薬物動態および毒性に関する研究

■ 応用微生物学

水中の有用微生物の探索とその応用についての研究



漁業科学実習



水族養殖育種学実習 I

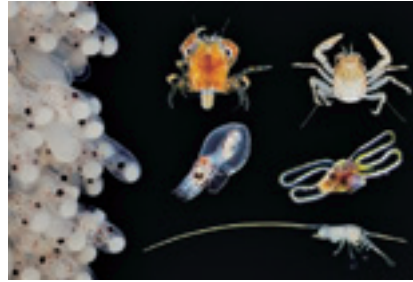
研究紹介

■ 増殖生態学

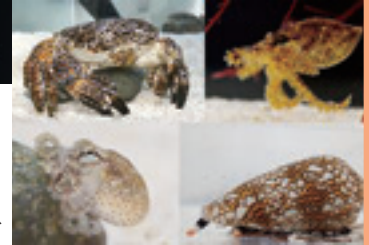
水産資源と希少生物を保全する

変動する環境のなかで、水生生物はどのように影響を受けながら生活し、子孫を残しているのか。そして、水産資源や希少生物を維持・保全するためには、どのような方策が求められるのか。

私たちは、水生生物の保全・増殖を進めるための基礎として、人工繁殖技術の開発とともに、生活史初期の分散・回帰戦略、対捕食者戦略、および摂餌生態の解明に取り組んでいます。また、環境変動や地球温暖化が水生生物の繁殖や分散に及ぼす影響を予測・評価するための研究を行っています。



水槽内で人工繁殖させた頭足類、甲殻類、および貝類の卵と幼生



環境応答実験や行動実験に用いる甲殻類、頭足類、および貝類の成体と稚仔

■ 水族養殖学

養殖魚の耐病性メカニズムを解明する

養殖魚において、個体間の耐病性形質の違いをゲノム解析し、耐病性メカニズムの解明を行っています。

これまでに、個体の耐病性形質の有無を識別できる遺伝マーカーを開発し、その技術を使った“世界初”となる種苗を作出しました。このように、研究成果を活用し社会に還元・産業に利用するための研究を行っています。

今後は、耐病性責任遺伝子の探究から、野生集団の遺伝的多様性保全のための研究に展開したいと考えています。



世界初となる耐病性ヒラメ系統の作出



野生アユを用いた耐病性ゲノム研究

■ 生産システム学

絶滅危惧種のウミガメを守る

漁業において、対象としない生物種を誤って漁獲してしまうことを混獲（コンカク）と言います。私たちの研究室では、ウミガメや海鳥といった希少な生物の混獲を防ぐための手法の開発に取り組んでいます。

まぐろ延縄（ハエナワ）漁業では、ウミガメの混獲を防ぎながらマグロ類の漁獲を向上させる新しい漁具（中立ブイ・システム）の開発や、海鳥の混獲を防ぐために、釣針を早く沈められるような漁具の改良を行っています。

また、定置網漁業では、網に迷い込んで溺死してしまうウミガメを網の外へ逃がす手法（ウミガメ脱出支援システム）の開発を行うなど、絶滅危惧種の生物を守るために様々な混獲問題に取り組んでいます。



ウミガメ脱出支援システム



■ ゲノム科学

サメの力を利用する

魚類が生息する水中は、生物の生存を脅かすような病原微生物も含んでいます。そのような環境で、魚類は脊椎動物の中で最も繁栄した動物となりましたが、その繁栄には病気にならないための仕組みが大事であったと考えられます。

我々は、サメやチョウザメなどの魚が、他の魚がもつ病気にならない仕組みとは違うことを明らかとしてきました。

現在はこのような仕組みを理解し、様々な分野に応用する方法を研究しています。



チョウザメ



ドチザメ

在学生の声

千葉県
出身



鴨川シーワールドのトド

海洋生物資源学科 2年（女子）
千葉県立千葉高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

海の生き物の生態について学びたいと思ったからです。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

生き物好きな人が多いですが、その分好きな生き物も人それぞれなので、友人と会話しているだけでもたくさん知識を吸収することができる場所です。

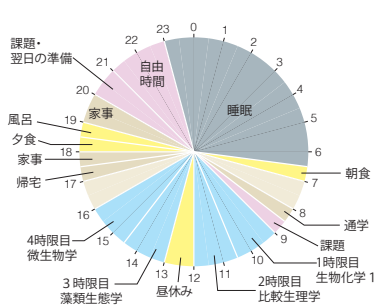
◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

生物の生態、保全等について深く学ぶことができます。先生方も、専門分野の解説になると愛がすごいです。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

去年はコロナウイルスの影響で一度しかできませんでしたが、専門家である教授や院生に豆知識などを教わりながらできるところが楽しいです。

Time Schedule



神奈川県
出身



小笠原で一緒に泳いだミナミハンドウイルカ

海洋生物資源学科 4年（男子）
神奈川県立平塚江南高等学校卒業

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

同じものが好きな人たちが集まっているので、学科全体の仲がよく、釣りに行ったり水族館に行く友達ができることです。アクティブな人が多いので、長期休暇には友達と伊豆諸島や小笠原諸島などの離島に行くこともあり、フィールドで生き物と関わる貴重な経験ができました。

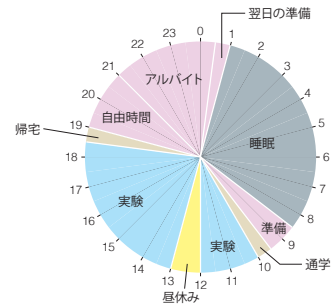
◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

海洋大の中で最も魚好きが多い学科だと思います。魚を見ること、食べること、釣ることのどれかが好きな人ばかりなので、魚の話をするだけで仲良くなれるはずですよ。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

実習では大学の練習船で1泊2日のクルージングをしたり、様々な海洋生物の解剖をすることができます。

Time Schedule



◆ 受験生に向けて、ひとこと

海や生き物に興味がある人は入学したら楽しい大学生活が待っていること間違いなしだと思います。

卒業生からのメッセージ

田中 美帆さん

2016(平成28年)年度 海洋科学部海洋生物資源学科卒業
千葉県 農林水産部 水産局 水産総合研究センター

千葉県の出先機関である水産総合研究センターで、アワビやイセエビ等の磯根資源の調査・研究業務に携わっています。

本学科に入学したきっかけは魚の生態について学びたいという漠然としたものですが、実習や4年次からの研究活動を通じて、研究職に興味を抱き、現在に至ります。本学で学んだ水産の基礎知識や、実験で習得したスキルは働く上で非常に役立っています。

また、水産関係機関でのインターンや水産学会等、専門的な分野を学ぶ機会が多いことは魅力の一つです。



食品生産科学科

安全で信頼性の高い食品を持続的に供給するため、食資源を余すことなく利用する技術について、化学、微生物学、物理学の視点から教育・研究を行っています。また、栄養や美味しさ、さらには健康に役立つ機能を引き出し、アレルギーや食中毒などの危険のない安全な食品を生産するための理論と技術について教育・研究しています。水産生物資源の食品としての有効利用、食品の原料から消費に至るまでの安全性の確保・向上、食品の美味しさや栄養価の向上、食品の新しい機能開発などに興味と関心をもつ学生を求めています。



教育内容の概要

海洋生命科学に関する基礎及び専門的知識と技術を修得させるとともに、海洋生命科学における課題設定能力と解決能力、及び高度専門職業人としての基礎を修得させるために、総合科目、基礎科目、専門科目等の授業及び実験・実習等を体系的に編成し、組織的教育を行います。

総合科目及び基礎科目では、幅広い教養・論理的思考能力・文化的素養・国際的視野・コミュニケーション能力を養うこと、大局化した諸課題を総合的に理解・判断できる能力が修得できることを目標として講義・演習等を編成し、組織的に教育を行います。

また、専門科目では水圏生物を中心とした食資源の栄養、嗜好、健康に役立つ機能を余すことなく引き出しつつ、安全な食品を生産するための化学的、微生物学的、物理学的及び工学的な深い専門的知識・技術を修得します。さらに、海洋生命科学に関する諸課題を多面的に探求・分析・解決できる能力を修得できることを目標に講義・演習・実験・実習等、及び卒業論文等を体系的に編成し、組織的な教育を行います。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
総合科目	共通導入科目	● 共通導入科目			
	文理学系科目	● 文理学系科目			
基礎科目	哲学・科学論系科目	● 哲学・科学論系科目			
	社会科学系科目	● 社会科学系科目			
	健康・スポーツ系科目	● 健康・スポーツ系科目			
	外国語系科目	● 外国語系科目			
	物理学*	● 物理学*	● 統計学*		● 地学
	化学*	● 化学*	● 物理学実験*		● 地学実験
関連科目	グローバル・キャリア	● TOEIC 入門*	● 情報処理概論	● TOEIC 演習*	
	グローバル・キャリア	● グローバルキャリア入門	● 陸水学	● 海外派遣キャリア演習 I	● 海外派遣キャリア演習 II
コア課程科目	コア課程科目	● 分子生物学*		● キャリア形成論 II	
	コア課程科目	● 有機化学 I *	● 生物化学 I *	● 公衆衛生学*	
専門科目	基礎教育	● 分子生物学*	● 微生物学*		
	基礎教育	● 生産物理学*	● 微生物学実験*		
	アドバンスト課程科目	● 食品生産学入門実験*	● 食品化学*		
アドバンスト課程科目	基礎教育	● 生産物理学*	● 化学実験*		
	実践教育		● 食品工学*		
アドバンスト課程科目	実践教育		● 生物化学 II		
	実践教育		● 有機化学 II		
アドバンスト課程科目	実践教育		● 物理化学		
	実践教育		● 食品微生物学	● 食品生産学実習*	● 資源利用化学
アドバンスト課程科目	実践教育		● 応用統計学	● 食品分析学	● 食品化学実験
	実践教育		● 食品生産システム調査	● 食品化学基礎実験	● 食品微生物学実験
アドバンスト課程科目	実践教育			● 食品衛生学	● 食品流通安全管理論
	実践教育			● 衛生微生物学	● 食品包装論
アドバンスト課程科目	実践教育			● 食品加工学	● 食品殺菌工学
	実践教育			● 食品貯蔵学	● 食品工学演習 I
アドバンスト課程科目	実践教育			● 食品保全化学	● 食品工学演習 II
	実践教育			● 食品冷凍学	● 食品生産システム論
アドバンスト課程科目	実践教育			● 食品工学実験	● 食品物性学
	実践教育			● 食品機能学	● 職業指導
アドバンスト課程科目	実践教育			● 食品科学実務実習	
	実践教育				
卒業研究科目	卒業研究科目				● セミナー*
卒業研究科目	卒業研究科目				● 卒業論文*
卒業研究科目	卒業研究科目				● 自己啓発型食品生産学アドバンストプログラム*

1 週間の時間割例

括弧付きの科目は、資格取得のための科目です。

オレンジ色の科目は、食品衛生コースの科目です。

[1 年次後期(3～4 学期)] 総合科目、基礎科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	Practical English II	日本国憲法		文学	日本語表現法
2		有機化学 I	Basic English II		
3	食品生産科学入門実験		スペイン語 II	数理解析	スポーツ II
4	食品生産科学入門実験		(教育原理)	線形代数	生産物理学
5	食品生産科学入門実験		分子生物学	水産海洋概論 II	現代倫理学

[3 年次前期(1～2 学期)] 専門科目、応用科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		食品物性学 ¹⁾		食品分析学	食品衛生学 ²⁾
2	食品工学演習 I	食品物性学 ³⁾	食品加工学	食品生産システム論	食品衛生学 ⁴⁾
3	食品流通安全管理論 ¹⁾	食品工学実験	資源利用化学 ²⁾ / 食品保全化学 ³⁾	(水産科教育法 I)	食品化学基礎実験 / 食品微生物学実験
4	食品流通安全管理論 ¹⁾	食品工学実験	資源利用化学 ²⁾ / 食品保全化学 ³⁾	(博物館学 IV)	食品化学基礎実験 / 食品微生物学実験
5	衛生微生物学 ²⁾	食品工学実験	衛生微生物学 ²⁾	公衆衛生学	食品化学基礎実験 / 食品微生物学実験

*1、2、3、4、5 および 6 はクォーター制導入科目です。

食品流通安全管理論、衛生微生物学、食品物性学、資源利用化学および食品衛生学は 1 学期(4 月～6 月上旬)に、食品保全化学は 2 学期(6 月中旬～9 月上旬)にそれぞれ開講されます。

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科・水産)
- 食品衛生管理者
- 学芸員
- 三級海技士(航海)^{*}
- 食品衛生監視員
- 技術士補

※ 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び海洋科学専攻科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

卒業後の進路

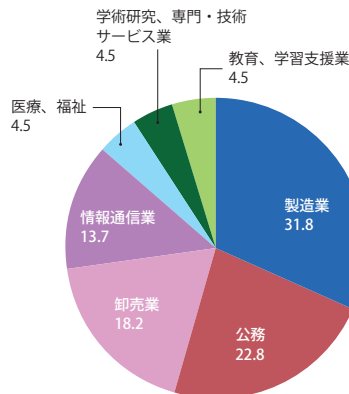
令和 2 年度卒業生 (%)

大学院進学	58.3
海洋科学専攻科	3.3
就職	36.7
その他	1.7

就職先

味の素、アヲハタ、イオン、伊藤ハム、エスピー食品、エバラ食品工業、カゴメ、カルピス、紀文、キュービー、ケンコーマヨネーズ、JT、資生堂、水産庁、スターゼン、大和製罐、地方自治体職員(食品衛生監視員、教員)、東洋食品研究所、東洋水産、永谷園、なとり、ニチレイ、日清オイリオ、日清食品、日清製粉グループ本社、日本食品分析センター、日本水産、日本生活協同組合連合会、ニッポン、日本ハム、ハウス食品、はごろもフーズ、不二製油、プリマハム、ブルドックソース、宝幸、丸大食品、マルハニチロ、ミツカン、三菱商事フードテック、明治、森永製菓、森永乳業、山崎製パン、ヤマサ醤油、雪印メグミルク、ロッテ 等

就職先業種



令和 2 年度卒業生産業別就職状況 (%)
 ※進学等を除く学部卒業生の実績
 ※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

■食品微生物学

食品の安全性を守り、資源環境問題を意識し、微生物による腐敗や食中毒菌汚染などにより無駄に食資源が廃棄されないことがないよう、食品に関連する微生物全般における研究を行う

■食品衛生化学

食物・薬物アレルギーの原因物質であるアレルゲンの新規検出系の開発や魚介類を中心とした食物アレルゲンの特性解析、その他、食品衛生に関連する生化学的・分子生物学的研究を行う

■食品栄養化学

食品または食品栄養成分に対する化学・生物化学的評価、ならびに食品がヒトの健康に寄与する機構解明を目的とした研究を行う

■食品保全化学

油脂の分析法の確立、酸化機構解明、抗酸化剤開発、生体内機能、代謝機構などに関して研究を行う

■生体物質化学

ヒトデなどの未利用生物、フグのような有毒動物、廃棄物となる魚貝類の不可食部に含まれる有用な成分や優れた機能を探索し、生化学・医薬資源として高度に利用することで地球環境の保全に役立てる研究を行う

■食品物性学

食感には甘い、辛いなど五味によるものと、歯でたえ、色、形などによるものがある。食品物性学は後者に着目し、タンパク質や多糖類の性質に基づいて食品や食品素材の物理化学的性質を説明し、例えば、介護食や機能性食品の食品開発に役立つ研究を行う

■食品加工学

原料から消費に至るまでの品質や安全性に関わるプロセスの高精度な定量的解析、先端食品製造装置・システムの開発設計と操作特性、環境保全と一体化した素材の開発に関する原理と先端技術などについての総合的な研究を行う

■食品プロセス工学

食品製造機器の洗浄及び衛生管理に関わる事柄について、様々な視点(基礎～応用)から研究を行う

■食品冷凍学

食品冷凍技術は多くの周辺要素技術の組み合わせであり、物理学・化学・生物学など様々な学問分野が関係する。これらの技術や知識を総動員して、食品の冷蔵・凍結保存を、美味しく、かつ持続可能とするための研究を行う

■食品熱操作工学

様々な加工や調理における熱の伝わりを理解し、食品素材の変化を予測・制御することを目指す。過不足のない適切な加熱を実現し、美味しさ&安全性を確保する。プロの料理人の技を実現できる高度な調理シミュレーターの開発など、食品産業への展開を視野に入れた研究を行う

■食品流通安全管理学

食品安全マネジメントシステム、HACCP、品質評価、トレーサビリティ、リスクコミュニケーションなど、食品安全、品質、経営の視点から、食品産業の発展に寄与する研究を行う

■食品流通安全制御学

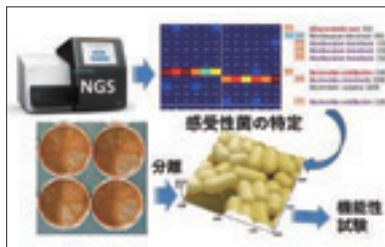
安全・安心なフードシステムの構築を目標に、環境保全、食品の安全性確保と品質保持、食品中の危害物低減等に着目し、海から食卓までの供給管理技術の開発研究を行う

研究紹介

■ 食品微生物学

食品微生物の分子生物学的手法による解析と制御

PCR 法をはじめ、分子生物学的手法は、今や一般的に広く用いられています。食品の分野でも、食中毒原因菌や腐敗・変敗原因菌、有用菌の同定に利用されます。近年では次世代シーケンサーやデジタル PCR など、より高い識別能や迅速性を有し、高度な解析が可能な機器が登場しています。私たちの研究室でも食品製造現場の高度衛生化や、食品成分の腸内菌叢に及ぼす影響についてこれらの最先端技術を応用した研究に取り組んでいます。



海藻成分に感受性を持つ腸内菌の検出

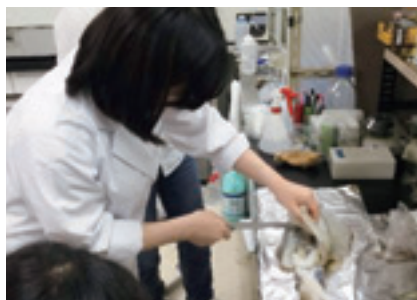
次世代シーケンサーを用いた有害菌の全ゲノム解析



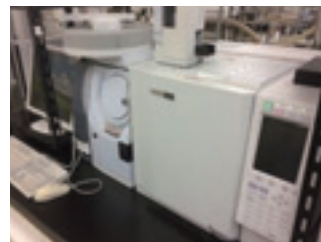
■ 食品栄養化学

食品の成分分析と健康機能評価

わたしたちの周りの食品および食品の原材料には、多種多様な栄養成分が含まれます。その成分を分析する技術は、食品の品質、保存や加工による成分変化、味や香りの感じ方、その栄養価などを調べるために必要不可欠です。また、わたしたちは毎日適切な量の栄養成分を摂取することで健康状態を維持しています。健康機能を確認するには、生体内の酵素や生理機能を備えた培養細胞や実験動物を用いた評価が不可欠です。この研究分野では分析機器や生物試験により食の美味しさと健康を追求します。



食品分析の前処理

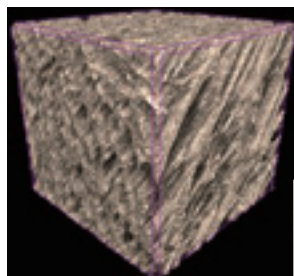


分析機器 (GC-MS)

■ 食品冷凍学

食品、生物の冷凍保存に関する研究

冷凍は、食品の温度を下げることにより、数年レベルの長期保存を可能とします。加熱や添加物が不要なので、食品の風味や食感をそのまま保存できる可能性があり、例えばマグロをお刺身で食べられるのは冷凍保存のお陰です。しかし、原料の処理から解凍まで正しい条件で処理しなければ美味しさが損なわれてしまいます。また、保存中、輸送中も常に低温を保つ必要があるため、環境負荷低減も求められます。美味しい冷凍保存を末永く利用し続けるために、様々な研究に取り組んでいます。



3D-X 線 CT で観察したマサバ魚肉内部の水結晶構造。ブロック凍結を行ったので粗大な氷結晶が生成している。

CT の操作風景

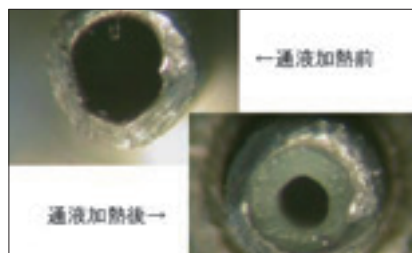


■ 食品プロセス工学

食品製造機器の洗浄と衛生管理

生産の大規模化と流通の広域化に伴い、食品製造工程の衛生管理はますます重要度を増しています。製造機器の洗浄は衛生管理の基本であり、もし洗浄が不十分であれば、微生物が増殖して食中毒の発生原因となったり、製品の品質低下を引き起こしたりする可能性が高まります。

一方で、洗浄には多量の水・エネルギー・洗剤などが投入されており、コストの観点のみならず、環境保全の観点からも、過剰な洗浄を排することが求められています。私たちは、必要十分な洗浄操作設計を可能にすべく、各種食品および食品成分の機器表面への付着挙動ならびに洗浄時の脱離挙動を「科学」するとともに、その結果を基に汚れ付着防止策など実用化を目指した研究も進めています。



乳製品連続加熱時の加熱管壁への付着形成過程の解析



在学生の声



神奈川県出身

CityMusic 部でのライブ

食品生産科学科 2 年（女子）
神奈川県立小田原高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

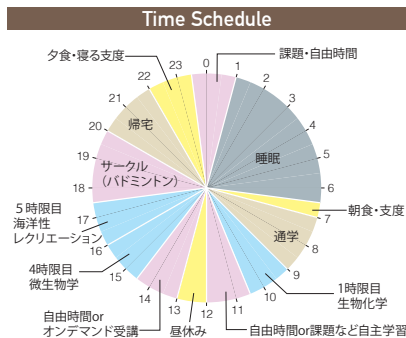
食品加工について学べる国立大学に行きたかったからです。食品生産科学科では一年次から食品加工に関する実験があり、高年次でも食品に関し様々な分野から学べる講義が多くあり素敵だと感じました。また必修科目として海洋生物や環境に関する授業があり、他大学で学べない内容を多く学ぶ貴重な体験ができます。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

食べることが大好きな友人たちと、美味しい物を食べている時。また海洋生物や海洋環境などの講義では、食品の勉強をしながら普通の栄養系や食品系の学部では聞くことのできないお話を聞くことができ、海洋大に来てよかったなと感じます。

◆ 将来の夢、目標は？

食品科学の知識を活かして、忙しい人の健康を守れるような便利で美味しい製品を開発したいです。また、人と食事の時間を共有することの幸せを世界中に広めたいです。



神奈川県出身

スモーカーで燻製したニジマス

食品生産科学科 4 年（女子）
神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

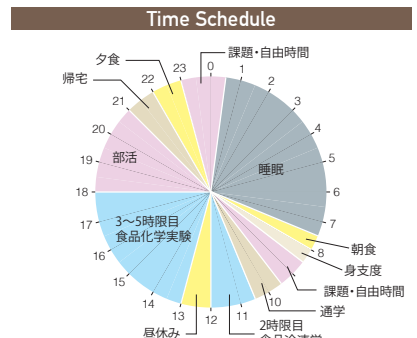
食べることが好きなのに加え、祖父母が栽培していた緑茶に様々な機能性があることを知ってから、食品に関することを学びたいと思い、様々な視点から食品を総合的に学習できる海洋大に行きたいと思うようになりました。

◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

食品に関することを様々な視点から学ぶことができるうえに、学科特有の実験・実習があることだと思います。入門実験ではかまぼこ、マヨネーズなどを、実習ではニジマスの燻製を作ります。特に、実習では普段は目にすることができない燻製や真空包装の機械も見ることができ、貴重な経験になると思います。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

1年で行う実習では、ニジマスのつかみ取りから燻製して包装するまでの一連の流れを経験するのが楽しいところだと思います。ただ、単純な作業が多く、想像以上に時間がかかる一方で、安全に注意を払わなければいけないのが厳しいところだと思います。



卒業生からのメッセージ

西村 和也さん

2018（平成30）年度 海洋生命科学部食品生産科学科卒業
2020（令和2）年度 大学院海洋科学技術研究科食機能保全科学専攻修了
昭和産業株式会社 基盤技術研究所 分析科学研究室

本学での学びが楽しく、食に関わる研究をしたいと考え、多種多量の穀物と食品素材を扱う会社に就職しました。現在は、食品の香り成分の分析・研究業務に携わっています。

大学院では、食用油の劣化と微量成分の関係について、有機合成と分析機器を駆使して研究していました。本学では、専門的な講義や実験、実習を通じて、食品について化学、微生物学、工学、流通等の観点から多角的に学ぶことができます。6年間で得られた知識と経験は、社会人として働く私の糧となっています。食品科学の面白さを、皆様も体感してみませんか。



海洋政策文化学科

政策・産業・文化という3つの切り口から、国際的かつ学際的な視野をもって教育を行います。その対象は、法律、経済、人文学、海洋スポーツ、教育学など、多岐にわたります。こうした教育によって、広い知識を修得すると同時に、物事を理解し考えるための思考力を育てます。

具体的には、海や人をめぐって起きていることを講義から知り、調査や実習を通して現場の事実を体験的に学び、得られた知見を議論によってさらに深めていくことによって、海洋をめぐるさまざまな課題を政策的に解決する実践力を身に付けます。

このように、本学科では、理系と文系を問わず総合的な立場から考える力と行動する力を兼ね備え、海と人と社会の望ましいつながりの実現に貢献できる人材を育成します。



教育内容の概要

海洋生命科学に関する基礎及び専門的知識と技術を修得させるとともに、海洋生命科学における課題設定能力と解決能力、及び高度専門職業人としての基礎を修得させるために、総合科目、基礎科目、専門科目等の授業及び実験・実習等を体系的に編成し、組織的教育を行います。

総合科目及び基礎科目では、幅広い教養・論理的思考能力・文化的素養・国際的視野・コミュニケーション能力を養うこと、大局化した諸課題を総合的に理解・判断できる能力が修得できることを目標として講義・演習等を編成し、組織的に教育を行います。

また、専門科目では海洋をめぐる社会科学的・人文科学的諸事象に関する基礎及び専門的知識を総合的に修得します。具体的には、「海・人・社会」の望ましいあり方を探究することを目的とした課題設定能力と解決能力を育成します。そのために、経済、法律、国際関係、社会、歴史、思想、文化、言語、文学、教育、海洋スポーツ等に関する幅広い授業科目を配し、組織的な教育を行います。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
総合科目	<ul style="list-style-type: none"> 共通導入科目 文化学系科目 哲学・科学論系科目 社会科学系科目 健康・スポーツ系科目 外国語系科目 				
基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 水産海洋概論Ⅰ* 水産海洋概論Ⅱ* 基礎微積分Ⅰ* 基礎微積分Ⅱ* 数理解析 線形代数 物理学 化学 生物学* データサイエンス入門A データサイエンス入門B 	<ul style="list-style-type: none"> 統計学* 情報処理概論 陸水学 		<ul style="list-style-type: none"> 物理学実験 地学 地学実験 	
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 入門* グローバルキャリア入門 キャリア形成論Ⅰ 		<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 演習* 海外派遣キャリア演習Ⅰ キャリア形成論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 海外派遣キャリア演習Ⅱ 	
コア課程科目	<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策文化入門* 日本経済論 経営学 水圏環境教育学 漁業管理論 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策文化研究法* 水産経済学 海洋法 資源利用関係論 海洋環境政策論 	<ul style="list-style-type: none"> 環境と教育 海洋性レクリエーション論 国際文化思想論 多文化環境論 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術論 生命・環境倫理学 	
専門科目	共通系	<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策文化基礎演習 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策文化特別講義 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策文化インターンシップ 職業指導 	
	海洋産業・経済学系	<ul style="list-style-type: none"> 食料経済論 経済学演習 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業経営論 食品マーケティング論 海事事業 水産経済学 水産調査 	<ul style="list-style-type: none"> 沿岸域利用論 水産物流通論 水産経済史 資源経済論 海洋管理制度論 水産政策論 沿岸域管理論 海洋政策実習 沿岸地域社会調査 漁村フィールドワーク実習 	
	海洋スポーツ・環境教育系		<ul style="list-style-type: none"> 海と健康 マリンスポーツ実習 水圏環境教育学実習 漁具漁法学 動物発生学 微生物学 動物組織学 資源生物学実験 比較生理学 集団生物学 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ生理学 健康・スポーツ科学 水圏環境コミュニケーション学実習 水族楽養学 魚群行動学 栄養生物化学実験 	
	国際・科学文化系	<ul style="list-style-type: none"> 魚食文化論 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋文化史 実践的基礎文学 国際関係論 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋文明論 メディア文化論 環境文学 環境思想 海洋文学 政治哲学 生命・環境倫理学の諸問題 科学技術論の諸問題 国際協力論 日本社会理解 	
卒業研究科目			<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策文化セミナーⅠ* 海洋政策文化セミナーⅡ* 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー* 卒業論文* 	

1 週間の時間割例

括弧付きの科目は、資格取得のための科目です。

[1 年次] 総合科目、基礎科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	Practical English II	日本国憲法	日本経済論	政治学	
2			Basic English II		
3			スペイン語 II	数理解析	経営学
4	日本語表現法		(教育原理)		スポーツ II
5	ヨーロッパ文化論	漁業管理論	水圏環境教育学	水産海洋概論 II	現代倫理学

[3 年次] 専門科目、応用科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			(理科教育法 I)		
2	Intensive English I	スポーツ生理学	メディア文化論		沿岸域管理論
3		沿岸域利用論	生徒指導 (進路指導)	(水産科教育法 I)	水産経済史
4	資源経済論			(博物館学 IV)	
5	生命・環境倫理学	環境思想	環境文学		海洋政策文化セミナー I

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科・水産)
- 学芸員
- 三級海技士(航海)*
- 技術士補

* 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び海洋科学専攻科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

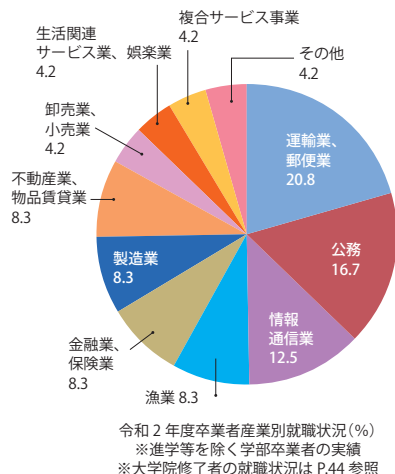
卒業後の進路

	令和 2 年度卒業者 (%)
大学院進学	21.6
海洋科学専攻科	10.8
就職	64.9
その他	2.7

就職先

国家公務員総合職・一般職等(水産庁、水産総合研究センター、北海道開発局等)、地方公務員総合職・技術職・教員等(北海道、青森県、岩手県、山形県、福島県、東京都、神奈川県、富山県、滋賀県、山口県、徳島県、高知県、気仙沼市、新庄市等)、大学教職員(東京海洋大学、近畿大学、筑波大学等)、共水連、極洋、漁済連、国分、商船三井客船、新京成電鉄、セブン・イレブン・ジャパン、JTB、全水加工連、全漁連、全日本空輸、全農、中央魚類、テレビ新潟、東洋冷蔵、ニチモウ、ニチレイ、日本漁業保険組合、日本航空、日本水産、日本政策金融公庫、日本生命保険、野村証券、東日本旅客鉄道、マリンフーズ、マルハニチロ、三井住友海上保険、三菱 UFJ 銀行、明治、リクルート、理研ビタミン 等

就職先業種



学科担当教員の研究分野・内容

■ 国際海洋政策

捕鯨問題を含む国際的な漁業や海洋の問題、生物多様性の保全などの国際環境問題を研究する

■ 国際開発・協力論

水産物をめぐる国際貿易や漁業の国際協力のあり方を研究する

■ 海事法・海洋法

海洋の法制度と船舶の航行に関する法の研究

■ 海洋環境政策論・海洋管理制度論

海洋資源に関する管理制度を主に環境経済的な視点から研究する

■ 資源経済論

効率的な資源利用における市場経済の役割と政策の役割を研究する

■ 水産経済政策論

経済学的視点から海洋、なかでもとくに水産政策のあり方を研究

■ 水産経済・経営学

経済学的な視点から、資源管理、漁業管理、および地域創生のあり方について研究

■ 流通・マーケティング論

生産と消費を適合させる仕組みや取り組みに関する研究

■ 水産経済史

海を舞台とした経済活動の歴史を研究する

■ 沿岸域・海洋管理論

沿岸域・海域の資源環境を持続的に利用する「しくみ」の望ましいあり方を研究

■ 沿岸域資源論

沿岸域における資源=人と魚と水の関係について研究する

■ 水圏環境教育学

身近な水産生物を活用した水圏環境教育プログラムの開発・実践・評価

■ 環境教育論

環境教育を実践的、歴史的及び比較教育的視点から研究する

■ スポーツ生理学、環境生理学

潜水や船酔いなどによって生じる人体の循環系変化に関する研究

■ 海洋スポーツ、スポーツ方法学

海洋のスポーツと教育に関する研究、スポーツ(競技を含む)に関する研究

■ 生命・環境倫理学

人間や動植物の生と死、地球環境などに関わる倫理的課題を考察する

■ 科学技術史

科学技術をめぐる歴史的・社会的問題の考察

■ 多文化環境論

多様な文化的属性(階級・民族・ジェンダー等)をめぐる社会的・環境的問題を考察する

■ 社会言語学

言語使用と社会の相互影響についての研究

■ イギリス文学・文化

海洋・環境・人間の観点からイギリスの文学や文化を研究する

■ フランス文学・思想、アナーン派歴史学

近世から今日にいたるフランスの文学・思想・歴史

■ アメリカ文学・文化

海洋・環境・人間の観点からアメリカの文学や文化を研究する

研究紹介

■ 沿岸域資源論

「人と魚と水の関係」から資源について考える

沿岸域資源論は、資源を自然そのものとして捉えるのではなく「人と魚と水の関係」として捉えて、資源の持続的利用とそれによる沿岸地域社会の発展について考究しています。

漁業をはじめ、釣り、ダイビング、ホエール・ウォッチング、環境保護活動等に着眼し、それぞれの「人と魚と水の関係」を規定している生物の生態的特徴、人間の価値認識、そして自然－人間－社会の関係を統合的に把握することを重視しています。



研究室
(栃木県のミヤコタナゴ保護活動への参加)



実習風景
(沖縄県の赤土流出防止活動への参加)

■ 国際海洋政策

国際的に関心が高まっている漁業や海洋問題を分析

漁業や海洋をめぐる問題は、近年国際的に大きな注目を集めています。例えば捕鯨問題を含む海洋生物資源の保存と管理、海洋酸性化や気候変動、生物多様性の保存、海洋保護区などがマスコミでも取り上げられて来ています。

授業では、これらの問題を公共政策の視点から学際的に分析し、問題の背景を探ります。また、最新の状況をリアルタイムで解説し、関係する要因や解決策はどこにあるのかを考えます。



国連持続可能な開発会議(2012年)での海洋をめぐる議論の現場

■ スポーツ生理学・環境生理学

海洋におけるヒトの活動を人体生理学から支える

素潜りで水深100m以上潜るエリートダイバーに、近赤外線センサーを装着して潜水中の血液の流れを計測したところ、脳に血液が集まってくる現象が観察されました。この現象は、これまでイルカ等で確認されていましたが、ヒトにおいては世界で初めての発見でした。

このような潜水に関する人体生理学を中心に、高齢化が進む海女の腰痛対策、水中での運動が脳の認知機能や自律神経系に与える影響などについて研究を行っています。



海女を対象とした実験の様子



■ 海洋文学・環境文学

環境と人との関係性を資源と その利用とは異なる文脈へと開く

当研究室では、文学作品に表れる海をはじめとする自然環境をめぐる言説や表象を分析し、人々の想像力の中で自然環境がどのように構築され、どのように時代と関わっているのかなどを研究しています。

海を含むより広い環境や生態系に着目する環境文学批評は、環境に関する政策の立案や提言を行う上で必要な「環境的想像力」の養成に不可欠な視点を与えてくれます。



イングランドの秘境、セルボーン村
(高台からの風景)



18世紀イングランドの温室の再現

在学生の声

埼玉県
出身



カヤックで東京を運河から観察

海洋政策文化学科 2年 (男子)
獨協埼玉高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

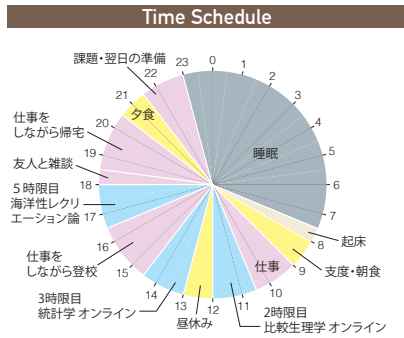
小さいころから海や魚が好きで、川や海で遊ぶ毎日を送っていました。小学生の時に東京海洋大学の存在を知り、いつか必ず入学しようと決めました。高校生になっても気持ちは変わらず、趣味の釣りやカヤック、受験生の時に始めた事業に没頭するあまり3年間受験に失敗してしまいましたが、この大学を志望し続け、入学しました。

◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

学ぶ分野と進路の自由度が高いという点です。興味の範囲を限定する事無く海に関して幅広い知識と視点を持ち、様々な要素を自分に取り入れる事で何かをしたいという方にはこれ以上ない学科であると思います。

◆ 将来の夢、目標は？

大学での学びや繋がりを利用して自分自身と起業した事業を成長させ、そこから得た様々な資源を用いて海や一次産業、アウトドア業界に関連する課題を解決し、社会に貢献する事です。



富山県
出身



地元富山湾の浜辺にて

海洋政策文化学科 4年 (男子)
富山県立富山中部高等学校卒業

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

様々な海に関するアクションを起こす同級生と会う時です。話す度に自分にはない海の視点や問題意識に気付かされます。一緒に食べる魚は最高です。

◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

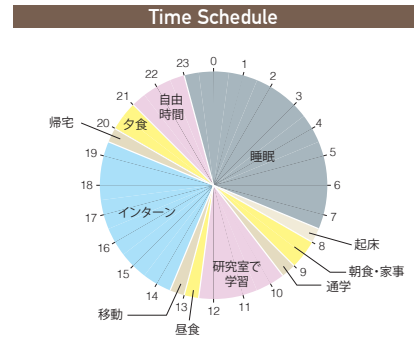
水産業やレジャー、教育など人々の営みという視点から海や魚の重要性を学べるところです。授業は討論やプレゼンが多く、自主的な学びが重視されます。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

実際の漁村に足を運び生産の現場を直接見学したり、話を聞いたりすることができます。授業で得るグローバルな視点と、現場で得るローカルな視点の双方が求められます。

◆ 将来の夢、目標は？

豊かな海の恵みを持続的に活用する漁業者をサポートすると同時に、より多くの人々が海を身近に感じる社会づくりに挑戦したいと思っています。



卒業生からのメッセージ

奥田 万智さん

2016(平成28)年度 海洋科学部海洋政策文化学科卒業
2017(平成29)年度 水産専攻科修了
一般社団法人 日本海事検定協会

弊会千葉事業所の検査員として、千葉港の船舶・物流に関わる検査をしています。タンカーに乗船し貨物量を計算したり、貨物の損害状況を検査したり、幅広い業務があります。

学部時代はヨット部に所属し、マリンスポーツに取り組みました。専攻科では乗船実習を経験し、船舶の勉強をしました。

大学は、自分の学びたいことや知りたいことに集中して取り組むことができる貴重な時間です。学生生活を真剣に楽しむことで、卒業後は様々な道が開けると思います。





海洋工学部

TOPIC

海事英語学習・評価プログラムの開発

海事・海洋英語教育の世界拠点を目指して。

文部科学省・現代GPによるプロジェクト「海事英語学習・評価プログラムの開発」が平成19年度で終了し、海事・海洋英語データベースと海事英語検定試験の開発、及び「体験型海事英語学習プログラム」の確立という当初の目標を達成することができました。プログラムの詳細・報告書はホームページをご覧ください。

本学ではこの取組みを継続し、平成20年度以降、毎年度練習船（海鷹丸・汐路丸）での訓練航海中の海事英語訓練、海外から教員・学生を招聘した短期セミナーを実施し、海事英語教育の国際拠点を目指しています。

- プログラムの詳細・報告書

<http://www2.kaiyodai.ac.jp/~takagi/mei/index.html>



海洋工学部



環境に配慮した海洋利用型技術開発のリーダーとなりうる
創造力豊かな若者を求めています

海洋工学部長 元田 慎一

海洋工学部は、母体となった商船学校から数えて140年を超える歴史と伝統を持ち、船舶の運航や管理、動力機関、海洋機器、海上輸送などに関連する教育研究を行ってきました。日本が高度経済成長を遂げた後は、環境保護や省エネルギーにも教育研究の対象を広げ、その時代における社会の要求に応じてきました。

教育上の特色としては、現場、現物、現実を重視した少人数クラスでのきめ細かな修学指導があげられ、海事関連社会で活躍する優秀な人材を育成しています。近年では、大学改革の一環として、海洋開発及び環境エネ

ギー分野に関する「高度海洋技術者専門コース」を開設し、海洋基本計画等で求められる海洋人材を輩出しています。さらに、流通情報工学科では、2020年度から統計学や人工知能をベースとしたAI・データサイエンス系科目群をカリキュラムに新設し、大学におけるSDGsと共に、デジタルグリーン社会を見据えた次世代を担う人材育成を行います。グローバル教育に関しても、学部の特性に応じた海外インターンシップを実施するとともに、練習船、各種シミュレータなどをフルに活用した海事英語教育を行っています。

越中島キャンパス

入学定員総数

160名

海事システム工学科

59名

海洋電子機械工学科

59名

流通情報工学科

42名



海事システム工学科

安全で効率の良い船舶運航の実現を目指して、明治の頃より連綿と積み重ねられた経験と知識、そして最新の先進的技術、その両方を融合して駆使する特徴ある分野です。海事システム工学科では、航海（ナビゲーション）技術や情報処理技術のほか、語学や法律などを幅広く学びます。

私たちは、皆さんが将来「専門的な職業人になる」または「学究的な挑戦をする」機会を準備しています。



教育内容の概要

実学を重視した講義、実験、演習を中心に、1年次から専門科目を基礎から応用に向けて学習するようにカリキュラムが組まれています。海事技術者としての幅広い視野と豊かな人間性を育てるために、4年間を通じて文化学系、哲学・科学論系、社会科学系、健康・スポーツ系、外国語系科目からなる総合科目を学びます。1年次から2年次前期までは、専門科目の基礎となる数学、物理、情報系科目からなる基礎教育科目を学びます。短艇実習、海洋実習や海技教育機構の大型練習船による乗船実習（合計2ヶ月間）を通して、リーダーシップや協調性を修得します。2年次後期からは、船舶管理または海事工学の教育プログラムを選択し、専門科目を学びます。

1. 船舶管理教育プログラムでは、船舶の運航管理や保守管理ができる技術者を育成するための知識や技術を学びます。
2. 海事工学教育プログラムでは、運航者の視点でものづくりができる技術者を育成するための知識や技術を学びます。
3. 海技士資格の取得を目指す学生は、船舶管理または海事工学の教育プログラムだけでなく海技士科目を学び、世界の海技士を教育し、リーダーシップを発揮できるための知識や技術を学びます。4年次の乗船実習（合計4ヶ月）、卒業後に乗船実習科（6ヶ月）に進学することで三級海技士（航海）免許の取得が可能です。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

		1年次	2年次	3年次	4年次
総合科目	文化学系				
	哲学・科学論系				
基礎教育科目	社会科学系				
	健康・スポーツ系				
専門科目	航海システム概論*				
	計算機科学				
	情報処理基礎論*				
	データサイエンス入門A				
	データサイエンス入門B				
	外国語系				
海事工学系	信頼性工学				
	通信ネットワーク				
	海事情報処理				
	船体構造論				
	計測工学Ⅱ				
資格・海技士系	制御工学				
	航海システムⅡ				
	船舶制御				
	浮体運動論				
	航海システムⅢ				
船舶管理系	船用工業実務論				
	マリナースファクターと安全運航				
	機関システム工学概論				
	Topics in Maritime Linguistics				
	船舶医学				
航海実験・実習系	海上無線法規				
	海事システム工学実験演習V				
	海事教育技法				
	国際海事訓練セミナー				
	船舶実習Ⅱ				
共通基礎専門系	船舶実習Ⅲ				
	海上危機管理論				
	海運経営論				
	国際法				
	海洋環境学				
基礎数理系	安全工学				
	輸送管理				
	船舶運航論				
	保険契約法				
	損害賠償法				
短艇実習*	組織管理論				
	海商法				
	海運実務論				
	卒業研究*				
	海事システム工学概論*				
電気工学*	船舶基礎力学*				
	電子通信工学*				
	信号情報処理*				
	アルゴリズム*				
	航海システムⅠ*				
ラプラス・フーリエ解析	大気環境学*				
	抵抗推進論*				
	計測工学Ⅰ*				
	航海システムⅠ*				
	運航管理*				
最適化数学	船体管理*				
	確率論				
	振動と波動				
	複素解析				
	数値解析				

1 週間の時間割例

[3 年次 (前学期)] 海事工学系 海技士を目指す場合

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	運航管理		航海システムⅡ		制御工学
2	航海英語Ⅰ	文学	機械学習	海事法規	海事システム工学 ゼミナールⅡ
3		海事システム工学 実験演習	計測工学Ⅱ	水中考古学	海事システム工学 実験演習
4		海事システム工学 実験演習	海商法	Interactive EnglishⅠ	海事システム工学 実験演習
5	船舶運航論	海事システム工学 実験演習			海事システム工学 実験演習

[3 年次 (後学期)] 船舶管理系 海技士を目指す場合

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	浮体運動論	船体管理	航海システムⅢ		歴史学
2	組織管理論			保険契約法	海事システム工学 ゼミナールⅢ
3		海事システム工学 実験演習	数値解析	国際輸送実務論	海事システム工学 実験演習
4	航海英語Ⅱ	海事システム工学 実験演習	輸送管理	Interactive EnglishⅡ	海事システム工学 実験演習
5		海事システム工学 実験演習	海運実務論	船用工業実務論	海事システム工学 実験演習

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状(商船・工業)
- 船舶衛生管理者※ 2
- 第一級海上特殊無線技士
- 電子海図情報表示装置(ECDIS)講習の資格※ 3
- 三級海技士(航海)※ 1

※ 1 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び乗船実習科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

※ 2 乗船実習科(p.43)を修了後、講習受講により取得できます。

※ 3 三級海技士に合格することで、電子海図情報表示装置(ECDIS)搭載船舶に乗船できる資格を取得できます。

卒業後の進路

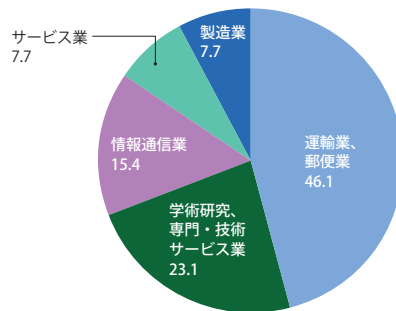
令和2年度卒業生(%)

大学院進学	19.1
乗船実習科進学	42.6
就職	27.7
その他	10.6

就職先

飯野海運、出光タンカー、NS ユナイテッド海運、NTT コミュニケーション、NTT データウェア、NTT データシステム技術、NTT ワールドエンジニアリングマリン、海技教育機構、海上保安庁、鹿児島海運、川崎汽船、川崎近海汽船、共栄タンカー、光電製作所、航空自衛隊、国土交通省、山九、JX オーシャン、ジャパンマリンユナイテッド、商船三井、商船三井客船、新来島どっく、新日本海フェリー、全日本空輸、ダイトコーポレーション、東洋エンジニアリング、東洋信号通信社、田淵海運、中央システム、日本海事協会、日本海事検定協会、日本海難防止協会、日本海洋掘削、日本テレビ、日本郵船、日立情報通信エンジニアリング、日立物流、ビューロベリタス(フランス船級協会)、ユニバーサルコンピュータシステム 等

就職先業種



令和2年度卒業生産業別就職状況(%)
※進学等を除く学部卒業生の実績
※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

■ 知能システム

知的なマルチエージェントを用いた海上交通流シミュレーションシステムや自律型の水中ロボット開発などの研究

■ 航行システム工学

航法および航行支援のための装置やシステムに関する研究

■ 航海システム論

情報通信技術等を利用した運航支援および支援システムに関する研究

■ 最適航路計画論

気象海象を予測して船舶の運航性能を推定し、最適な航路計画を行う研究

■ 制御理論、信頼性・安全性工学

制御システム、特に制御ロジックの安全性解析・設計に関する研究

■ 電子情報工学

ソフトウェア・ハードウェアを通じた画像処理技術の研究

■ 誘導制御論

船舶を中心とした各種ビークルの運動解析・予測・制御に関する研究

■ 海洋気象学

大気と海洋の運動や相互作用に関する物理学的研究

■ 船舶工学

船舶の構造と安定性、船体の運動における抵抗と推進に関する研究

■ 人間機械系工学

船舶運航者の情報処理と行動特性に適した船舶運航環境の構築に関する研究

■ 衛星測位工学

高精度位置決定に関する研究

■ 海洋文化学

海の人類学、考古学、歴史学の研究

■ 民法法学

保険法の研究

■ 国際法学・海事法学

国際法、海事法よりみた海洋、海運、船員に関する法的な研究

■ 言語情報学

自然言語の音声・統語・意味構造の科学的解明と英語教育への応用

研究紹介

■ 海洋文化学

SDG14 海の豊かさを守ろう

海と日本との深い精神的なつながりは、世界最古の縄文丸木舟の発掘や、安土桃山期前後における多くのすぐれた日本人船員のアジアの海での活躍というような歴史的な事実により証明されてきています。瀬戸内の塩飽水軍の伝統は、明治以降の日本商船隊にも広く受け継がれました。他方、外国にはその地域ごとに固有な文化があり、それを理解することなしに、例えば、それぞれの海域独自の背景をもつ海賊事象などを抜本的に解決するということは不可能です。

海をめぐる国際情勢はますます複雑化してきており、「国連海洋法条約」や「船舶と港湾施設の保安のための国際コード (ISPSコード)」、「水中文化遺産保護条約」その他の国際法が果たす役割も日々高まってきています。こうした中、国連とユネスコは2021年から2030年までを「国連海洋科学の10年」に定めました。「SDG14 海の豊かさを守ろう」を中心に、「SDG13 気候変動に具体的な対策を」などへの対応が始まっています。



SDGsへ取り組み
(ICOMOS:Heritage & the
SDGs)



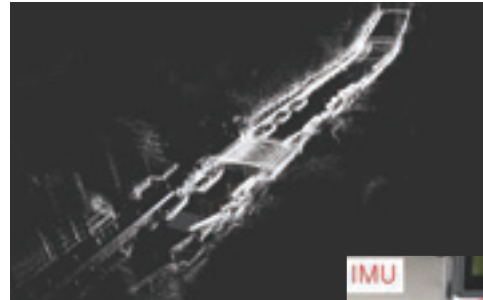
水中考古学調査

■ 自己位置推定

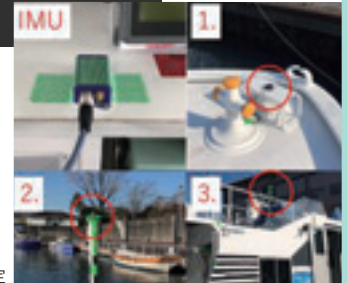
ロバストな位置推定に関する研究

将来の自動操船支援に必要なロバストな自己位置推定に関する研究開発を行っています。GNSSは世界中でメートル級の位置を取得できる便利なものですが、干渉等に弱く屋外の開けた場所が前提となります。自動操船では信頼性へのハードルが高いため、GNSSのみに頼らない自己位置推定方法を幅広く研究しています。廉価なIMUとGNSSの統合やカメラやLidarを利用したものです。屋外の開けた場所であればGNSSでcm級の位置及び速度推定が可能であり、IMUやドップラソナーを併用することで着岸時に操船者への負担を減らすための研究及び実験を行っています。また、河川を含めた自動操船を鑑みて、高架下等でもロバストな位置推定を行うためにLidarやカメラによる精密地図生成や自己位置推定の研究及び実験を行っています。

複数の研究室の得意な領域を持ち寄り、より堅牢なアルゴリズムを開発しています。



GNSS/IMUを利用した
自動着岸支援実験



Lidar等による精密地図生成と位置推定

■ 航海システム論

船舶航行データを運航支援に関する研究

運航支援システムの目的の一つが船舶の衝突リスクを小さくすることです。操縦性能・大きさが異なる様々な船舶が航行する東京湾では、航行規則による船舶交通流の整流や航行管理により大型船同士が近づくことを避けさせることで衝突の発生回数を減らしています。しかし経済活動や気象海象の変化、海洋土木工事による航行海域の制限や工事に関わる特殊な船の航行隻数増加により船舶の交通流が変化することで潜在的な危険が新たに発生しているかもしれません。一方、情報通信技術の発達による新しいシステムが開発・装備されることにより船舶同士もしくは陸上の監視局でも船舶動静を把握しやすくなったことから様々な海域にて長期間の船舶航行データの蓄積が可能となりました。

ここでは蓄積される情報を基に海上交通の特性を理解し新しいシステムの利点を活用した衝突リスクの減少、効率的な運航支援に関する研究を進めています。



東京湾内を航行する
AIS搭載船舶の航跡



レーダによる船舶動静の計測

在学生の声

茨城県
出身



家族旅行で行った冬の神津島

海事システム工学科 2年（女子）
茨城県立並木中等教育学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

中学2年生の時に、大きなコンテナ船が悠々と海上を進んでいくのを見て船に憧れ、船が好きになりました。船について学ぶため、そして航海士になるために東京海洋大学を選びました。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

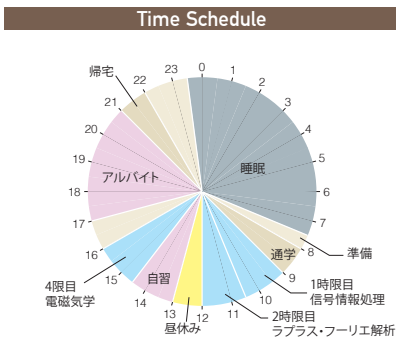
航海や船舶に関する授業を受けている時です。1年前期にある「航海システム概論」で大圏航法の計算をした時は、海洋大ならではの授業を受けていると感じました。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

カッターを漕ぐ短艇実習や練習船に乗って行う船舶実習といった、船に関する実習の多さが特徴だと思います。実際に乗船することで座学だけでは身につけることのできない様々な知識を得ることができます。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

実習はいわば非日常なのであらゆる新鮮で楽しいです。危険と隣り合わせなので厳しい指導は付き物です。



東京都
出身



晴海でのカッターの練習

海事システム工学科 4年（男子）
埼玉県私立春日部共栄高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

航海士として働くために必要な知識や技能、精神力を本学の乗船実習や部活動を通して身につけることができると考え入学を決意しました。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

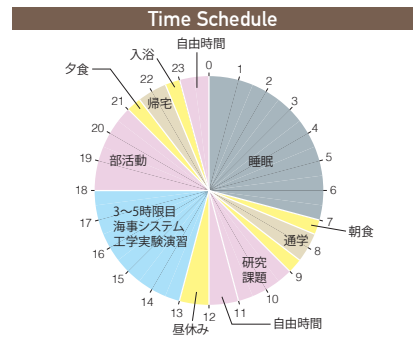
就職活動時です。「航海士になる」という志を持って入学した同志が周りに多く、お互いに助け合って乗り越えることができました。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

船内は集団生活であるため、乗船中、身勝手な行動は許されません。ただし、寄港地に上陸し、観光も楽しむことができますので辛くても頑張れます。

◆受験生に向けて、ひとこと

本学科では他学で味わえないような体験を得ながら大学生活を過ごすことができます。ぜひ本学科の受験に挑戦してみてください。



卒業生からのメッセージ

岸田 宇一郎さん

2018(平成30年)年度 海洋工学部海事システム工学科卒業
一般社団法人 日本海事協会 材料機装部

海や船に関する専門性の高い勉強がしたいと思い海洋大学に入学しました。講義や実験のレベルは高く、やりがいのあるものばかりでした。1ヵ月以上にわたる乗船実習では船に関する多くの知識を得られたうえに、共同生活を通して多くの同級生と絆を深め、一生の思い出となりました。少人数であるがゆえに同級生や先輩後輩との繋がりが強く、卒業後も仕事やプライベートで関わる機会が多いです。現在私は船や船用品の検査・承認業務を行っており、大学時代の経験を活かしていると実感しております。

本学でしかできない経験や学べないことがたくさんありますので、皆様もぜひ本学で充実した学生生活を送ってください。



海洋電子機械工学科

船舶に使用されている先進技術を結集した高効率推進システムや船内の住環境を確保するための各種インフラ機器、様々な機械要素を組み合わせたシステムやロボット等を教材として、機械、電気、制御等の工学の基礎から応用までを幅広く学びます。

バラエティーに富んだ講義科目と実験・実習・ゼミナールや大型練習船での洋上実習を通じて、船舶・海洋関連機器、各種プラント設備、省エネ・環境対策機器などのオペレーション、設計・製造・研究開発に指導的な役割を果たすことができる高度専門技術者を養成します。



教育内容の概要

ものを「つくる」だけでなく、低環境負荷および高効率で安全に「運用する」技術を含めた総合工学を基礎から応用に向けて学習するカリキュラムが組まれています。

1年次より国際的、総合的な視野を養うよう社会科学系や外国語系等の総合科目や専門科目と関連の深い基礎教育科目とともに専門科目を開講します。

1、2年次にそれぞれ1ヶ月の海技教育機構の大型練習船による乗船実習を実施します。講義による理論と実験、実習、演習とさらには実際の船舶による実習を通して、総合的に電子・機械工学などを教育します。

3年次以降は、機関システム工学コースと制御システム工学コースの2つのコースに分かれます。

1. 機関システム工学コースでは、基礎となる機械・電気・電子などの工学系科目に加え、主に船舶運航に関する工学について教育を行います。卒業までに最長で4ヶ月間の大型練習船による乗船実習が組み込まれており、船舶運航技術者として必要な教育を行います。また、所定の要件を満たすことにより三級海技士（機関）の取得が可能となります。
2. 制御システム工学コースでは、講義に加え実験や演習を通して、様々な機器、システムやプラントの設計・製造および管理の技術者として必要な機械、電気・電子、制御に関する工学について広く教育を行います。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

(機)の付く科目は機関システム工学コースを対象に開講。

(制)の付く科目は制御システム工学コースを対象に開講。

		1年次	2年次	3年次	4年次
総合科目	共通導入科目		文化学系科目		
	哲学・科学論系科目				
	社会科学系科目				
	健康・スポーツ系科目				
	外国語系科目				
基礎教育科目		<ul style="list-style-type: none"> 微分積分Ⅰ* 微分積分Ⅱ* 線形代数Ⅰ* 線形代数Ⅱ* 物理学* 数学演習 力学* 天文学 物理学実験 化学熱力学 統計学 計算機科学 情報処理基礎論 航海システム概論 電子機械工学入門* 基礎ゼミナール データサイエンス入門A データサイエンス入門B 	<ul style="list-style-type: none"> 常微分方程式 電磁気学 物質科学 化学実験 契約法 		
		<ul style="list-style-type: none"> 機関システム工学入門* 	<ul style="list-style-type: none"> ターボ動力工学Ⅰ* 内燃機関工学Ⅰ* 補助機械工学* 電気工学* 	<ul style="list-style-type: none"> ターボ動力工学Ⅱ ガスタービン工学 内燃機関工学Ⅱ エネルギー工学* 海洋流体工学 原子力機関工学 冷凍空調工学 流体機械工学 電気機器学 機関システム管理工学 	<ul style="list-style-type: none"> 電気推進基礎論
専門科目	機関系				
	機械系	<ul style="list-style-type: none"> 機械加工学 	<ul style="list-style-type: none"> 材料力学* 機械力学* 金属材料学* 環境材料学 工業熱力学* 伝熱工学 流体工学* 	<ul style="list-style-type: none"> トライボロジー 機械設計製図* 材料物理学 計算物理学 	
	電子・制御系		<ul style="list-style-type: none"> 制御工学Ⅰ* 基礎電子工学* 振動と波動 制御工学Ⅱ 基礎電子工学* 振動と波動 	<ul style="list-style-type: none"> ロボット工学Ⅰ* ロボット工学Ⅱ ソフトウェア工学 制御工学Ⅱ 電子回路論 応用制御工学 半導体工学(制は必修) 計測工学 化学エネルギー変換工学 	<ul style="list-style-type: none"> 水中機器学
その他	A		<ul style="list-style-type: none"> 船舶工学Ⅰ 船舶工学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 機関英語Ⅰ 機関英語Ⅱ(機) 国際法 海運経営論 海運実務論 	<ul style="list-style-type: none"> 船舶医学 海事法概論
	B		<ul style="list-style-type: none"> ラプラス・フーリエ解析 確率論 最適化数学 複素解析 データ構造とアルゴリズム 	<ul style="list-style-type: none"> 信号情報処理 信頼性工学 機械学習 数値解析 船用工業実務論 海洋開発環境エネルギー概論 	
実験・実習等		<ul style="list-style-type: none"> 海洋実習* 短艇実習* 船舶実習Ⅰ* 	<ul style="list-style-type: none"> 電子機械工学実習* キャリア形成論 船舶実習Ⅰ* 	<ul style="list-style-type: none"> 電子機械工学実験* 制御システム工学 演習*(制) 材料・機械力学演習* 熱流体工学演習* 船舶実験(汐路丸)* (制) 電子機械工学ゼミナール* 学外実習 船舶実習Ⅱ*(機) 	<ul style="list-style-type: none"> 船舶実験(汐路丸)*(機) 船舶実習Ⅲ(機) 卒業研究* 職業指導 機関実務実習(機)

1 週間の時間割例

[2 年次] 総合科目、基礎科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			民族誌		ターボ動力工学 I
2	機械力学	補助機械工学	電気工学	内燃機関工学 I	制御工学 I
3	環境材料学	Effective English II	伝熱工学	振動と波動	
4	化学実験	確率論	電子機械工学実習	Interactive English II	基礎数学
5	化学実験				国際政治学
集中 (10 月) / 船舶実習 I (2 年次)					

[3 年次] 専門科目、応用科目中心

[機関] …機関システム工学コースの科目
[制御] …制御システム工学コースの科目

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	信頼性工学	信号情報処理	ターボ動力工学 II [機関]	ソフトウェア工学	機関英語 I [機関]
2	エネルギー工学		機械学習	半導体工学 [制御]	海運経営論
3	冷凍空調工学	内燃機関工学 II [機関]		Intensive English I	制御工学 II
4	機械設計製図 [機関]	電子機械工学実験 [機関]	ロボット工学 I		電気機器学 [機関]
	電子機械工学実験 [制御]	機械設計製図 [制御]			
5			材料・機械力学演習		
集中 (11 月) 船舶実習 II [機関] / 集中 (11 月) 制御システム工学演習及び船舶実験 (汐路丸) [制御]					

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状 (商船・工業)
- 三級海技士 (機関)※ 1
- 船舶衛生管理者※ 2

※ 1 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、機関システム工学コース及び乗船実習科 (p.43) を修了すれば、筆記試験が免除されます。

※ 2 機関システム工学コース及び乗船実習科 (p.43) を修了後、講習受講により取得できます。

卒業後の進路

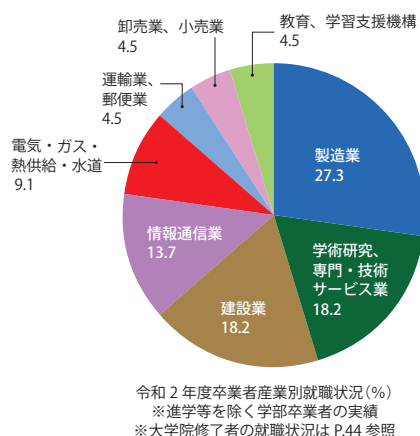
令和 2 年度卒業生 (%)

大学院進学	26.7
乗船実習科進学	33.3
就職	36.7
その他	3.3

就職先

IHI 原動機、飯野海運、石井鐵工所、いすゞ自動車、出光タンカー、今治造船、内海造船、NS ユナイテッド海運、NOK、海技教育機構、かもめプロペラ、川崎汽船、キャノン、国土交通省、五洋建設、JX オアシヤン、ジャパンマリンユナイテッド、商船三井、スズキ、セイコーエプソン、全日本空輸、ダイキン工業、ダイハツディーゼル、常石造船、東亜建設工業、日本海事協会、日本海洋掘削、日本郵船、東日本旅客鉄道、日立建機、富士通ゼネラル、本田技研工業、三井 E&S マシナリー、三菱電機、ヤマハ発動機、ヤンマー 等

就職先業種



学科担当教員の研究分野・内容

■ 内燃機関

船用ディーゼル機関の燃焼および排ガス浄化に関する研究

■ ターボ動力

蒸気およびガスタービンシステムに関する研究

■ 機械設備

冷凍・空調に関連するシステムなどのエネルギー有効利用に関する研究

■ 動力エネルギー

船用ボイラや原子炉等の伝熱流動特性の改善や安全性の向上に関する研究

■ 電気動力

パワーエレクトロニクスに基づく電力変換技術と船舶省エネに関する研究

■ トライボロジー

材料、設計、潤滑のアプローチから機械の摩擦・摩耗特性を向上する研究

■ エネルギー変換

家庭・産業用の冷凍空調機器・ヒートポンプ・熱交換器の省エネ・システム高性能化に関する研究

■ 機械材料

船舶・海洋機器に適用する表面処理技術・防食および海洋利用発電に関する研究

■ 機械設計

小型機械から大型機械まで、可動部の摩擦潤滑に関する研究

■ システム物理

シミュレーション等への物理学の応用研究

■ 電子デバイス

分子デバイス・バイオセンシング素子の開発等、これまでにない機能を持つ新規デバイスの研究

■ ロボット

水中・水上ビーグルなど海洋探査機器ならびに関連要素技術に関する研究

■ オートマティクス

制御システムの設計法とその船舶、ロボット、プラントなどへの応用についての研究

■ 機関管理

船舶の機関室全体の最適管理に関する研究

■ 情報通信

ソフトウェア、ハードウェアを通じた情報通信技術と応用に関する研究

■ 電子制御

産業機器、交通・輸送機器等の電子制御、コンピュータ制御に関する研究

■ 大気環境物理

地球大気、雲、エアロゾル等が地球環境へ与える影響に関する研究及び大気レーザーリモートセンシング手法の研究

■ 物質科学

新規磁気機能開拓のための物質合成と物性評価に関する研究

研究紹介

■ 電気動力

電気エネルギーの船舶・水中機器応用

発電機や電動機（モータ）に代表される電気機器は、船内における電気エネルギーの生成、プロペラを回転させる動力源などに利用されていますが、年々厳しくなる排ガス規制や燃費改善の観点から、効率の良い運用が求められています。

本研究室では、本学の大型練習船を含む各種の船舶運航データの実測および解析を行うことで、より良い船内電機システムを検討しています。また、水中探査機向けのワイヤレス給電装置の開発にも取り組んでいます。



練習船の運航データの計測作業



ワイヤレス給電装置

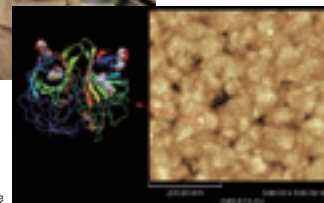
■ 電子デバイス

生体機能を取り入れた新しい機能デバイスの開発

CPUなどの半導体デバイスでは、電子や光などの電磁気的な相互作用による機能に一極集中しています。

一方、生体系では免疫反応、たんぱく質合成、遺伝システムといった多様な機能を利用しています。

本研究室では、大きく性質が異なる無機系と生体を融合したハイブリッドな素子構造を構築し、これらの機能を融合した新デバイスの開発を行っています。現在、微細加工技術を駆使したバイオセンサの開発を進めています。多様性保全のための研究に展開したいと考えています。



センサ表面の原子間力顕微鏡像

■ 電子制御

海洋ロボット (ROV) の開発

海洋は人類にとって未知の領域です。海洋を探索するロボットに ROV (Remotely Operated Vehicle) があります。我々は電子回路と制御の技術を使って ROV の研究開発を行っています。ROV はマイコンや DSP (Digital Signal Processor) といった電子部品の塊です。これらの複数の電子回路を組み合わせ水中で動作可能なロボット制御システムを作りあげます。また、電子回路だけでなく制御ソフトウェアや Deep Learning に代表される AI を使った画像認識技術も重要です。これらの技術を応用し、磯焼けの原因となっているウニを駆除する ROV 研究をしています。



■ オートマティクス

本質を見極め、意のままに操る !!!

船舶や飛行機、電車などの我々の身の回りの物は固有の動特性（ダイナミクス）を有しており、様々な動きをします。これらの対象を意のままに動かすためには、その動きを支配する本質的な要素（運動方程式や伝達関数）を見極め、適切な制御手法を用いる必要があります。

この技術を探求しているのが「制御工学」です。我々とともに、より良い制御手法を研究しませんか？



回転型倒立振り子実験装置



■ 機械設備

冷凍・空調システムのエネルギー有効利用、環境調和技術の実現

冷凍・空調の分野では、作動媒体やエネルギーの使用による環境負荷を低減するための技術が求められています。熱駆動型の吸収冷凍機の利用もその対応策のひとつで、自然界に存在する水などを作動媒体とし、太陽熱や未利用熱を利用することができます。このような熱駆動型の冷凍機を主な対象に、エネルギーの有効利用を図り自然環境に調和する機器やシステムをどのように実現していくかという問題に取り組んでいます。



実験用吸収冷凍装置



在学生の声

東京都
出身



夕方の明治丸

海洋電子機械工学科 2年 (女子)
東京女学館中学高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

船に関して専門的に学べる上に、他大学では学科ごとに別れてしまうような分野がこの学科ではすべて学ぶことが出来るからです。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

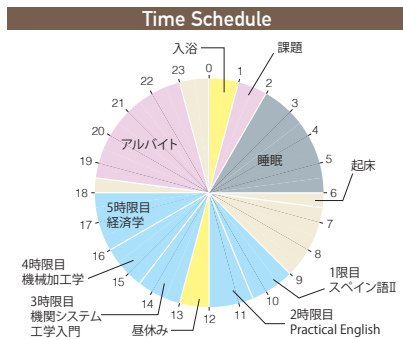
機械系からプログラミングまで幅広い分野が学べるところです。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

楽しかったところは、修学旅行のような雰囲気が味わえるので同級生と仲良くなれるところです。厳しいところは、時間厳守なので常に時計を気にしなければいけないことと、残すことは出来ませんが、ご飯の量が多いところです。

◆受験生に向けて、ひとこと

男子学生の方が圧倒的に多いこの学科では女子は不安があるかと思いますが、あまり性別は気にすることなく生活出来るので安心して下さい。



北海道
出身



乗船実習

海洋電子機械工学科 4年 (男子)
市立札幌開成中等教育学校高等部卒業

◆学科の特徴、ユニークなところは？

エンジンが好きな人、詳しい人がたくさんいて、そういった人が二人以上集まった時に必ず話題がエンジンの話になるところです。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

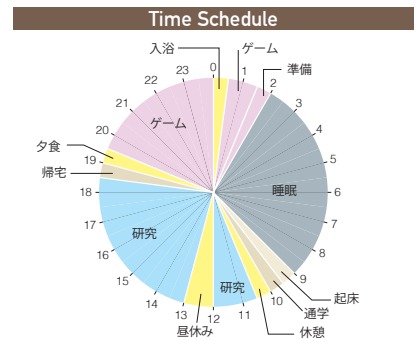
船に乗っている間は陸に戻りたいとも思いましたが、終わった後の達成感は二度と味わうことができないと思います。

◆将来の夢、目標は？

SDGs に貢献できるような開発ができればいいなと思っています。

◆受験生に向けて、ひとこと

ほかの大学と比べると少し多忙ですが、その分学ぶことや経験できることも多く楽しい大学です。



卒業生からのメッセージ

井上 泰輔さん

2018(平成30)年度 大学院 海洋科学技術研究科 海洋システム工学専攻修了
川崎重工業株式会社 エネルギーソリューション&マリンカンパニー
システムエンジニアリング部

モノづくりを行う上で、現物・実機に触れる経験はとても大切です。

本学では多くの実習により、現物に触れ、実機を操作する機会が得られます。特に、多くのモノが組み合わさり連動する船舶での実習は、現在の私の業務である電力システムの設計に活かされていると感じています。

また、電力システムの設計は、機械、電気、情報などの様々な視点で考える必要があり、本学ではそれらの基礎知識を学ぶことができます。本学で得られる知識・経験は、皆さんの今後の人生に役立つことでしょう。



流通情報工学科

商品や貨物を、ムダがないよう、効率よく生産・輸送・保管し、企業の国際的な物資・情報の流れを計画・管理することをロジスティクスといいます。ロジスティクスでは、輸送・保管の技術・方法はもちろん、企業・経済の仕組み、商品の発注や品質の維持のための情報システム、環境問題などについての知識が必要となります。

流通情報工学科では、工学系（流通工学）・社会科学系（流通経営学）・情報系（数理情報）の3つのカリキュラムを融合させ、幅広い知識を習得し、ロジスティクスについて体系的に勉強します。また、理論と実践のバランスのとれたカリキュラムと少人数教育を通じ、丁寧で質の高い指導を実現し、広い視野と高い問題解決の能力を有する学生を育成します。



教育内容の概要

1、2年次に国際交流の基盤となる、幅広い視野と豊かな人間性の育成を目指すために、主として哲学・科学論系、社会科学系、外国語系等からなる総合科目と数学や情報科目等からなる基礎教育科目を開講します。

3、4年次に現代社会の大規模かつ複雑な諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力、課題解決能力、コミュニケーション能力を養うために、ゼミナール及び卒業研究を開講します。

また、4年間を通じて論理的思考能力や適切な判断力を養うために、少人数体制による理論と実践を共に重視した授業を実施するとともに、ロジスティクスのスペシャリストとしての幅広い教養、深い専門的知識による問題解決能力を養うために、工学系（ロジスティクス・交通計画・物流システム）、情報系（数理情報・データサイエンス・システム工学・プログラミング）、社会科学系（経済学・商学・経営学）の3分野の科目をバランスよく開講します。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

		1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目	総科目	<ul style="list-style-type: none"> 文化学系、哲学・科学論系、社会科学系、健康・ ● Practical English I, II * ● Basic English I, II * ● 情報リテラシー* ● 日本語表現法* 	スポーツ系、第二外国語など <ul style="list-style-type: none"> ● Effective English I, II ● Interactive English I, II ● Intensive English I, II ● GI 演習 I, II 		
	基礎教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 微分積分 I, II * ● 線形代数 I, II * ● 物理学* ● 情報処理基礎論* ● 基礎ゼミナール ● データサイエンス入門 A ● データサイエンス入門 B 			
	情報系	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎プログラミング演習* 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最適化数学 ● 確率論* ● 流通情報システム* ● データサイエンス演習* ● データ構造とアルゴリズム* ● 応用プログラミング* ● ラプラス・フーリエ解析 ● 複素解析 ● データベース工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械学習 ● 数値解析 ● 通信ネットワーク ● データサイエンス 	
専攻科目	工学系	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流施設計画学 ● コンテナ輸送工学* ● ロジスティクス概論* 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流リスク工学 ● 流通情報工学実験* ● 流通基盤計画学* ● 流通最適化学* ● 物流管理工学* 	流通情報工学ゼミナールⅠ・Ⅱ* <ul style="list-style-type: none"> ● 流通データ分析 ● 流通オペレーションズ・リサーチ ● 通関実務論 ● 交通計画学 ● 作業管理工学 ● 港湾環境工学 ● 衛星測位工学 ● 安全工学 ● 海洋開発環境エネルギー概論 ● 流通情報工学演習* 	● 卒業研究*
	社会科学系		<ul style="list-style-type: none"> ● 産業政策論* ● 流通経済論* ● 交通経済論* ● 国際経済論* ● キャリア形成論 	<ul style="list-style-type: none"> ● マーケティング論 ● 保険契約法 ● 産業経済論 ● 流通チャネル論 ● 国際交通論 ● 物流・交通政策の経済分析 ● 損害賠償法 ● 船用工業実務論 	

1 週間の時間割例

[1 年次] 総合科目、基礎科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		統計学	Practical English I	Basic English I	電子機械工学入門
2			ドイツ語 I		海洋工学概論
3	ロジスティクス概論	物理学	化学熱力学	線形代数 I	天文学
4	スポーツ I	微分積分 I	情報リテラシー	哲学	
5				計算機科学	

[3 年次] 専門科目、応用科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			衛星測位工学		
2	港湾環境工学		機械学習	データサイエンス	
3	流通情報工学演習	国際交通論	流通オペレーションズリサーチ	Intensive English I	交通計画学
4	損害賠償法	産業経済論		Interactive English I	通関実務論
5	作業管理工学				流通情報工学ゼミナール I

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状（工業）
- 授業で関係する内容を学べる資格：情報処理技術者、通関士、中小企業診断士、ビジネス・キャリア検定（ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション）

卒業後の進路

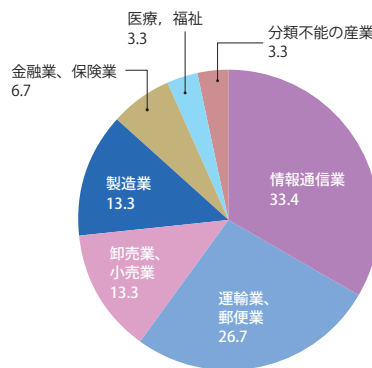
令和 2 年度卒業生 (%)

大学院進学	20.5
乗船実習科進学	—
就職	76.9
その他	2.6

就職先

いすゞ自動車、SBS 東芝ロジスティクス、NTT データ、エバラ食品工業、F-LINE、オカムラ、花王、鹿島建設、キャノン、キューソー流通システム、鴻池運輸、国土交通省、国分、コマツ物流、サイバーエージェント、山九、JR 東日本、JR 東日本情報システム、全日本空輸、東京都庁、トヨタ自動車、ダイキン工業、ダイフク、TOTO、ニチレイロジグループ本社、日通 NEC ロジスティクス、日本通運、日本パレットレンタル、日本放送協会、日立物流、フコク情報システム、富士通、三井住友海上火災保険、三井倉庫サプライチェーンソリューション、三菱商事ロジスティクス、三菱倉庫、三菱電機ロジスティクス、安田倉庫、郵船ロジスティクス、りそなホールディングス 等

就職先業種



令和 2 年度卒業生産業別就職状況 (%)
 ※進学等を除く学部卒業者の実績
 ※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

■ 物流安全工学・物流環境工学

3次元重心検知理論に基づく物流現場の安全確保・環境改善

■ 地域計画

地域・都市を支える交通など基盤施設の計画とその工学的研究

■ 貨物交通計画

貨物流・貨物交通、及び、関連施策に関する研究

■ 物流システム工学

空間情報工学・自動認識技術の活用による物流の安全・効率性

■ 作業管理

物流センター内業務の改善及び物流の環境負荷低減

■ サプライ・チェーン最適化

サプライ・チェーンにおける様々な最適化モデルとアルゴリズム

■ 流通情報システム

情報通信技術による流通システムの高度化

■ 数理物理学

自然や社会・経済、情報、人工知能等における数理構造の解明と応用

■ 応用数学

可積分系、力学系及び多項式最適化の研究

■ 非線形解析

応用数学における最適化問題、非線形問題の理論的研究

■ 比較教育学

タイ教育の研究、ASEAN 諸国の教育研究

■ 水産物加工・流通

水産物流通の主幹をなす卸売市場システム、及び構造変動する水産加工業の研究

■ 産業経済

グローバル化とイノベーションに伴う産業構造の変化と企業の対応

■ 公共経済

国際化・地方分権時代の公共部門と民間部門の役割分担

■ 国際経営

企業の海外進出行動・戦略の多様化と経済的影響

■ マーケット・デザイン

効率的な市場の設計の研究

■ 機械学習

機械学習を用いた時系列データのモデリング手法の開発と新たな流体モデルの構成

研究紹介

■ サプライ・チェーン最適化

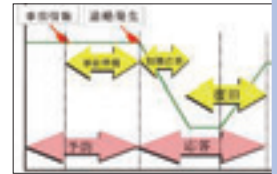
効率性だけでなく、リスクに柔軟かつ頑強なサプライ・チェーンを目指す

東日本大震災後のサプライ・チェーンの途絶は、世界中に影響を与えました。本研究は、大規模途絶に対して、頑強かつ柔軟かつ復元性に富んだサプライ・チェーンを設計するための技法と手順を確立するため、実現可能かつ有効な技法と手順を導き出すことを目標としています。

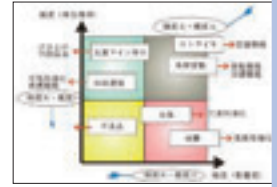
また、大規模災害時の効率的かつ効果的なロジスティクスを実現するための理論体系である人道支援ロジスティクスを進化させ、効率的かつ効果的な“準備”と“対応”を実現させることも目標としています。



サプライ・チェーン最適化モデル
(意思決定レベルによる分類)



リスクに対する対処法

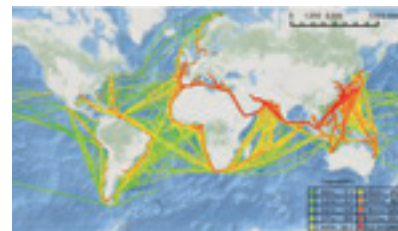


リスク・マッピングと対処法

■ 物流システム工学

地球環境と調和した持続可能な国際物流の実現

海に囲まれた日本にとって、国際物流は生活を支える重要なインフラであり、地球環境への影響は地球全体の問題として考えることが重要です。近年、地理情報システム (GIS: Geographic Information System) を用いることで、位置に関する情報を持ったデータ (地理空間データ) を含む大量のデータ (ビッグデータ) の解析が効率的に行えるようになりました。GIS は地理空間データを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にします。国際物流における船舶運航に関するビッグデータを用いて、航行中のエネルギー消費に基づいて温室効果ガスの排出量を計算し、GIS を用いて環境影響を評価する研究を行っています。



船舶からの温室効果ガスの排出量の分布

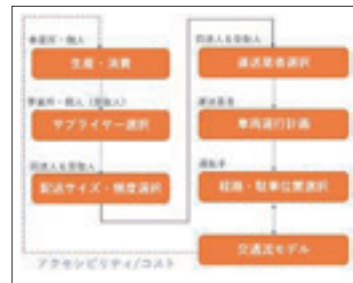
GIS に関する
研究指導の様子



■ 貨物交通計画

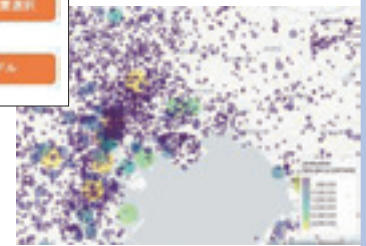
都市圏貨物交通シミュレーション

交通・物流や情報技術の進化、また、経済・社会情勢の変化に伴い、都市における貨物交通の課題は変化を続けています。例えば、人々がオンラインショッピングをより頻繁に利用することによって生じるモノの流れの変化や、宅配の需要に対して、どのような対策が効果的か、評価をする必要があります。本研究では、共同配送、夜間配送、クラウド配送などのスキームや、宅配自転車、宅配ロボット、ドローン等の新しい交通手段を用いた輸送等の影響を評価するために、個人や企業がどのようにモノの流れに関わる意思決定をし、それが、交通手段によってどのようにして実現されるかをシミュレートするためのモデルの開発や、施策の影響分析を行います。



都市貨物交通
モデルのフロー

シミュレーションの
出力例



■ マーケットデザイン

公平で効率的な分配のための仕組みづくり

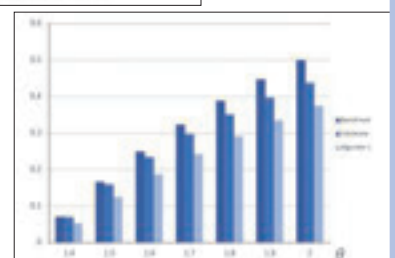
医療や教育などの一部の大変重要なモノは、通常のモノと異なりマーケットメカニズムを通じた分配が必ずしも適切とは言えません。例えば、大学教育や保育所のサービスを受けられる人が一部の豊かな人に限られてしまうと、さらに貧富の差が拡大してしまう恐れがあります。また、豊かな人だけが優先的にワクチン接種などができ、命が助かるような仕組みは適切とは言えないでしょう。そのようなモノの分配について、様々な要因を考慮に入れながら議論するのがマーケットデザインとよばれる分野です。

本研究では、特に未就学児の保育所への割当や、入試制度などについて、それぞれのもつ背景を考慮しながら、望ましい仕組みを議論していきます。



シミュレーションの
概要

シミュレーションの結果
(どちらも Okumura, Y. (2019), School Choice with General Constraints: A Market Design Approach for the Nursery School Waiting List Problem in Japan. Japanese Economic Review 2019 70(4), 497-516 より転載)



「保育所への割当の仕組みの変更したことによる待機児童数への影響のシミュレーション」

在学生の声

兵庫県
出身



山岳部の活動で登った大山

流通情報工学科 2年 (男子)
私立履正社高等学校卒業

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

学科の人数が少ないため教員との距離が近いことや、1年次から基礎ゼミナールが開講され、楽しく学ぶことができることです。また、都内の大学にも関わらず、緑豊かでのんびりとしたキャンパスで学べることです。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

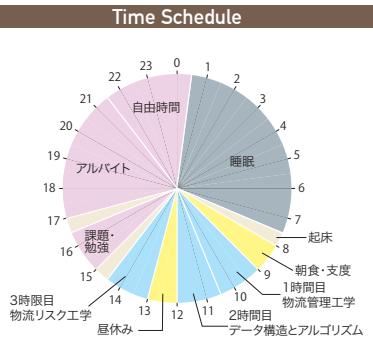
全国的にも珍しいロジスティクスについて専門的に学べることです。また文理融合のため、経済から工学、情報まで幅広く学べることです。

◆将来の夢、目標は？

情報技術に精通した港湾のプロフェッショナルとして港湾に関わる仕事に就き、日本の港湾の発展に寄与したいです。

◆受験生に向けて、ひとこと

東京海洋大学は自分の興味を追求できるとてもいい大学なので最後まで諦めずに頑張ってください。



東京都
出身



中国地方一周の旅に行った時の広島

流通情報工学科 4年 (女子)
朋優学院高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

東京の大学でプログラミングなどを学べる大学を探していました。東京海洋大学は物流や情報工学という将来性のあることを専門的に学べて、都心からも近かったので選びました。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

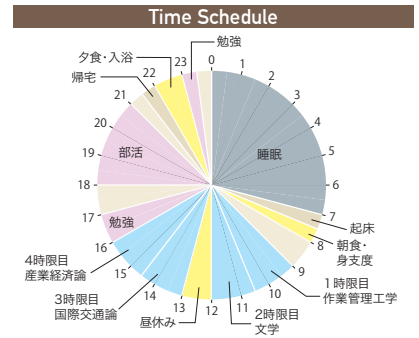
専門性の高い学校なので価値観の近い人が多く、過ごしやすいです。また、授業や部活が少人数なのでアットホームな雰囲気が入っています。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

コンテナ輸送工学や物流経済論といった専門性の高い授業が多く、かなりマニアックなことまで学べます。実験演習では実践的なことをより深く学べます。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

船に乗ったり操縦したり他ではできない経験ができるのは楽しかったです。厳しかったのは、流通情報工学科でも水泳の授業があることです。



卒業生からのメッセージ

荒井 奈々さん

2015(平成27)年度 海洋工学部 流通情報工学科卒業
日本通運株式会社 関東甲信越ブロックフォワードینگビジネスユニット
国内航空貨物統括部 事業推進課

入社以来、国内航空輸送における車輛手配や商品開発、マーケティングなど幅広い業務に携わっています。

流通情報工学科では、ロジスティクスの基礎を始めとする専門性の高い多彩な知識を学ぶ事ができます。在学中に培った経験は日々の仕事に繋がっていると感じています。また、卒業生の就職先は様々で、幅広い分野で活躍できる人材を育成しているのも魅力の一つです。

めまぐるしく社会が変化することご時世ですが、物流はどの時代でも、誰にとっても欠かせないのでできないものです。興味を持った方は、ぜひ本学科で貴重な大学生活を送ってください。





海洋資源環境学部



TOPICS

グローバル人材育成支援プログラム

海洋資源環境学部の*グローバル人材育成支援プログラム

本学部の前身である海洋科学部の「グローバル人材育成支援プログラム」は、2012年に文部科学省の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業（特色型）」に採択され、最終評価（2017年）で高い評価を受けました。2017年に海洋資源環境学部創設後も、国立大学理系学生のグローバル人材育成改革を先導し、より優れたプログラムになるように改善に努めています。

● 詳細 <https://www.kaiyodaiglobal.com/>

STEP 1

社会が求める国際人として基礎英語力の向上

学部4年次へのTOEICスコア600点の進級要件化

STEP 2

グローバルな視野でキャリアを見渡せる学士力

学部3、4年次での海外派遣型キャリア実習

STEP 3

大学院レベルでの高度な論理的英語討論力

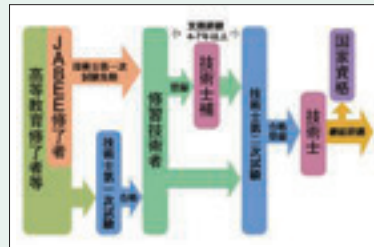
大学院（博士前期課程）授業の完全英語化

JABEE 認定教育プログラム

国際化に対応した技術者教育プログラム

日本技術者教育認定機構（JABEE）は、技術者を育成する教育プログラムを審査し認定する組織です。東京海洋大学の前身である東京水産大学水産学部の水産学プログラム（Engineering in Fisheries Science）は、2004年に農学一般関連分野として初のJABEE認定を受けました。大学統合により東京水産大学水産学部を継承した東京海洋大学海洋科学部も2008年に継続認定され、2017年度に改称・設置した海洋生命科学部・海洋資源環境学部は、2018年度に認定されています。

JABEE認定課程修了者には、「技術士」の一次試験が免除され、「修習技術者」として就職活動で大きな強みを持ちます。さらに実務経験を積んで国家資格「技術士」試験に合格すれば、高度な技術者として確たる評価を受けることとなります。JABEEは、2005年からワシントン協定（Washington Accord：技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定）に加盟していることから、認定者には国際的に活躍する機会が広がります。



*グローバル人材育成支援プログラムは、海洋生命科学部と海洋資源環境学部の共通のプログラムです。

先輩が東京海洋大学に
入学を決めた理由



海洋資源環境学部



「海を知り、海を守り、海を有効に利用する」

総合的な教育・研究を進めます。

海洋資源環境学部長 田中 祐志

海に囲まれた我が国では、海から得られる資源（生物 / 非生物を問わず）やエネルギーの持続的利用が重要で、そのための新産業分野の創出も必要です。2007年に施行された海洋基本法には「…海洋の平和かつ積極的な開発・利用と海洋環境の保全との調和を図る新たな海洋国家の実現を目指す」と明記されています。

世界に目を向けると、「持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals)」が2015年に国連で採択されました。2030年までに達成すべき17個の大目標が掲げられており、その1つに「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能なかたちで利用する。」というものがあります。

海洋資源環境学部は、このような時代の要請に応え2017年4月に新設されたばかりで

す。本学の歴史的な特色と特長に立脚した海洋の持続的利用と環境保全に資する教育・研究への取り組みが、品川キャンパスで始まったのです。

この新しい学部では、海面及びその上を覆う大気から海底、海底下までの総合的な海洋科学・海洋生物学に関する理解を基盤に、再生可能エネルギー・海底資源の利用、海洋環境の保全・修復等の分野で求められる知識と技術を教育します。「新たな海洋国家」を実現しそれを支えるチームの一員さらにはリーダーとして国内外で活躍できる人を育てるために「質保証」を伴う統合的で実践的なカリキュラムを備え、海のスベシャリストを目指す意欲に満ちた諸君を待っています。

品川キャンパス

入学定員総数

105名

海洋環境科学科

62名

海洋資源エネルギー学科

43名



海洋環境科学科

大気や海底を含む海洋に関する科学的な基礎及び多様な海洋生物と環境との相互作用を総合的に理解し、洋上での海洋観測・探査、海洋生物の種・生態・生活史などの調査、海洋生物の理解や海洋生物がもつ有用分子の利用のための化学・生化学的解析、人間活動の環境への影響の予測などに必要な科学と技術を学び、これらについて研究します。

本学科には、大気から海底を含む海洋を包括した基盤的な学問分野である「海洋学」、又は多様な海洋生物と環境との相互作用に関する学問分野である「海洋生物学」のどちらかを重点的に学べるカリキュラムがあります。海洋における諸現象と海洋生物との関係について測定・解析・理解・予測・利用を実行する能力及び国際的な対応力を身につけ、海洋研究、生物資源調査、環境影響評価、環境管理・保全、海洋開発などの実務に関連する研究機関、教育機関、国・自治体機関及び企業で活躍できる人材を育成します。



教育内容の概要

大気や海底を含む海洋並びに多様な海洋生物と環境との相互作用に関する基礎及び専門的な知識と技術を修得させ、これらの分野における課題の設定能力と解決能力、及び高度専門職業人としての基礎を修得させるために、総合科目、基礎科目、専門科目等の授業及び実験・実習等で組織的教育を行います。

総合科目及び基礎科目では、幅広い教養・論理的思考能力・文化的素養・国際的視野・コミュニケーション能力を養い、大局化した諸課題を総合的に理解・判断できる能力が修得できるように講義・演習等を通して学びます。

専門科目では、水圏における物理学的、化学的、生物学的、地学的事象の原理とその相互作用について基礎を幅広く学び、海洋全体を包括する基盤的な「海洋学」、又は多様な海洋生物と環境との相互作用に関する「海洋生物学」という二つの学問分野（専門科目群）のどちらかを重点的に学ぶとともに専門的な技術を修得します。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
総合科目	<ul style="list-style-type: none"> 共通導入科目 文化学系科目 哲学・科学論系科目 社会科学系科目 健康・スポーツ系科目 外国語系科目 			
基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 基礎微積分Ⅰ* 基礎微積分Ⅱ* 物理学* 化学* 生物学* 地学* 数理解析 線形代数 データサイエンス入門A データサイエンス入門B 	<ul style="list-style-type: none"> 数理学 物理学 統計学 情報処理論 物理学実験 化学実験 生物学実験 地学実験 		
関ヶ原国際キャリアプログラム	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 入門* グローバルキャリア入門 キャリア形成論Ⅰ 		<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 演習* 海外派遣キャリア演習Ⅰ キャリア形成論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 海外派遣キャリア演習Ⅱ
基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> 物理学概論Ⅰ 化学概論Ⅰ 生物学概論Ⅰ 地球科学概論Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> Natural Sciences * 物理学概論Ⅱ 化学概論Ⅱ 生物学概論Ⅱ 地球科学概論Ⅱ 分析化学 データサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> 数値モデリング 数値モデリング演習 職業指導 	
	<ul style="list-style-type: none"> 水産海洋概論Ⅰ 水産海洋概論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 物理海洋学Ⅰ 海底科学Ⅰ 乗船実習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋政策学 環境アセスメント論 海域連携利用論 海洋資源環境キャリア実習Ⅰ 海洋資源環境キャリア実習Ⅱ 乗船実習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 乗船実習Ⅲ 乗船実習Ⅳ
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> General Oceanography * 環境情報解析学Ⅰ 沿岸海洋学Ⅰ 生物海洋学 環境動態学Ⅰ 海洋学実習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 物理海洋学Ⅱ 沿岸海洋学Ⅱ 化学海洋学 海洋学研究の最前線 環境動態学Ⅱ 環境情報解析学Ⅱ 海底科学Ⅱ 海洋学実習Ⅱ 海洋科学実験 海底科学実験 	
		<ul style="list-style-type: none"> 海洋生物学Ⅰ 海洋生物学Ⅱ 海洋生物学Ⅲ 	<ul style="list-style-type: none"> Aquatic Biology * 海洋生物学Ⅳ 環境生命化学Ⅰ 環境生命化学Ⅱ 海洋生態学Ⅰ 海洋生態学Ⅱ 海洋生物学研究の最前線 海洋生物学実験Ⅰ 海洋生物学実験Ⅱ 海洋生物学実験Ⅲ 海洋生物学実験Ⅳ 環境生命化学実験 臨海生物学実習 	
卒業研究科目				<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文* セミナー*

1 週間の時間割例

[2 年次] 基礎専門科目を中心に実験・実習などを選択

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	生涯学習社会論 / 生涯学習指導論	数理科学	Interactive English		心理学
2	分析化学	海洋生物学Ⅱ	教育思想史	Effective English	物理数学
3		生物学実験 / 地学実験	Natural Science	教育心理学	化学概論Ⅱ
4	生物海洋学	生物学実験 / 地学実験	情報処理論		物理学概論Ⅱ
5	海洋生物学Ⅰ	生物学実験 / 地学実験	海洋生物学Ⅲ	博物館教育論	

[3 年次] 注) 主に3年次以降は4学期制となり、週2回講義がある。物理学、化学、生物、地学、情報解析学系の専門科目が開講され、専門分野を自由に選択できる。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		環境動態学Ⅱ		海洋学研究の最前線	環境動態学Ⅱ
2	環境生命化学Ⅰ	海洋生物学Ⅳ	環境生命化学Ⅰ	海洋学研究の最前線	海洋生物学Ⅳ
3	物理海洋学Ⅱ / 環境生命化学Ⅱ	海底科学Ⅱ	物理海洋学Ⅱ / 環境生命化学Ⅱ	キャリア形成論Ⅱ	海底科学Ⅱ / 海洋生物学実験Ⅰ
4	化学海洋学 / 海洋生態学Ⅰ	環境情報解析学Ⅱ	化学海洋学 / 海洋生態学Ⅰ	博物館学Ⅳ	環境情報解析学Ⅱ / 海洋生物学実験Ⅰ
5					海洋生物学実験Ⅰ

取得可能資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）
- 高等学校教諭一種免許状（水産）
- 技術士補
- 学芸員
- 三級海技士（航海）※

※ 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び、海洋科学専攻科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

卒業後の進路

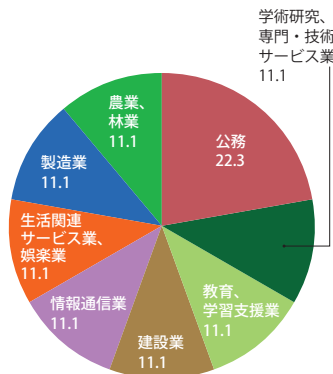
令和2年度卒業生(%)

大学院進学	67.2
海洋科学専攻科	13.8
就職	15.5
その他	3.5

就職先

アルファ水工コンサルタンツ、エニグモ、NTTコムウェア、オリックス水族館、海上保安庁、CLINKS、高校教員、合食、水産庁、東京電力ホールディングス、東洋信号通信社、東洋水産、東洋冷蔵、都道府県水産試験場、都道府県庁及び市区職員、全国漁業協同組合連合会、ナフコ、BML フード・サイエンス、三浦工業、三井住友海上火災保険、臨海 等

就職先業種



令和2年度卒業生産業別就職状況(%)
※進学等を除く学部卒業者の実績
※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

海洋学および関連領域

■ 物理海洋学

海洋における物理現象の探求と変動予測、黒潮、親潮、極域、海洋風成大循環、深層循環、海洋中の微細混合

■ 化学海洋学

海洋における化学物質の循環について研究

■ 生物海洋学

水圏生物の生産と環境要因との関係を研究

■ 地球流体力学

大気海洋循環力学、海洋波動、潮汐、沿岸流、渦力学、回転水槽実験

■ 気候変動力学

大気海洋相互作用と気候変動、極域海洋海水変動

■ 資源情報解析学

生物資源の生態と環境要因（場の環境）との関係

■ 衛星計測学

衛星リモートセンシングによる海洋環境変動要因の解明

■ 資源環境動態学

海洋の物理過程と生物生産の動態との関係の究明

■ 環境測定学

海洋の光および濁り環境の動態

■ 環境数理解析学

数理モデルを用いて科学の諸現象のメカニズムを探求

■ 生元素循環学

海洋生物群集が駆動する生元素循環について研究

■ 海洋無機化学

水圏における元素の溶存状態の解析やその分布などの分析

■ 海底生物地球化学

海底における生物代謝および地球化学的プロセスの研究

■ 海底物質科学

海底における金属元素の動態や分布に関する鉱物学的・地球化学的研究

海洋生物学および関連領域

■ 藻類学

海藻、淡水藻、珪藻等の分類、形態、生活史、生態等

■ 無脊椎動物学

水域の無脊椎動物の分類、形態、生活史、生態等

■ 魚類学

魚類（仔稚魚）の形態、摂餌生態、群集生態等

■ 浮遊生物学

浮遊生物の分類、生理、生態、生活史

■ 鯨類学

鯨類（クジラ・イルカ等）の生態、形態や適応戦略等

■ 海洋生態学

海洋生態系内での生物の機能と動態

■ 個体群生態学

水圏生物個体群の生態や個体数密度等の定量的研究

■ 海洋生化学

有用な環境微生物・酵素・遺伝子の探索、解析、改良、応用

■ 水圏生態化学

海洋生物由来の医薬品候補物質や毒素の化学構造と作用

■ 生体機能利用学

海洋と環境に関わる生体化学機能の解明とその有効利用

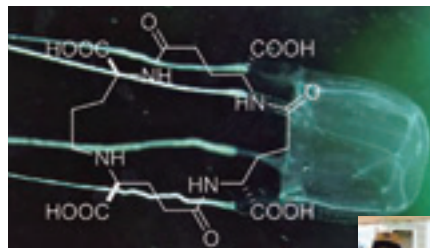
研究紹介

■ 水圏生態化学

海洋生物が持つ毒素や有用化合物について調べる

海洋生物は特異な化学構造や顕著な生物活性を有するさまざまな有機化合物を持つことが知られています。

当研究室では、海洋生物から薬の候補になりそうな化合物や毒素を取り出して、その構造を解析し、さらに作用メカニズムを追求するという研究を主に行っています。その結果、クラゲなどの刺胞動物やラン藻など微細藻類からさまざまな新しい化合物を発見しています。今後、これら化合物が医薬学や生理学の発展に寄与することを願っています。



アンドンクラゲと刺胞動物に特異的な化合物

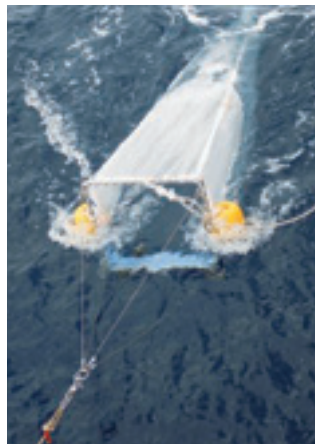


東京湾でのサンプル採集

■ 環境測定学

海の環境・汚染の計測手法の開発

人為的な活動により、海に様々な物質が流入し、海中に分布し環境を変化させています。海洋マイクロプラスチック（以下MPs）はその一例です。5mm以下のプラスチックがMPsと定義されています。MPsは世界中の海域に分布しており、様々な生物へ影響を及ぼしています。しかし、MPsの採取ネットのサイズより小さなMPsの濃度分布についてあまり解明が進んでいません。我々の研究室では、小さなMPsの測定手法の開発に取り組んでいます。またMPsの影響は多岐にわたることから、他の研究室とも共同して研究を進めています。



ニューストンネットによるマイクロプラスチックの採取

ニューストンネットで採取されたマイクロプラスチック。赤外分光分析でプラスチックの種類を調べる

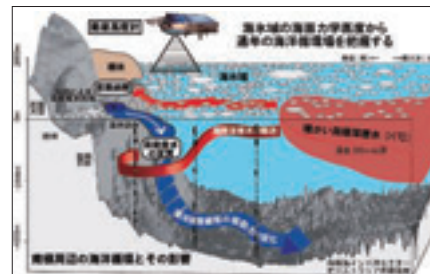


■ 海洋物理学

深層大循環の変動と実態解明に迫る

地球規模で大気海洋システムを理解し、将来の気候を高精度で予測することが社会的に強く求められています。気候変動の鍵を握る南大洋で、現在進行している温暖化の兆候や影響を定量的に把握する海洋観測、変貌メカニズムを解明するコンピュータ実験を行っています。

このほか物理学分野では、日本周辺の海洋動態のメカニズムを解明するコンピュータモデルの開発や海況予測、リアルタイム観測システムの開発、衛星観測ビックデータの解析を通して、海の環境を保全し活用することを目指しています。



係留観測網で捉える大循環の変貌

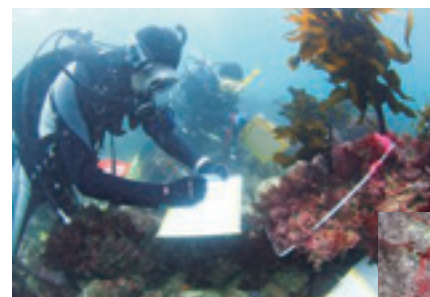


南大洋に設置している巨大係留系

■ 藻類学

大型藻類の研究を通じた生物多様性の解明と環境保全

海藻は日本人に馴染み深い食材ですが、海藻の生き様や生育条件は意外に分かっていません。本研究室では、様々な環境から採集した海藻の形態、遺伝子、生殖・生理特性を調べ、生育環境による違いや、他の生物との関わりについて研究しています。海藻の多様性は変化に富んだ沿岸環境によって維持されていることが分かってきました。絶滅危惧種の多い淡水大型藻の生態も調査しており、希少種の保護や生育環境の保全に役立てたいと考えています。



海藻のモニタリング調査



都内で見つかった淡水産大型藻類

在学生の声

鳥取県
出身



砕氷艦「しらせ」の見学

長野県
出身



すみだ水族館にて

海洋環境科学科 2年（女子）
鳥取県立米子東高等学校卒業

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

海好きの仲間が集まるので、友人の紹介で海での調査や観光などのイベントに参加させていただく機会が増えました。また、海にかかわる活動を行う部活やサークルの規模が大きく、楽しく活動することができます。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

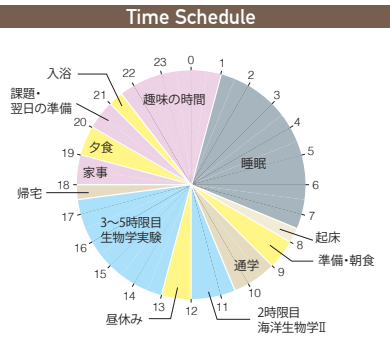
海洋学と海洋生物学どちらについても学ぶことができるので、入学時点でどちらについて学びたいか決まっていなくても大学の講義を受けていくなかで自分に合ったものを選ぶことができます。

◆将来の夢、目標は？

水族館の学芸員、または海洋生物の研究員など海洋生物に関わる職業に就きたいと考えています。

◆受験生に向けて、ひとこと

興味のある分野について学ぶことはとても楽しいです。海洋大学で学びを深めていくうちに将来の夢や目標がきっと見つかると思います。



海洋環境科学科 4年（男子）
長野県飯田高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

海なし県出身で、幼少期より海に憧れや興味がありました。そのため、大学では海について学ぼうと考えていました。他大学に比べ、海に関する事を主軸とした授業や実習が多いため、海を学ぶにはもってこいな環境だと考えたためです。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

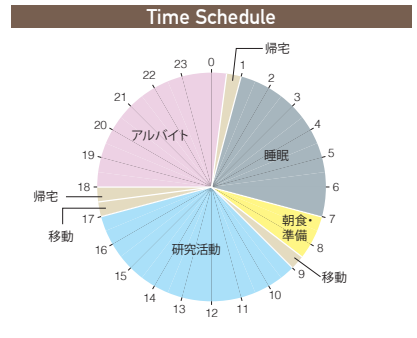
海洋大には、海が好きでユニークな人がたくさんいます。皆が違う視点から海について熱い思いを持っているので、話を聞いたりすると世界が広がるようでとても面白いと感じるときです。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

とにかく初めて学ぶ事がたくさんあるので、新しいことを学べる楽しさもありますが、慣れるまでついていくのが大変です。

◆受験生に向けて、ひとこと

本学科には、海洋に関する多分野の講義があり、入学後に好きな分野を見つけられます。海が好きだけど学びたい分野は決まっていな方にもお勧めです。



卒業生からのメッセージ

佐藤 博さん

2010（平成 22）年度 海洋科学部海洋環境学科卒業
2012（平成 24）年度 大学院海洋科学技術研究科海洋環境保全学専攻修了
株式会社 KANSO テクノス 東京支店 福島事務所

私は元々福島県の山間部の出身でしたが、海に憧れがあったのでこの大学へ入学しました。大学ではプランクトンの研究室に所属し、その後大学院までを通して様々な調査や実験を経験しながら研究生を送りました。学部4年の時に東日本大震災が起こり、これが転機となって、復興関連調査も手掛ける環境コンサルタント会社に入社しました。大学で得た経験を頼りに北は秋田県、南は沖縄県まで様々な海洋調査等を経験してきました。現在では主に福島県において海・河川・湖沼等の環境調査を行っており、今後は沿岸漁業の復興のお手伝いできればと考えています。



海洋資源エネルギー学科

海洋・海底資源の探査・計測、開発や利用と周囲環境への影響把握、海洋再生エネルギーに関連する大気・海水流動の解析技術、エネルギー変換、海洋・生物生態調査、海上・海中・海底における諸活動を支える計測機器、移動体、構造物に関する運用・制御などに必要な科学と技術を学び、これらについて研究します。本学科には、海洋再生エネルギーや海底資源利用に関連する科学技術を中心とした学問分野である「海洋開発学」、又は海上・海中・海底における諸活動を支える海洋工学を中心とした学問分野である「応用海洋工学」のどちらかを重点的に学べるカリキュラムがあります。

環境保全を前提とした海洋開発現場で国際的に対応できる資質を備え、海洋の利用や資源・エネルギーに関連する企業、国・自治体機関での実務分野（基本設計・施工、環境影響評価、コンサルティングなど）、基礎研究分野、行政分野で活躍できる人材を育成します。



教育内容の概要

海洋・海底資源、再生可能エネルギー、環境保全、海上・海中・海底での活動に関する基礎及び専門的な知識と技術を修得させ、これらの分野における課題の設定能力と解決能力、及び高度専門職業人としての基礎を修得させるために、総合科目、基礎科目、専門科目等の授業及び実験・実習等で組織的教育を行います。

総合科目及び基礎科目では、幅広い教養・論理的思考能力・文化的素養・国際的視野・コミュニケーション能力を養い、大局化した諸課題を総合的に理解・判断できる能力が修得できるように講義・演習等を通して学びます。専門科目では、海洋・海底の資源、エネルギー等について基礎を幅広く学び、再生可能エネルギーや海底資源の探査・利用に関する「海洋開発学」、又は海上・海中・海底での活動を支える「応用海洋工学」という二つの学問分野（専門科目群）のどちらかを重点的に学ぶとともに専門的な技術を修得します。

4年間で学ぶ授業例

*を付した科目は必修です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
総合科目	<ul style="list-style-type: none"> 共同導入科目 文理学系科目 哲学・科学論系科目 社会科学系科目 健康・スポーツ系科目 外国語系科目 			
基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎微積分Ⅰ* ●基礎微積分Ⅱ* ●物理学* ●化学* ●生物学* ●地学* ●数理解析 ●線形代数 ●データサイエンス入門A ●データサイエンス入門B 	<ul style="list-style-type: none"> ●化学実験 ●生物学実験 ●地学実験 ●数理科学 ●統計学 ●情報処理論 ●物理学実験 		
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ●TOEIC 入門* ●グローバルキャリア入門 ●キャリア形成論Ⅰ 		<ul style="list-style-type: none"> ●TOEIC 演習* ●海外派遣キャリア演習Ⅰ ●キャリア形成論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ●海外派遣キャリア演習Ⅱ
基礎専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ●物理学概論Ⅰ* ●化学概論Ⅰ ●生物学概論Ⅰ ●地球科学概論Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●Natural Sciences* ●物理学概論Ⅱ* ●基礎工学Ⅰ* ●基礎工学Ⅱ* ●General Engineering* ●化学概論Ⅱ ●生物学概論Ⅱ ●地球科学概論Ⅱ ●分析化学 ●データサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> ●数値モデリング ●数値モデリング演習 ●基礎工学Ⅲ ●電気電子工学 ●職業指導 	
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ●水産海洋概論Ⅰ ●水産海洋概論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ●海底科学Ⅰ ●海洋資源エネルギー学実習Ⅰ ●乗船実習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●Marine Resource and Energy* ●海底科学Ⅱ ●海洋政策学 ●環境アセスメント論 ●海域連携利用論 ●海洋資源環境キャリア実習Ⅰ ●海洋資源環境キャリア実習Ⅱ ●海洋資源エネルギー学実習Ⅱ ●海洋自然エネルギー学 ●海洋エネルギー工学Ⅰ ●海洋エネルギー工学Ⅱ ●物理海洋学Ⅰ ●乗船実習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ●乗船実習Ⅲ ●乗船実習Ⅳ
海洋開発学科目群			<ul style="list-style-type: none"> ●海洋資源地球化学 ●海洋地盤工学 ●海洋資源工学Ⅰ ●海洋資源工学Ⅱ ●海洋資源工学Ⅲ ●海洋開発学実験 ●海洋開発学研究の最前線 	
応用海洋工学科目群			<ul style="list-style-type: none"> ●海洋計測学 ●海上安全工学 ●海洋音響学 ●応用情報学 ●応用海洋工学実験 ●沿岸工学 ●応用海洋工学研究の最前線 	
卒業研究科目				<ul style="list-style-type: none"> ●卒業論文* ●セミナー*

1 週間の時間割例

[2 年次] 基礎専門科目を中心に実験・実習などを選択

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		数理学	Interactive English I	情報処理論	心理学
2	Effective English I				物理数学
3		生物学実験／地学実験	Natural Science		化学概論Ⅱ
4		生物学実験／地学実験		生涯学習社会論	物理学概論Ⅱ
5		生物学実験／地学実験	英米表象文化入門	博物館教育論	

[3 年次] 注) 主に3年次以降は4学期制となり、週2回講義がある。物理学、化学、生物、地学、情報解析学系の専門科目が開講され、専門分野を自由に選択できる。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	海域連携利用論		海域連携利用論	海洋地盤工学	
2	海洋エネルギー工学Ⅰ	沿岸工学	海洋エネルギー工学Ⅰ	海洋地盤工学	沿岸工学
3	海洋資源工学Ⅰ	海底科学Ⅱ	海洋資源工学Ⅰ	キャリア形成論Ⅱ	海底科学Ⅱ
4	海洋自然エネルギー学		海洋自然エネルギー学		
5	電気電子工学	海洋音響学	電気電子工学	博物館教育論	海洋音響学

取得可能資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）
- 高等学校教諭一種免許状（水産）
- 技術士補
- 学芸員
- 三級海技士（航海）※

※ 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び、海洋科学専攻科（p.43）を修了すれば、筆記試験が免除されます。

卒業後の進路

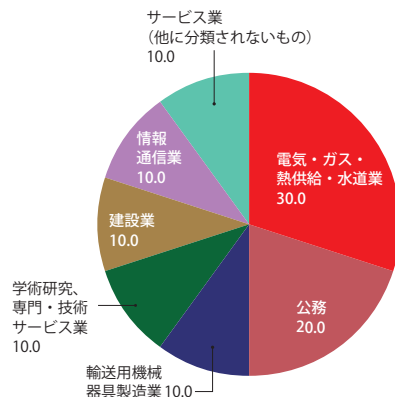
令和2年度卒業生（%）

大学院進学	57.2
海洋科学専攻科	19.0
就職	23.8
その他	—

就職先

イオスエンジニアリング&サービス、SCSK、ESRI ジャパン、ENEOS グローブ、海上自衛隊、京葉ガス エナジーソリューション、構造計画研究所、ジャパンガスエナジー、ジャパン・リニューアブル・エナジー、鳥取県庁（水産職）、日本気象協会、日立パワーソリューションズ、ファイナンシャルブレインシステムズ、光岡自動車、若築建設、ワールドハイビジョンチャンネル 等

就職先業種



令和2年度卒業生産業別就職状況 (%)
 ※進学等を除く学部卒業生の実績
 ※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

海洋開発学および関連領域

■ デバイス工学

海洋エネルギー・資源利用のための超電導・電気電子デバイスや機器の開発

■ 海洋地球化学

化学センシング技術による海底資源・海洋環境・物質循環の研究

■ 海洋地盤工学

海洋構造物の基礎の変形と安定、海底地盤の調査、海底斜面の崩壊、海底鉱物資源の開発

■ 海域地震学

海域地震観測による地球内部構造・地震活動の研究

■ 海洋底地質学

地質学的手法による海洋底における資源・環境・災害の評価とプロセスの解明に関する研究

■ 物理探査・地震学

地震学的手法による海陸の地下構造探査と地下環境変化の4次元モニタリングの研究

■ 海洋気象学

海洋の気象現象把握と気象情報を活用した再生可能エネルギーへの応用研究

応用海洋工学および関連領域

■ 海洋安全工学

船舶・海上労働の安全に関する諸現象の解析

■ 応用情報学

水面下の生物等の行動を解明するためのシステム開発と実践

■ 沿岸域工学

沿岸での波浪や海浜変形、海洋構造物周辺の諸現象、沿岸防災などの研究

■ 海洋数理工学

海洋における諸現象に対して非線形力学系・複雑系の観点から数理モデルを構築し数値解析を行う

■ 海洋音響計測学

生物等を対象とした音波による水中センシング技術の開発と応用

■ 海洋生物音響学

海洋生物の音に関する研究、音を用いた行動・生態研究

■ 海洋システム制御工学

海洋クレーン、水中ビークルなど海洋機械システムの自動制御手法

■ 海洋環境化学工学

鉱物資源開発の環境影響抑制技術、海水を用いた鉱物分離技術、廃水処理技術

研究紹介

■ デバイス工学

海洋エネルギー機器の高性能化を実現する超電導回転機の開発

島国の日本において海洋資源の魅力は計り知れません。海は他の再生可能エネルギーと比べてエネルギー密度が高く、天候の変化による出力変動の少ない有望なエネルギー資源です。

私たちは、海洋エネルギー資源を無駄なく利用して持続可能社会の実現へ貢献するため、小型・軽量・高出力・高効率な超電導発電機/モータの設計・試作と、そのために必要な極限環境技術やセンシング技術などについて「ものづくり」を通じた開発を行っています。



超電導回転機の発電試験

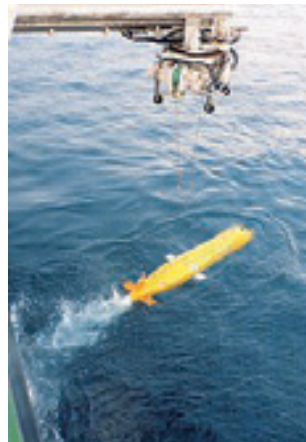


■ 海洋地球化学

化学センシング技術による海底資源・海洋環境・物質循環の研究

海洋表層から深海まで使用できる化学センサを開発し、化学センシング技術を用いて熱水鉱床等の海底資源の探査、海洋環境の長期・広範囲観測、海洋の物質循環過程の解明を行っています。

化学センサは、海中ロボット等の種々の海洋観測機器に搭載して観測を行います。海洋地球化学的手法を基に機器開発等の工学的手法を取り込み、「知る」ための手段を自ら作る「ものづくり」による現場中心の「フィールド海洋学」を目指しています。



センサ搭載海中ロボットによる広域自動観測



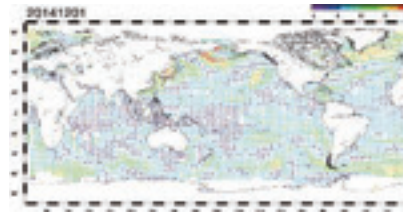
■ 海洋気象学

洋上気象現象の把握

大気と海洋は相互作用により現象を作り出しており、海洋も含めた気象現象を統合的に研究する必要があります。

しかし、洋上で時空間的に連続した海洋気象観測は容易ではありません。

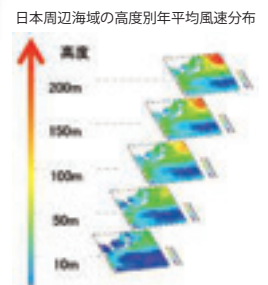
本研究室ではフィールドの観測に加えて人工衛星データや気象シミュレーションによる洋上の気象現象の把握に取り組んでいます。特に洋上風力発電に必要な海上風に関する研究を継続しており、中長期のデータ解析による建設適地の選定に貢献しています。



人工衛星搭載マイクロ波散乱計による世界の海上風観測



大規模洋上風力発電所の風車後流



日本周辺海域の高度別年平均風速分布

■ 物理探査・地下モニタリング研究

地震波で地下を探る・診る

海洋や陸の地下には地震を発生させるプレート境界や断層、火山噴火を起こすマグマ溜、石油や鉱物などの天然資源が集まる鉱床等があります。

これらの場所では地震や噴火などの自然現象や人類による資源開発によって地下の状態が時間と共に変化し、地球環境や我々の生活にも影響を及ぼします。そこで東京海洋大学では人工地震波をつかって地下構造を探ったり、地下の状態変化を診たりするための技術開発や研究をおこなっています。



エアガン音源システムによる地震探査観測作業風景

在学生の声

神奈川県
出身



船内見学の様子

海洋資源エネルギー学科 2年（女子）
神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

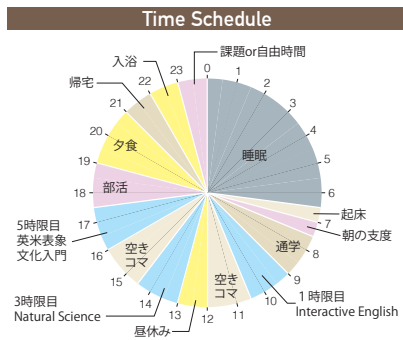
日本の資源について興味があり、専門性が高いためほかの大学では体験できないことができるのではと思い海洋大を選びました。実はもともと海にはそこまで知識がなかったのですが、海洋大では1から学ぶことができるため、講義にもしっかりとついていくことができます。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

実際に調査船に乗って研究している先生方の話を生で聞けるのが一番楽しいです。入学してこのような話を聞くようになってから、より一層、資源や環境への興味が増したと思います。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

他の学科に比べて人数が少ないので、顔を覚えやすいです。特に女子は8人しかいないのですが、その分とても仲が良いです。



東京都
出身



サークルで行った式根島ダイビング

海洋資源エネルギー学科 4年（男子）
東京都立小山台高等学校卒業

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

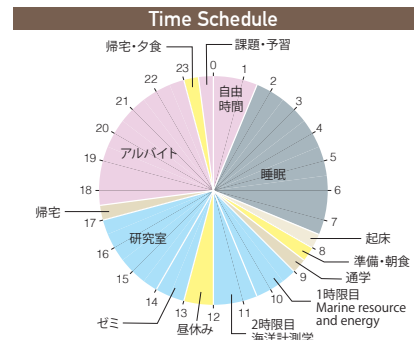
私はスクーバダイビングのサークルに所属しています。同じ趣味を持つ友人たちと、かけがえのない思い出をたくさん作ることができました。海洋大でなければ得られなかった趣味や気の合う友人を感じるとき、海洋大学に入って良かったと強く思います。

◆学科の特徴、ユニークなところは？

研究分野、講義内容が幅広い学科です。海洋エネルギーや海底資源、海域地震、また船舶に関する分野など、海底から海上、地上に影響することまで、海に関する様々な分野を学ぶことができます。少しでも興味がある人であれば夢中になれる分野が見つかると思います。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

実習生活で友達と過ごす時間が一番楽しいです。座学とは違い実際に自分たちで行うことで得られる知識や経験はとても貴重です。1ヶ月航海では、長く船に乗るため実習を通して絆が深まります。実習は普段しないようなことをたくさん行い、終わった後はどれも達成感に溢れ、将来の糧となります。



卒業生からのメッセージ

池口 徳臣さん

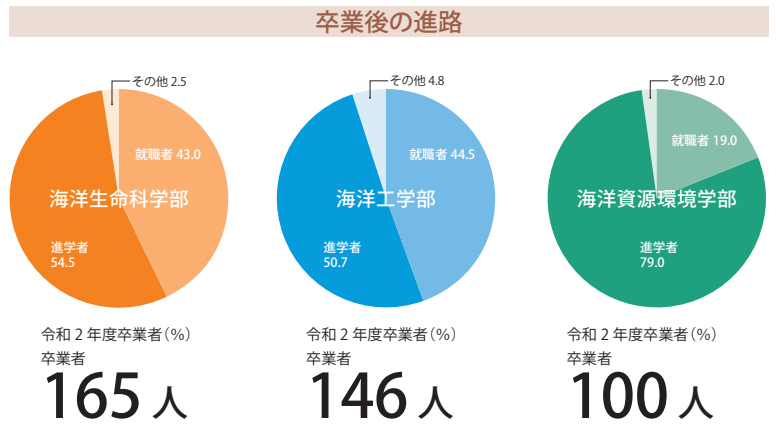
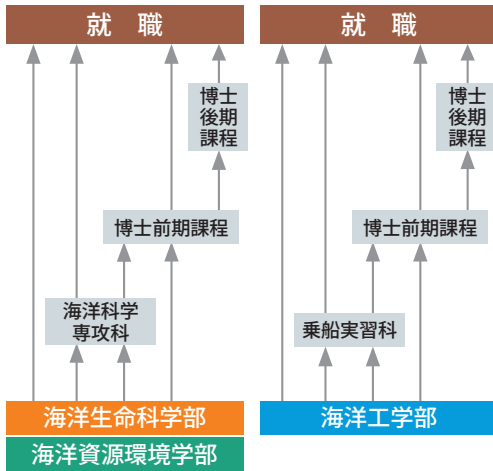
2021（令和3年）年度 海洋資源環境学部海洋資源エネルギー学科卒業
ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社 洋上風力開発本部

私は、再生可能エネルギー事業を手掛ける会社で、洋上風力発電事業のプロジェクトマネージャーを担当しています。具体的には、事業計画策定のための海底地盤調査や風況調査、風車基礎の設計や漁業共生策の検討など、幅広い業務にプロジェクトマネージャーの立場で携わっています。入学当時から再生可能エネルギーに興味があり、専門科目は「海洋開発学」を選択し、研究室では浮体式洋上風力発電に関するテーマの研究をしました。本学科の魅力は海洋資源エネルギーという幅広い分野を座学だけでなく実習での経験をふまえたうえで、より興味のある専門分野について学べることです。



卒業後の進路について

本学では、教員と就職支援室の職員が連携して、きめ細かい就職支援をしています。就職ガイダンスや学内企業セミナーなどを実施し、最新の企業情報を提供しています。さらに、船舶の運航に関する高度な知識と技術を得るための海洋科学専攻科や乗船実習科、あるいは学部の専門基礎教育に立脚した高度専門職業人や先端領域を切り拓く研究者を育成する大学院海洋科学技術研究科博士前期・後期課程への進学指導も行っています。



専攻科・実習科

海洋科学専攻科

本学の海洋生命科学部及び海洋資源環境学部、長崎大学水産学部、鹿児島大学水産学部の卒業生に対して、1年間の課程で海洋科学専攻科を置いています。



本専攻科は、海洋・水産分野における船舶の運航に関する高度な知識と技術を持った海上技術者を育てるために設置されています。

海鷹丸により、航海実習や漁業実習、海洋観測実習、ならびに寄港地での学術交流等によって優れた船舶職員の養成も図っています。

上記の学部及び本専攻科は、三級海技士（航海）の第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び本専攻科の課程を修了した者は、三級海技士（航海）の国家試験のうち筆記試験が免除されます。

乗船実習科

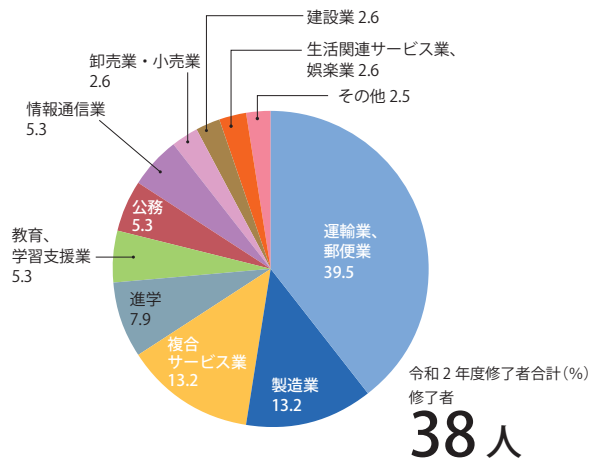
海洋工学部では、海事システム工学科及び海洋電子機械工学科・機関システム工学コースの卒業生に対して、6か月間の課程で乗船実習科を置いています。



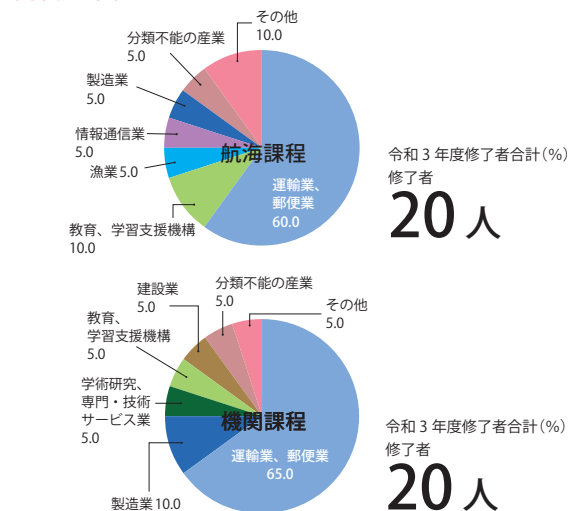
乗船実習は、海技教育機構の帆船や汽船練習船または船社のコンテナ船、LNG船等で実習を行い、大型船の船舶職員として必要な様々な知識・技術を習得します。

また、各寄港地では現地の人達との交流を通じ、国際人としての基本を身につけます。海洋工学部は、三級海技士（航海・機関）の第一種養成施設として国の登録を受けており、乗船実習科を修了した者は、三級海技士（航海）又は三級海技士（機関）の国家試験のうち筆記試験が免除されます。

就職先業種



就職先業種



大学院

大学院海洋科学技術研究科

求める 学生像

時代や社会に機動的に対応でき、地球規模での海洋に関わる諸問題の解決に創造的に立ち向かい、かつ、海洋とその関連産業分野における先端領域を切り拓く意欲と能力を持つ学生

各学部それぞれの研究内容をさらに専門的に探求し、問題提起と解決を試みます。また、複雑に融合した学際領域についても新しい教育研究分野として創生し、新発見、証明、応用を目指して探求します。

本研究科は、博士前期課程と博士後期課程の2区分制となっており、博士前期課程（Master's Course）は、「海洋生命資源科学」「食機能保全科学」「海洋資源環境学」「海洋管理政策学」「海洋システム工学」「海運ロジスティクス」「食品流通安全管理」の7専攻で構成し、学部の専門基礎教育に立脚した高度専門職業人を養成します。

博士後期課程（Doctoral Course）については、「応用生命科学」「応用環境システム学」の2専攻で構成し、先端領域を切り拓く自立した高度専門職業人を養成します。

2020年4月より、新たに導入するビックデータや人工知能に関する教育と本学の卓越した海洋の知見を融合し、AIの社会実装を主導する「海洋AIイノベータ」の育成を目的とした海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラムがスタートしました。

課程	専攻名	入学定員	専攻分野名
博士前期課程 (修士課程) 総定員 228名	海洋生命資源科学専攻	50	水圏生物学、生物資源学、海洋生物学
	食機能保全科学専攻	32	食品保全機能学、食品品質設計学、サラダサイエンス（ケンコーマヨネーズ寄附講座）
	海洋資源環境学専攻	65	海洋環境科学、海洋資源エネルギー学
	海洋管理政策学専攻	22	海洋政策学、海洋利用管理学、海洋環境文化学
	海洋システム工学専攻	19	動力システム工学、海洋機械工学、海洋サイバネティクス、海洋探査・利用工学
	海運ロジスティクス専攻	32	情報システム工学、環境システム工学、海洋テクノロジー学、海上安全テクノロジー、流通システム工学、流通経営学
	食品流通安全管理専攻	8	食品流通安全管理学
博士後期課程 (博士課程) 総定員 40名	応用生命科学専攻	19	応用生物学、食機能利用学、応用生物学
	応用環境システム学専攻	21	海洋環境学、環境保全システム学、海洋利用システム学、海上安全テクノロジー、ロジスティクス、海洋機械システム学、産業政策文化学、海洋探査・利用工学

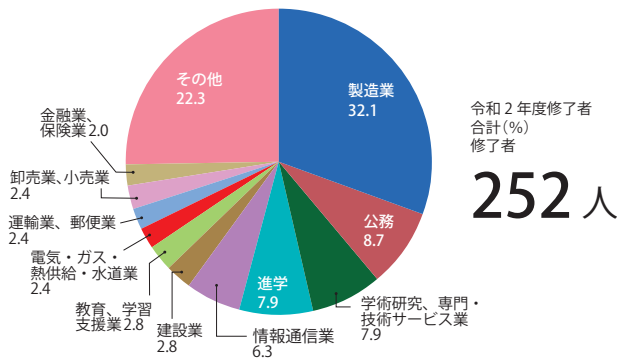
就職先

博士 前期課程 (修士課程)	海洋生命資源科学専攻	いなば食品、岩谷産業、極洋、ゴトー養殖研究所、日本水産、ハウス食品、日清食品ホールディングス、丸紅、富士通、栗田工業、水産庁、東京都島しょ農林水産総合センター、千葉県水産総合研究センター、三重県水産研究所 等
	食機能保全科学専攻	伊藤ハム、カゴメ、キュービー、昭和産業、中外製薬、日清製粉、ニプロ、日本食品分析センター、パナソニック、明治 等
	海洋資源環境学専攻	出光興産、環境再生保全機構、極洋、三洋テクノマリン、水産庁、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、東京ガス、日本水産、富士電機、リモート・センシング技術センター 等
	海洋管理政策学専攻	厚生労働省 小樽検疫所、水産研究・教育機構水産資源研究所、農林中央金庫、ブルーブルー、水産庁、日本財団、八丈町役場、三菱倉庫 等
	海洋システム工学専攻	いすゞ自動車、デンソー、富士通ゼネラル、国土交通省、シャープ、JFEエンジニアリング、スズキ、東亜建設工業、三菱電機、横河電機 等
	海運ロジスティクス専攻	青森県教育委員会（高等学校教員）、NEC通信システム、NYK LNG シップマネージメント、海技教育機構、川崎重工業、鴻池運輸、国土交通省海事局、小松製作所、DHL サプライチェーン、パナソニック 等
	食品流通安全管理専攻	いなば食品、王子ホールディングス、オルガノ、ソシオークホールディングス、ヤマサ醤油、養命酒製造 等
博士 後期課程 (博士課程)	応用生命科学専攻	Cancer Precision Medicine、東京海洋大学、日本海洋生物研究所、リージョナルフィッシュ 等
	応用環境システム学専攻	コベルコマテリアル銅管、水産研究・教育機構水産資源研究所、東京海洋大学、長崎大学 等

※近年の実績

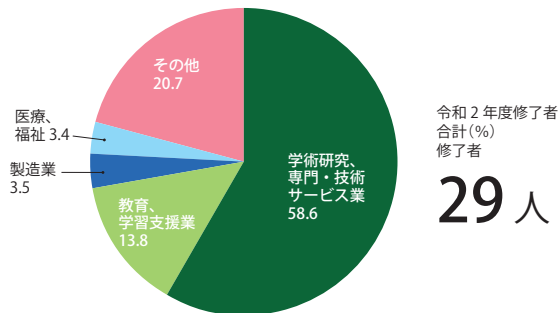
大学院 博士前期課程

就職先業種



大学院 博士後期課程

就職先業種



修学支援制度

在学期間短縮制度：

優れた業績を上げた学生が標準修業年限を短縮して早期に修了できます。

長期履修制度：

職業を有している等の事情により標準修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）を超えて一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修することが出来ます。

リカレント教育の取組み

職業実践力育成プログラム（文部科学大臣認定）：

食品流通安全管理専攻では、社会的実践を学ぶケースメソッド授業等で食のリスク管理のプロフェッショナルを養成しています。

国際教育研究プログラム

共同学位プログラム：

海外大学との共同学位プログラム（ダブルディグリー）を積極的に進めています。

OQEANOUS Plus プログラム：

上海海洋大学、韓国海洋大学校、チュラロンコン大学（タイ）、カセサート大学（タイ）、マラヤ大学（マレーシア）、ボゴール農科大学（インドネシア）と本学の7大学が連携して、海洋の持続的開発と利用に関わる分野において、相互理解を深める学生の双方向教育と高度な専門能力を付与するための質的保証を伴ったプログラムを実施しています。

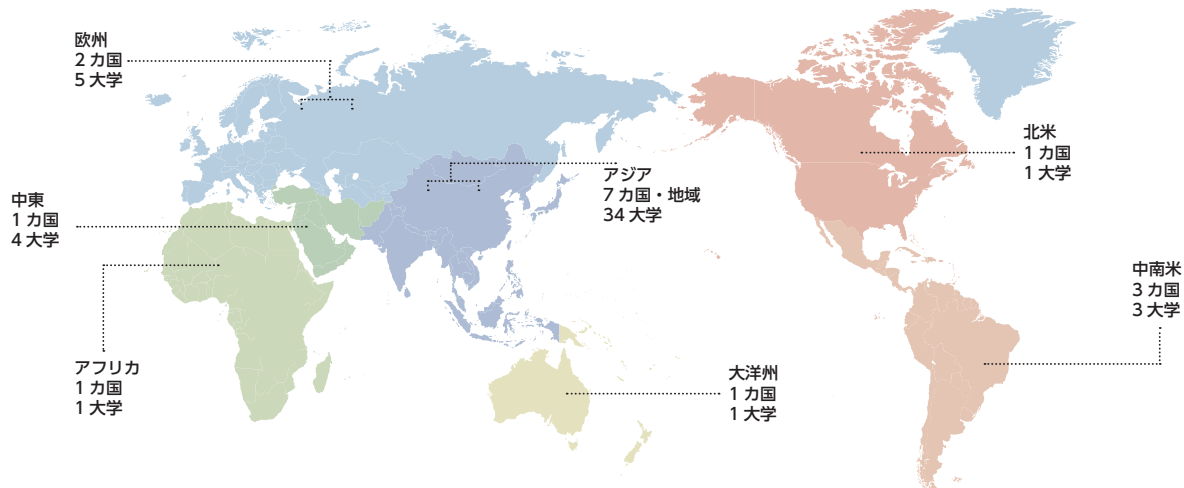


学生交流協定校への交換留学(短期派遣)

奨学金の受給があり最長1年間の留学ができる制度

世界各国の大学と短期交換留学という形で学生交流に関する協定を結んでいます。交換留学には、滞在期間中「受け入れ大学は入学金、授業料を徴収しない」「履修した科目の単位を認定できるようにする」「生活面、教育面での指導や、適当な宿舎を探せるよう受け入れ側で援助する」などいくつかのメリットがあります（本学への授業料を納入する必要がありますが、海外の大学の授業料は日本より高額なので有利です）。

学生交流協定校への学生の派遣については、いくつかの奨学金制度があり、学内での選考により受給者を決定いたします。奨学金を受給するためには、成績、語学力はもとより留学目的についての意識や留学先での学習計画について十分な準備が要求されます。



留学可能な協定大学一覧(16カ国・地域 49大学)

アジア	中国	中国海洋大学、大連海事大学、哈爾濱商業大学、上海海事大学、大連海洋大学、上海海洋大学、広東海洋大学、浙江海洋大学、華東理工大学、集美大学、華東師範大学、香港大学生物科学学院
	台湾	台湾海洋大学、国立高雄科技大学、台湾大学理学院
	インドネシア	ボゴール農科大学、ディボネゴロ大学、ハサヌディン大学
	韓国	釜慶大学校、全南大学校、韓国海洋大学校、木浦海洋大学校、釜山大学校、江原大学校
	フィリピン	サンカルロス大学
タイ	ベトナム	カントー大学、ハノイ工科大学
	タイ	カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソングクラ大学、マエファラン大学、マヒドン大学、プラハ大学、ワライラック大学
中東	トルコ	エーゲ大学、イスタンブール大学、チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学、ムーラ・シツッキ・コシマン大学水産学部
大洋州	オーストラリア	タスマニア大学
欧州	アイスランド	アイスランド大学、アクレイリ大学
	ノルウェー	スタバングル大学理工学部、ノルウェー科学技術大学、ノルウェー北極大学
北米	カナダ	ヴィクトリア大学
中南米	ペルー	ラ・モリーナ国立農業大学
	ブラジル	サンパウロ大学
アフリカ	アルゼンチン	サンマルティン大学
	ナミビア	ナミビア大学



欧州(ノルウェー)
ノルウェー科学技術大学



アジア(タイ)
カセサート大学



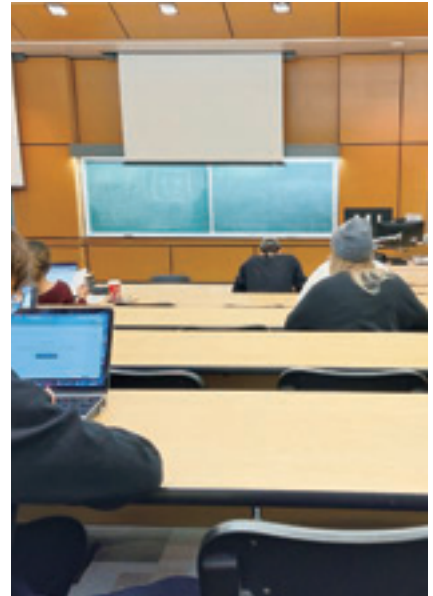
中東(トルコ)
イスタンブール大学

留学先 **ビクトリア大学（カナダ）**

和田 雅輝さん
海洋科学部
海洋政策文化学科 3年

私は2021年9月から2セメスター、ビクトリア大学へ交換留学しました。コロナ禍だったため、授業やテストも一部オンラインになったりと大変でしたが、海洋大の先輩・ビクトリアの友人にもサポートしてもらい、充実した日々を過ごすことが出来ました。ビクトリアはバンクーバー島にあり、「気候と人の温かさ」は間違いなくカナダの中でトップレベルの街です。加えて、カナダでは鮭の遡上・シャチ・オーロラなども見ることができるので、留学先として非常におすすめです。中間や期末のレポート・プレゼンは中々大変ですが、授業内の先生の英語は非常に分かりやすかったです。後期からはほとんど対面の授業でしたが、オンラインのZoomの

授業でもしっかりと顔出しして、授業に積極的な生徒も多く、非常に感化されました。ちなみに私はビクトリア大学の寮に住んでおり、共有スペースで日本のゲーム「スマブラ」を5カ国以上の国の人としたりしていました。海外の大学生がスマブラしているところを目にした際は、日本のゲームや漫画などの文化凄いなあと再認識しました。今後の人生を大きく左右する大学時代に海外留学に行くことは非常に価値があることだと思います。日本食は恋しくなりますが、新しい文化や価値観に触れる機会はなかなかないので、海洋大での交換留学も一度視野に入れてみるとおもしろいのではないのでしょうか。



留学先 **チュラロンコン大学（タイ）**

山崎 美波さん
海洋資源環境学部
海洋資源エネルギー学科 3年

2021年8月から2022年5月までの10か月間、タイのチュラロンコン大学に交換留学しました。渡航はできたものの、大学の授業はほぼ全てオンライン。コロナの影響を受けた留学でしたが、とても貴重な経験をすることができました。

チュラロンコン大学はタイで最大の総合大学であり、国際色が豊かです。大学内にジムや24時間開放の図書館がある上に、大学周辺にはショッピングモールもあり娯楽施設も充実しています。放課後は友達と遊びに出かけたり、スポーツをしたりして過ごしていました。また、テスト前は夜遅くまで図書館で勉強していました。授業は、講義形式だけでなくグループワークのある授業も履修してい

たため、英語での発表の機会も多くありました。対面授業がない環境での友達作りは簡単ではありませんでしたが、自分から積極的に行動することで沢山の仲間に出会うことができました！タイ人、ヨーロッパからの留学生と友達になり、文化の違いを肌で感ることができ、また政治や自国の抱える問題について話し、刺激的な時間を過ごすことができました。

留学では、世界各国に友達を作れ、多様な価値観に触れられるだけでなく、自分とはどんな人なのか？将来何をしたいのか？自分自身と向き合うこともできます。留学に少しでも興味があれば、是非チャレンジしてみてください、自分の世界が広がるはずです！



留学先 **ノード大学（ノルウェー）**

圓尾 和也さん
海洋工学部
海事システム工学科 3年

私は、学部3年次に6か月の間、ノルウェー・ボードーにあるノード大学に交換留学を行いました。ボードーはノルウェーの北部に位置する少し小さな都市です。北緯70度程度のこの場所は、天気が良ければオーロラを見ることができ、雄大なフィヨルドや野生動物を身近に感じる事が出来ます。この文章を書いている時期は2022年4月なのですが、私はすでにアイスクライミングや凍りそうな海や川での水泳、イグルーの作成、サバイバルやハスキー犬による犬ぞり、凍っている湖での釣り等、日本ではまず考えられないような非日常な経験をしております。もちろん楽しいことだけではなく、勉強は

しなければなりません。文化の違い、言葉の違いは思っている以上にストレスたり得るかと思えます。さらにコロナ禍により、留学に行く前から隔離や飛行機の欠便、ビザの発給などかなり悪戦苦闘していました。ですが、海外での生活にどっぷりと浸かることができ、新しい価値観や刺激をたくさんの国から来た留学生から得ることは、これからの人生において必ずいい影響を及ぼすことは間違いないのではないかと思います。もしあなたが自分の成長を心から望むのであれば、留学という選択肢を視野に入れてみてはいかがでしょうか。



海外との共同研究

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 世界戦略魚の作出を目指したタイ原産魚介類の 家魚化と養魚法の構築

世界人口の増加や気候変動等による食料不足への懸念が高まっています。食料を増産するための養殖が世界中で注目されています。近年、養殖による生産量は増大しています。しかし、海外で養殖されている魚介類の多くは生産国にとっては外来種であり、自然界へ逃亡した際の生態系への影響が懸念されています。

東京海洋大学は海外の大学や研究機関と協力して研究を進めています。その中で本研究はタイ原産魚介類であるアジアズキ（パラマンディ）とバナナエビを世界中で食べられ

ようになる「世界戦略魚」の主な研究対象種とし、タイの国立水産研究機関や大学と共同研究を進めています。

タイとの共同研究では魚介類を家畜のように飼育しやすくする家魚化を行うための養殖技術の開発、ゲノム情報を基盤とした育種技術の開発、感染症防除法の開発、餌の改良による効率的な生産技術の開発、天然個体のもつ多様な遺伝子資源を永久保存し、そこから個体を作る技術の開発を進めています。

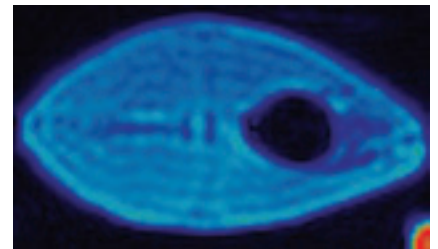
将来、本研究による成果は持続的で安定な食料生産の発展に貢献できると考えています。



鮮魚および冷凍魚品質の 非破壊迅速評価 AI システムの開発

魚介類は品質の差が市場価値に大きく影響することから、様々な角度から品質評価技術が研究されてきました。例えば魚肉中のうまみ成分であるイノシン酸の含量や脂質含量、また鮮度を示すとされるK値などが品質指標として広く使用されています。しかし、これらの分析には手間と時間がかかり、また魚を破壊処理しなければならないという問題があります。そのため漁港や市場などの水産現場ではこれら分析が広く普及しているとは言えず、未だに多くの場合で、漁師や市場関係者の経験や勘により、魚の外観から鮮度や

脂乗り等の品質が評価されています。東京海洋大学食品生産科学科では、世界的な水産大国ノルウェーの中核的水産研究機関であるNofimaとの協力により、ディープラーニングを用いた画像解析によりサバを中心とした鮮魚および冷凍魚の品質を完全非破壊かつ迅速・簡便に行うための国際標準となるAIシステムの確立を進めています。



学生交流

OQEOANOUS Plus プログラム (オケアヌス プラス プログラム)

平成28年度にスタートした日中韓の海洋系3大学（東京海洋大学、上海海洋大学、韓国海洋大学）によるプログラムにASEAN諸国の4大学（チュラロンコン大学、カセサート大学、マラヤ大学、ポゴール農科大学）を加えて、日中韓とASEAN諸国が一体となった教育交流プログラムであり、令和3年度「大学の世界展開力強化事業」に採択されました。持続可能な海洋開発・利用の分野において、相互理解を深める学生の双方向教育と問題解決の高度な専門能力を付与するための

大学院レベルにおける質の保証を伴った単位互換制度を実現し、7大学間の学生相互派遣事業を展開しています。

本プログラムのIJP（国際協働教育プログラム：4ヵ月程度、6単位以上取得）及びSTP（ショートタームプログラム：2週間程度、2単位取得）は、学部4年生でも参加することができます。また、本プログラムで取得した単位は、大学院先行履修制度により、大学院に進学した際の博士前期課程選択科目に含めることができます。



上海海洋大学海洋科学学院でのイカの耳石の取り出し実験



韓国海洋大学校 Hanbada 号にて

練習船



うみたかまる
海鷹丸
[1,886 トン]

最新の航海計器、観測機器を搭載し、南極海を含む世界中の海を行動範囲として、航海技術のみならず、水産・海洋に対する高度な知識と海上技術を身につけた学生の養成を行っています。

また、漁業実習・海洋観測やマイクロプラスチックなど漂流物の観測を通して、環境の保全や、地球環境の変動など人類を含む地球上の生物に影響を与える事象の調査・研究に従事しています。



しんりゅうまる
神鷹丸
[986 トン]

日本周辺から太平洋赤道海域までを航海し、水産・海洋に関する実習、海技教育などに取り組み、高度な海上技術者を養成しています。海中はもちろんのこと海底下までも調査できる最新鋭の観測装置を搭載しています。近年ではプラスチックゴミ等の海洋汚染の実態調査・研究にも従事しています。



しよじまる
夕路丸
[775 トン]

本学の全ての学部学生、大学院生等を乗船対象者として運航するために様々な工夫を施し、2021年10月13日に就航しました。先代夕路丸が行ってきた船舶職員の養成機能、海技必修科目の実習、青鷹丸も行ってきた海洋環境観測、海技免許講習等を引き継ぎ、最新の海洋環境観測設備類を装備して、海事産業の人材育成や研究機能を併せ持つ、海洋系総合大学の練習船として大いに活躍する練習船です。

水圏科学フィールド教育研究センター



館山ステーション (千葉)

海洋環境、海洋生物に関する実習と、養殖技術、海洋生物の研究を行っています。館山湾奥には支所があり、水泳・漕艇・操船・漁業・環境観測に関する実習を行う他、練習船の停泊地としても機能しています。



大泉ステーション (山梨)

八ヶ岳山麓の敷地内にある大湧水の豊富な水を使い、ニジマス、ヤマメ、イwana等の冷水性淡水魚類を飼育しています。生物生産や生物保全、さらに食品科学に関連した基礎から応用までの幅広い実験・実習を行っています。



清水ステーション (静岡)

一万平方メートルを超える占有海面は取水・排水権を有し、研究者が自由に海面を使用できる施設となっています。船舶や海洋構造物の防食・防汚性に関する研究、バラスト水処理装置の実海試験、海洋微生物電池の開発研究等を行っています。



富浦ステーション (千葉)

操船や水泳、水圏環境に関する実習、新入生のオリエンテーション、フレッシュマンセミナー、クラブ活動の合宿等に使用されています。



吉田ステーション (静岡)

ウナギ・アユ・コイ・金魚等の温水性淡水魚を中心に飼育しています。水族病理学や水族養殖・育種学、食品生産学などに関連した基礎から応用までの幅広い実習と研究を行っています。

施設紹介

グローバル教育研究推進機構（グローバルコモン）



本学では、一定の英語能力を学部4年次への進級要件として課しています（海洋生命科学部・海洋資源環境学部：TOEIC L&R スコア 600点、海洋工学部：CEFR B 1レベル）。

品川キャンパスに設置されたグローバルコモンには、英語学習のための各種教材を揃えとともに、自習スペース（個人ブース20席、スピーキング練習用防音ブース3室）を設け、個人のレベルに合わせた学習環境を提供しています。また、英語学習アドバイザーによるサポートを行うとともに、グローバル企業や外国の大学研究室での現地研修に関する情報も提供しています。

越中島キャンパスの附属図書館にも個人ブース3席がある英語学習スペースを設け、教材を充実させています。

マリンサイエンスミュージアム（品川キャンパス）



明治35年、旧東京水産大学の前身である農商務省水産講習所にできた標本室に始まりま

す。本館は平成28年1月に改修し、海の生き物の標本や漁具などの展示を通じて、海洋生物や海と人との関わりを紹介しています。また、別館にセミクジラなど大型鯨類の骨格標本を展示している「鯨ギャラリー」があります。

明治丸海事ミュージアム（越中島キャンパス）



国の重要文化財「明治丸」と百周年記念資料館、明治丸記念館及び現存する日本最古の2つの天文台（第一、第二観測台（登録有形文化財））等から構成され、「海洋立国日本」の歴史と文化を学ぶ場としての役割を担うとともに、越中島キャンパスに接する水辺やキャンパス内の緑が織り成す豊かな自然環境と融合して、地域に開かれた多様な文化交流の場の創出を目指しています。

附属図書館（両キャンパス）

旧東京商船大学と旧東京水産大学の附属図書館の蔵書を継承し、海洋に関する古今東西の専門書を豊富に所蔵しています。また、オンラインジャーナルや学術文献データベースの導入・維持にも積極的に取り組み、本学における学習支援及び研究活動に即した支援等、学術情報基盤の整備を継続して行っています。

保健管理センター（両キャンパス）

医師、看護師等のスタッフが中心となって、学生と教職員の健康診断や健康相談、メンタルヘルスのためのカウンセリング、簡単な疾病の治療、けがの応急処置、病院の紹介を行っています。大学の感染対策や実習に参加する学生の健康管理にも取り組んでいます。

総合情報基盤センター（両キャンパス）

ネットワーク・サーバの管理、コンピューターを利用する教育・研究の支援を行っています。SINET（学術情報ネットワーク）を通じ外部と接続し、学内外との電子情報交換窓口としての役割を果たしています。

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

学食・生協



海洋工学部学生会

越中島キャンパスに所属する各団体が十分な活動を行うための支援をしています。

品川キャンパス自治委員会

品川キャンパスに通う学部学生がサークル活動や海鷹祭をより有意義なものにできるよう支援しています。

海鷹祭実行委員会

品川キャンパスの学園祭「海鷹祭」の企画運営を行う委員会です。



大学祭

学生が主体となって運営する大学祭は、越中島キャンパスと品川キャンパスでそれぞれ開催されます。

越中島 キャンパス



海王祭

6月上旬 開催

プラネタリウム公開、ロープワーク体験、ステージ企画、写真展、茶会、ビンゴ大会、調査研究船「やよい」試乗会を行うとともに海洋工学部の一般公開を兼ねて、研究室、実験室、重要文化財「明治丸」、百周年記念資料館を公開しています。

品川 キャンパス



海鷹祭

11月上旬 開催

マグロの解体、切り身の即売、ウミガメの標本の展示、ニジマスの薫製作成実演等、海と「さかな」に関するものが盛り沢山です。各サークルによる研究活動の発表、バンドライブなどのイベントもにぎやかです。また、マリンサイエンスミュージアムでは学芸員を目指す学生が展示品の説明をします。

年間スケジュール

4月

5月

6月

7月

8月

入学式
オリエンテーション
定期健康診断

大学祭(越中島
キャンパス海王祭)

夏季休業
「海の日」記念行事

クラブ・サークル

一般的なクラブのほかには海洋に関するユニークなものもあります。



海洋研究会
各種標本作製や水質調査を中心に幅広く活動しています！



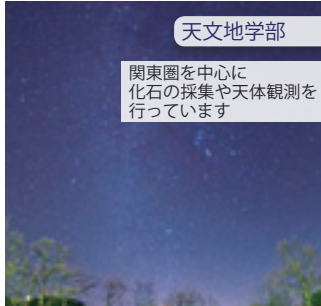
初心者大大大歓迎！
海と風による非日常へ！
ヨット部



潜水部
ダイビングを始めるなら潜水部へ！



軟式野球部
一緒に野球しましょう！



天文学部
関東圏を中心に化石の採集や天体観測を行っています



水泳部
初心者・経験者問わず選手&マネ大歓迎!!



シャチ研究会
鯨類が好きな君！ようこそシャチラボへ!!



初心者大歓迎！一緒に強くなりましょう！
柔道部



合唱部
合唱は地味。そう思いませんか？



国際交流サークル
留学生との交流は刺激的で楽しいです！



サッカー部
日々精進！



City music 部
一緒にイカした音楽やりましょう



サメ・エイ研究同好会 ぶかぶか



バドミントン部
海が好きな方はきっと楽しい大学になります海洋大で待ってます！



バスケットボール部
今を全力で楽しんでください！



漕艇部
初心者大歓迎!! 日本一へ共に漕ぎ出しましょう！



動植物研究会
初心者からマニアまで！生き物系サークルです!!



9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

9月期学位記・修了証書授与式 10月期入学式 大学祭 (品川キャンパス海鷹祭) 冬季休業 学位記・修了証書授与式 春季休業

一緒に大学生活を
写真に収めましょう！



写真部



空手道部

空手道では心身共に
鍛えられます！



ボードセーリング部

漕ぎ出そう大海原へ！



フォークソング部

好きな音楽を自由に、
好きなだけできます！



弓道部

共に切磋琢磨しましょう。
弓道部でお待ちしています。



是非たくさんの友好関係をも
ってください！

アウトドアライフ同好会



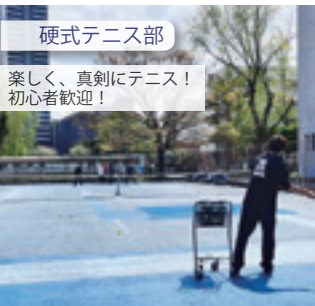
釣り研究同好会

一緒に釣りしませんか！！



ダンス部

初心者大歓迎です！一緒に踊りましょう！



硬式テニス部

楽しく、真剣にテニス！
初心者歓迎！



ラグビー部

初心者大歓迎！
マネージャーも大募集！

学生自治団体

- 品川キャンパス自治委員会
- 海洋工学部学生会
- 海洋工学部学生会
- 海洋工学部学生会
- 海鷹祭実行委員会
- 海鷹祭実行委員会
- 海鷹祭実行委員会
- サークル委員会

運動系クラブ・サークル

- カッター部
- サッカー部
- スキー・スノーボード同好会
- ソフトテニス部
- ネットボール部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- フットサル部
- ボードセーリング部
- 漕艇(ボート)部
- ヨット部
- ラグビー部
- 弓道部
- 空手道部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- 合気道部
- 山岳部
- 柔道部
- 女子カッター部
- 男子カッター部
- 女子バレーボール部
- 軟式野球部
- 水泳部
- 卓球部
- 男子バレーボール部
- 木曜会
- 陸上競技部

文化系クラブ・サークル

- ESS
- Killer Whale lab. (シャチャラボ)
- アウトドアライフ同好会
- うみがめ研究会
- オーケストラ部
- ギター部
- シティミュージック部
- ダンス部
- ビート・シャークス・ジャズ・オーケストラ部
- フォークソング部
- プラスバンド部
- ロボット研究会
- 海事普及会
- 音楽部
- 海洋研究会
- 合唱部
- 国際交流サークル
- 写真部
- 水産生物研究会
- 潜水部
- 茶道部
- 釣り研究同好会
- 動植物研究会
- 美術部
- 軽音楽部
- 天文地学部
- サメ・エイ研究同好会ふかふか
- 越中島写真部



陸上競技部

新入生の皆さん一緒に走りましょう！

学生支援・相談

【学生相談体制について(主なもの)】

※その他、相談内容に合わせた相談体制となっています。

● 学生支援教員制度

学生支援教員制度は、毎年新入生を対象として、学部学科ごとに複数名の教員が、入学から卒業するまでの4年間にわたり、修学支援を行う制度です。具体的には、勉学上・進路上の悩みをはじめ、学生生活全般にわたる相談事に対し担当教員から適切なアドバイスが受けられます。

● 学生相談(カウンセリング)

施設紹介のページの「保健管理センター」でも、ご案内していますが、学生生活、進路、対人関係等で悩みがある場合は、各キャンパスの専門カウンセラーに相談することができます。

授業料等

入学に要する費用（予定）

- 入学料 282,000円
- 授業料 535,800円
- その他 テキスト代の費用

※入学時及び在学中に入学に要する費用の改定を行った場合は、改定した時から新入学料及び新授業料が適用されます。

入学料免除・授業料免除

下記日本学生支援機構の給付奨学金と連動した入学料・授業料免除を実施しています。
制度の詳細は以下の文部科学省特設 HP よりご確認ください。
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



※入学料並びに授業料は申請すれば納付期限を一定期間猶予することが可能です。

奨学金

日本学生支援機構奨学生

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう、「貸与」または「給付」する制度です。

■奨学金には、「貸与型」の奨学金と「給付型」の奨学金があります。

制度の詳細は以下の日本学生支援機構 HP よりご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/index.html>



学業優秀学生奨学金

■ 博士後期課程進学者への奨学金（大学院生対象）

成績優秀な博士前期課程在籍者のうち、博士後期課程へ進学する者を対象に支給される奨学金。年間10位以内に、10万円を上限に支給。

修学支援事業基金による学資支給事業（給付型）

■ 日本学生支援機構給付型奨学金（と連動した授業料免除）について審査の結果、対象外となった学生（若干名）に対して、大学への寄付金を活用して、1人10万円を支給する奨学金制度です。

経済支援給付制度

学資負担者の経済状況の悪化により、家計が急変した学生への経済支援制度

各種保険

学生教育研究災害傷害保険（学研災）

教育研究活動中の事故による災害保障制度で、3,300円（4年間分）の保険料です。正課・学校行事・課外活動中・通学中に傷害を被った場合、約款の定めるところにより、死亡保険金、後遺傷害保険金および医療保険金が支払われます。

学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

学生が、正課中、学校行事中およびその活動を行うための往復中で、学生の被る種々の賠償責任事故に対する被害救済の保険制度で、1,360円（4年間分）の保険料です。ただし、この保険に加入

するには上記の学生教育研究災害傷害保険に加入していなければなりません。 ※こちらの保険は、課外活動中での事故は補償の対象外です。

学研災付帯学生生活総合保険

上記の「学研災」と「学研賠」には全学生が必ず加入しますが、これらの保険の補償内容を更に充実させた制度として、この学研災付帯学生生活総合保険が新設されました。内容は、自主参加のインターンシップやボランティア・アルバイト活動など正課・学校行事以外の分野も含め24時間補償されます。保険料は4年間約35,000～70,000円です。

※大学に届け出たインターンシップは学研災及び学研賠で補償されます。

東京海洋大学校友会

東京海洋大学校友会

本学と卒業生や各種卒業生団体、大学の教職員、学部学生、大学院生、留学生さらには在学生の保護者の方々を含めた連携強化を目的として、「オール海洋大」で構成し、交流促進、相互支援、最新情報の共有化などとの交流の場として本学の絆をつなぎます。（入会金、年会費無料）

校友会の主な事業

- 校友会システムを活用した校友同士の情報発信や卒業生 OB、OG との交流支援
- ホームカミングデー等の開催による校友相互の交流支援
- 留学生を含む校友間の海外交流支援等

学生寮

学生に生活と勉学の場を提供し、修学上の便宜を図るために、品川・越中島両キャンパス内に設置されています。どちらの学生寮とも、JR・京浜急行品川駅やJR 越中島駅の徒歩圏内と都心へのアクセスが便利です。



左：朋鷹寮(品川キャンパス)
右：海王寮(越中島キャンパス)

施設及び設備の概要

	朋鷹寮 (品川キャンパス)	海王寮 (越中島キャンパス)
住 所	〒108-0075 東京都港区港南 4-5-7 最寄駅：品川駅 (JR・京急線) 徒歩 15分 天王洲アイル駅 (りんかい線・東京モノレール) 徒歩 10分	〒135-0044 東京都江東区越中島 2-2-8 最寄駅：越中島駅 (JR 京葉線・武蔵野線) 徒歩 2分 門前仲町駅 (地下鉄東西線・大江戸線) 徒歩 10分 月島駅 (地下鉄有楽町線・大江戸線) 徒歩 10分
建 物	鉄筋コンクリート 5階建 2棟	鉄筋コンクリート 4階建 4棟、2階建 1棟
居 室	224室【洋室・個室】	334室【洋室・準個室】 (1室を2部屋に区切り2人で使用) 男子 129室、女子 38室
面 積	男子寮、女子寮共：12.25㎡/居室	男子寮、女子寮共：約 12.5㎡ / 1人あたり
設 備	ベッド、机、椅子、本棚、ロッカー、テレビ端子、エアコン ミニキッチン、ユニットトイレ ※毛布、ふとん等は各自準備してください。	ベッド、机、椅子、本棚、ロッカー、テレビ端子、エアコン LAN ケーブル端子 ※毛布、ふとん等は各自準備してください。
共用設備	●1階 …… 事務室、多目的ホール、放送室、寮委員会、 自動販売機コーナー、荷物専用エレベーター、 洗濯室・シャワー室 (浴槽なし) トイレ、倉庫、 メールボックス等 ●2～5階 …… 洗濯室・シャワー室 (浴槽なし)、談話室 ※全館防犯カメラ設置、エントランスオートロック完備	●1～4寮 …… 談話室 (ミニキッチン)、洗濯室、洗面所、 トイレ、女子用シャワー室 (女子棟 2・4階の み)、自動販売機 (1階のみ)、メールボッ クス (1階のみ) ●5寮1階 …… 男子用共同浴場・男子用シャワー室、会議室、 多目的ホール、物品庫等 ●5寮2階 …… 談話室 (ミニキッチン)、洗濯室、洗面所、 トイレ、トランクルーム等 ※全館防犯カメラ設置、エントランスオートロック完備 ※エレベーターはありません

学生寮の経費

	朋鷹寮 (品川キャンパス)	海王寮 (越中島キャンパス)
寄 宿 料	1年間 56,400円 (月額 4,700円)	1年間 36,000円 (月額 3,000円) [タイプ I の場合]
光 熱 水 費 等	1年間 約 48,000円 (月額 約 4,000円)	1年間 約 50,400円 (月額 約 4,500円)
入 寮 費	30,000円 (入寮時のみ)	30,000円 (入寮時のみ)
諸 経 費	朋鷹寮自治会が別途徴収 1年間 /24,000円 (月額 2,000円)、500円 (入寮時のみ)	海王寮寮務委員会が別途徴収 1年間 /33,600円 (月額 2,800円)、7,000円 (入寮時のみ)
共 益 費	1年間 /38,400円 (月額 3,200円)	1年間 /38,400円 (月額 3,200円)

間 取 り	朋鷹寮 (品川キャンパス)	海王寮 (越中島キャンパス)

※入寮時には、寄宿料・諸経費・光熱水費・共益費を6ヶ月分まとめて徴収します。徴収方法等については入寮選考結果と共にお知らせします。

※経費負担については、全体的に見直しを検討しており、変更の可能性があります。変更の際は、大学 HP や入試募集要項にてお知らせします。

学生寮の選考方法

通学の困難度 (片道の通学時間が2時間以上のものを優先) 及び家庭の経済状況 (本学所定の選考基準により算出した「家計評価」による) を考慮し選考します。

※選考方法は変更の可能性があります。変更の際は、大学 HP や入試募集要項にてお知らせします。

学生寮の応募方法

詳細は、入試募集要項又は大学 HP 「学生寮」のページをご覧ください。

入寮についての問い合わせ先 / 学生サービス課学生生活係 TEL.03-5463-0433 / 0429

もっと詳しく知りたい方は大学 HP → 在学生の方 → 学生寮

入試概要

2023 年度 募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員										
			一般選抜		総合型選抜					学校推薦型選抜		私費外国人留学生	
			前期日程	後期日程	A (一般)	B (専門学科・総合学科卒業生)	C-I型 (帰国生・帰国子女)	C-II型 (留学経験者)	D (商船教員養成コース)	E (社会人)	A (一般)		B (専門学科・総合学科卒業生)
海洋生命科学部	海洋生物資源学科 (水産教員養成課程)	68	42	18	8	—	若干名	若干名	—	若干名	—	若干名	若干名
		③	③	—	若干名	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名
	食品生産科学科 (水産教員養成課程)	55	30	14	—	—	若干名	若干名	—	若干名	10	1	若干名
		③	②	—	—	—	—	—	—	—	—	①	若干名
海洋生命科学部	海洋政策文化学科 (水産教員養成課程)	40	21	12	5	若干名	若干名	若干名	—	若干名	2	—	若干名
		①	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名
	小計	170 (163+⑦)	93⑥	44	13	若干名	若干名	若干名	—	若干名	12	1①	若干名
海洋工学部	海事システム工学科	59	36	14	7	2	若干名	—	—	若干名	—	—	若干名
	海洋電子機械工学科	59	34	14	6	3	若干名	—	2	若干名	—	—	若干名
	流通情報工学科	42	20	14	7	1	若干名	—	—	若干名	—	—	若干名
	小計	160	90	42	20	6	若干名	—	2	若干名	—	—	若干名
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	62	37※	14※	—	—	若干名	若干名	—	若干名	11	若干名	若干名
	海洋資源エネルギー学科	43	27※	11※	—	—	若干名	若干名	—	若干名	5	若干名	若干名
	小計	105	64	25	—	—	若干名	若干名	—	若干名	16	若干名	若干名
	合計	435 (428+⑦)	247⑥	111	33	6	若干名	若干名	2	若干名	28	1①	若干名

※海洋生命科学部及び海洋工学部の一般選抜は、第1志望学科のみ志願することができます。
海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の2学科間で、第2志望を認めます。

- (注1) 総合型選抜Aは一般、総合型選抜Bは専門学科・総合学科卒業生、総合型選抜Eは社会人をそれぞれ対象とした選抜です。
(注2) 総合型選抜C-Iは帰国生・帰国子女を対象とした選抜です。
(注3) 総合型選抜C-IIは日本の高等学校在籍中に1年(School Year)以上の海外留学経験を有する者を対象とした選抜です。
(注4) 総合型選抜D(商船教員養成コース)は水産・海洋系高等学校、または水産・海洋系の学科あるいはコースを持つ高等学校の教員を養成するコースです。
(注5) 学校推薦型選抜Aは公募制の選抜です。学校推薦型選抜Bは専門学科・総合学科卒業生(水産・海洋系)を対象とした公募制の選抜です。
(注6) 海洋生命科学部の入学定員小計170人には、水産教員養成課程の7人を含みます。○印の数は、水産教員養成課程の募集人員で外数です。○印のつかない一般と区別します。
(注7) 海洋生命科学部海洋生物資源学科の前期日程の水産教員養成課程の募集人員には、総合型選抜A、学校推薦型選抜Bの水産教員養成課程の募集人員を含みます。
(注8) 海洋生命科学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜B、総合型選抜C-I、総合型選抜C-II、総合型選抜E、学校推薦型選抜B(海洋生物資源学科)の募集人員を含みます。
(注9) 海洋生命科学部の総合型選抜A、学校推薦型選抜A、学校推薦型選抜B(食品生産科学科)の合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。
(注10) 海洋工学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜C-I、総合型選抜Eの募集人員を含みます。
(注11) 海洋工学部の総合型選抜A、総合型選抜B、総合型選抜Dの合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。
(注12) 海洋資源環境学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜C-I、総合型選抜C-II、総合型選抜E、学校推薦型選抜Bの募集人員を含みます。
(注13) 海洋資源環境学部の学校推薦型選抜Aの合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。

令和4年度 入学者選抜データ

海洋生命科学部

令和4年4月1日現在

学科名	入学定員	区 分		募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数	備 考		
海洋生物資源学科	71名	総合型	A 一般	8	63 (20)	7.9	26 (7)	10 (2)	10 (2)			
			C I 帰国	若干名	2 (1)	—	2 (1)	1 (1)	1 (1)			
			C II 留学	若干名	1 (0)	—	1 (0)	0 (0)	0 (0)			
			E 社会人	若干名	1 (1)	—	1 (1)	0 (0)	0 (0)			
			学校推薦型	B 専門	若干名	2 (1)	—	1 (1)	1 (1)	1 (1)		
		一般選抜	前期	45	169 (40)	3.8	164 (39)	44 (8)	43 (7)			
			後期	18	158 (51)	8.8	101 (37)	20 (5)	19 (5)			
		小 計				71	396 (114)	5.6	296 (86)	76 (17)	74 (16)	
		私費外国人留学生				若干名	3 (3)	—	3 (3)	1 (1)	0 (0)	
		合 計				71	399 (117)	5.6	299 (89)	77 (18)	74 (16)	
食品生産科学科	58名	総合型	C I 帰国	若干名	1 (1)	—	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
			C II 留学	若干名	—	—	—	—	—			
			E 社会人	若干名	—	—	—	—	—			
		学校推薦型	A 一般	10	32 (27)	3.2	32 (27)	10 (9)	10 (9)			
			B 専門	2	1 (0)	0.5	1 (0)	1 (0)	1 (0)			
		一般選抜	前期	32	121 (76)	3.8	120 (75)	37 (28)	37 (28)			
			後期	14	111 (67)	7.9	58 (33)	14 (9)	14 (9)			
		小 計				58	266 (171)	4.6	212 (136)	63 (47)	63 (47)	
		私費外国人留学生				若干名	—	—	—	—	—	
		合 計				58	266 (171)	4.6	212 (136)	63 (47)	63 (47)	
海洋政策文化学科	41名	総合型	A 一般	5	14 (5)	2.8	11 (5)	4 (2)	4 (2)			
			B 専門	若干名	2 (1)	—	2 (1)	1 (0)	1 (0)			
			C I 帰国	若干名	2 (0)	—	1 (0)	0 (0)	0 (0)			
			C II 留学	若干名	—	—	—	—	—			
			E 社会人	若干名	—	—	—	—	—			
		学校推薦型	A 一般	2	3 (1)	1.5	3 (1)	0 (0)	0 (0)			
		一般選抜	前期	22	62 (25)	2.8	60 (25)	26 (11)	24 (10)			
			後期	12	148 (68)	12.3	84 (40)	15 (9)	11 (8)			
		小 計				41	231 (100)	5.6	161 (72)	46 (22)	40 (20)	
		私費外国人留学生				若干名	1 (0)	—	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
合 計				41	232 (100)	5.7	162 (72)	47 (22)	41 (20)			
合 計	170名	総合型	A 一般	13	77 (25)	5.9	37 (12)	14 (4)	14 (4)			
			B 専門	若干名	2 (1)	—	2 (1)	1 (0)	1 (0)			
			C I 帰国	若干名	5 (2)	—	4 (2)	2 (2)	2 (2)			
			C II 留学	若干名	1 (0)	—	1 (0)	0 (0)	0 (0)			
			E 社会人	若干名	1 (1)	—	1 (1)	0 (0)	0 (0)			
		学校推薦型	A 一般	12	35 (28)	2.9	35 (28)	10 (9)	10 (9)			
			B 専門	2	3 (1)	1.5	2 (1)	2 (1)	2 (1)			
		一般選抜	前期	99	352 (141)	3.6	344 (139)	107 (47)	104 (45)			
			後期	44	417 (186)	9.5	243 (110)	49 (23)	44 (22)			
		小 計				170	893 (385)	5.3	669 (294)	185 (86)	177 (83)	
私費外国人留学生				若干名	4 (3)	—	4 (3)	2 (1)	1 (0)			
合 計				170	897 (388)	5.3	673 (297)	187 (87)	178 (83)			

- 区分欄のうち、専門は専門学科・総合学科卒業生、帰国は帰国子女、留学は留学経験者の略である。
- 総合型選抜の受験者数は、第2次選抜の受験者数である。
- () 内は女子学生を内数で示す。
- 水産教員養成課程の募集人員は、一般選抜前期日程の海洋生物資源学科に3名、食品生産科学科に2名、及び海洋政策文化学科に1名、学校推薦型選抜B(専門)の食品生産科学科に1名ずつ含まれている。なお、海洋生物資源学科の水産教員養成課程3名には、総合型選抜A(一般)の若干名、総合型選抜B(専門)の若干名が含まれている。

海洋工学部

令和4年4月1日現在

学科名	入学定員	区 分		募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数	備 考	
海事システム 工学科	59名	総合型	A 一般	7	34 (4)	4.9	25 (3)	6 (1)	6 (1)		
			B 専門	2	2 (0)	1.0	2 (0)	0 (0)	0 (0)		
			C I 帰国	若干名	—	—	—	—	—		
			E 社会人	若干名	—	—	—	—	—		
		一般選抜	前期	36	108 (17)	3.0	105 (17)	43 (8)	42 (8)		
			後期	14	129 (19)	9.2	63 (7)	15 (1)	14 (1)		
		小計			59	273 (40)	4.6	195 (27)	64 (10)	62 (10)	
		私費外国人留学生			若干名	—	—	—	—	—	
合 計			59	273 (40)	4.6	195 (27)	64 (10)	62 (10)			
海洋電子機械 工学科	59名	総合型	A 一般	6	10 (3)	1.7	10 (3)	6 (3)	6 (3)		
			B 専門	3	4 (0)	1.3	4 (0)	1 (0)	1 (0)		
			C I 帰国	若干名	—	—	—	—	—		
			D 商船	2	—	—	—	—	—		
			E 社会人	若干名	1 (0)	—	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
		一般選抜	前期	34	90 (9)	2.6	86 (9)	43 (3)	37 (2)		
			後期	14	95 (16)	6.8	40 (3)	22 (1)	18 (1)		
		小計			59	200 (28)	3.4	141 (15)	73 (7)	63 (6)	
私費外国人留学生			若干名	1 (0)	—	1 (0)	0 (0)	0 (0)			
合 計			59	201 (28)	3.4	142 (15)	73 (7)	63 (6)			
流通情報工学科	42名	総合型	A 一般	7	6 (3)	0.9	6 (3)	3 (2)	3 (2)		
			B 専門	1	—	—	—	—	—		
			C I 帰国	若干名	—	—	—	—	—		
			E 社会人	若干名	—	—	—	—	—		
		一般選抜	前期	20	59 (16)	3.0	57 (16)	31 (8)	28 (8)		
			後期	14	104 (34)	7.4	47 (17)	20 (5)	12 (2)		
		小計			42	169 (53)	4.0	110 (36)	54 (15)	43 (12)	
		私費外国人留学生			若干名	—	—	—	—	—	
合 計			42	169 (53)	4.0	110 (36)	54 (15)	43 (12)			
合 計	160名	総合型	A 一般	20	50 (10)	2.5	41 (9)	15 (6)	15 (6)		
			B 専門	6	6 (0)	1	6 (0)	1 (0)	1 (0)		
			C I 帰国	若干名	—	—	—	—	—		
			D 商船	2	—	—	—	—	—		
			E 社会人	若干名	1 (0)	—	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
		一般選抜	前期	90	257 (42)	2.9	248 (42)	117 (19)	107 (18)		
			後期	42	328 (69)	7.8	150 (27)	57 (7)	44 (4)		
		小計			160	642 (121)	4.0	446 (78)	191 (32)	168 (28)	
私費外国人留学生			若干名	1 (0)	—	1 (0)	0 (0)	0 (0)			
合 計			160	643 (121)	4.0	447 (78)	191 (32)	168 (28)			

- 区分欄のうち、専門は専門学科・総合学科卒業生、帰国は帰国生、商船は商船教員養成コースの略である。
- 総合型選抜の受験者数は、第2次選抜の受験者数である。
- () 内は女子学生を内数で示す。

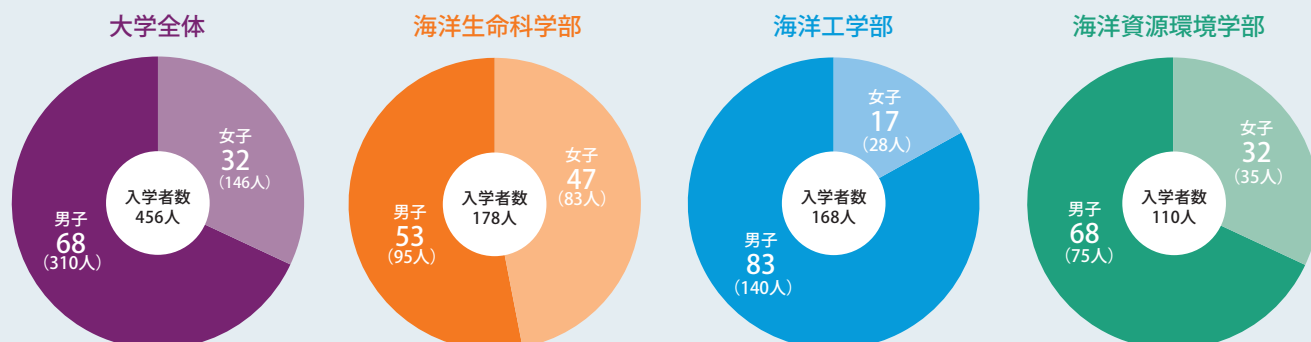
海洋資源環境学部

令和4年4月1日現在

学科名	入学定員	区分		募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数	備考	
海洋環境科学科	62名	総合型	C I	帰国	若干名	—	—	—	—	—	
			C II	留学	若干名	—	—	—	—	—	
			E	社会人	若干名	1 (1)	—	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		学校推薦型	A	一般	11	52 (24)	4.7	52 (24)	11 (9)	11 (9)	
			B	専門	若干名	—	—	—	—	—	
		一般選抜	前期	37	224 (79)	6.1	220 (76)	41 (13)	41 (13)		
			後期	14	128 (48)	9.1	77 (31)	14 (5)	13 (5)		
		小計			62	405 (152)	6.5	350 (132)	66 (27)	65 (27)	
		私費外国人留学生			若干名	—	—	—	—	—	
		合計			62	405 (152)	6.5	350 (132)	66 (27)	65 (27)	
海洋資源エネルギー学科	43名	総合型	C I	帰国	若干名	—	—	—	—	—	
			C II	留学	若干名	—	—	—	—	—	
			E	社会人	若干名	—	—	—	—	—	
		学校推薦型	A	一般	5	12 (4)	2.4	12 (4)	5 (2)	5 (2)	
			B	専門	若干名	—	—	—	—	—	
		一般選抜	前期	27	121 (39)	4.5	112 (35)	31 (3)	29 (3)		
			後期	11	64 (19)	5.8	34 (10)	12 (3)	11 (3)		
		小計			43	197 (62)	4.6	158 (49)	48 (8)	45 (8)	
		私費外国人留学生			若干名	—	—	—	—	—	
		合計			43	197 (62)	4.6	158 (49)	48 (8)	45 (8)	
合計	105名	総合型	C I	帰国	若干名	—	—	—	—	—	
			C II	留学	若干名	—	—	—	—	—	
			E	社会人	若干名	1 (1)	—	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		学校推薦型	A	一般	16	64 (28)	4.0	64 (28)	16 (11)	16 (11)	
			B	専門	若干名	—	—	—	—	—	
		一般選抜	前期	64	345 (118)	5.4	332 (111)	72 (16)	70 (16)		
			後期	25	192 (67)	7.7	111 (41)	26 (8)	24 (8)		
		小計			105	602 (214)	5.7	508 (181)	114 (35)	110 (35)	
		私費外国人留学生			若干名	—	—	—	—	—	
		合計			105	602 (214)	5.7	508 (181)	114 (35)	110 (35)	

- 区分欄のうち、帰国は帰国子女、留学は留学経験者、専門は専門学科・総合学科卒業生の略である。
- () 内は女子学生を内数で示す。
- 一般選抜（前期日程・後期日程）の志願者数及び受験者数は、第1志望の志願者数及び受験者数を示す。

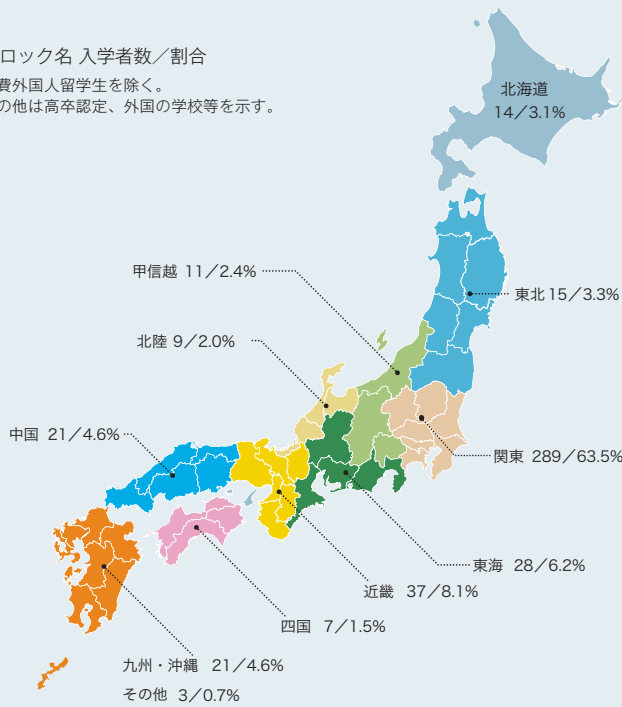
令和4年度入試男女別入学状況(%)



令和4年度 都道府県別志願者・入学者データ

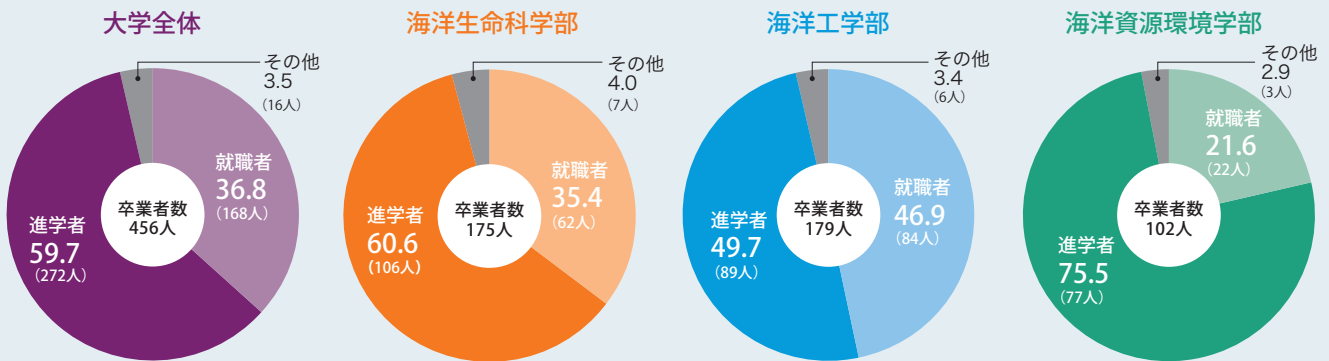
ブロック名 入学者数/割合

私費外国人留学生を除く。
その他は高卒認定、外国の学校等を示す。

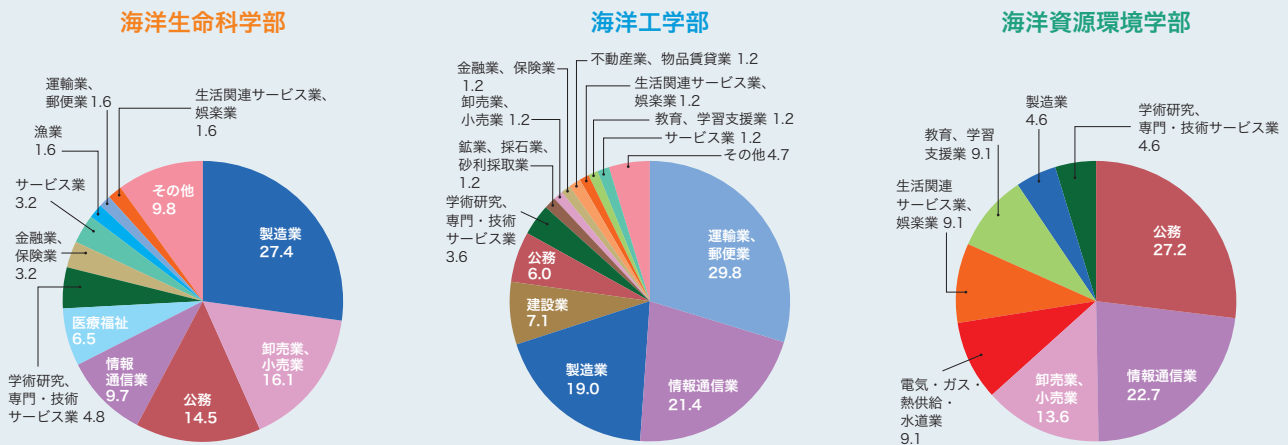


都道府県	海洋生命科学部	海洋工学部	海洋資源環境学部	総計	都道府県	海洋生命科学部	海洋工学部	海洋資源環境学部	総計								
北海道	14	4	14	8	16	2	44	14	京都府	12	2	6	2	5	2	23	6
青森県	4	1	4	1	3	0	11	2	大阪府	13	3	28	5	22	3	63	11
岩手県	3	2	2	1	0	0	5	3	兵庫県	12	2	18	6	15	4	45	12
宮城県	7	3	9	1	4	2	20	6	奈良県	3	0	0	0	2	0	5	0
秋田県	1	0	1	0	0	0	2	0	和歌山県	3	0	0	0	4	2	7	2
山形県	0	0	3	0	0	0	3	0	鳥取県	4	0	3	2	3	1	10	3
福島県	3	1	3	1	8	2	14	4	島根県	1	1	1	0	1	0	3	1
茨城県	23	4	18	5	24	6	65	15	岡山県	10	2	7	2	3	0	20	4
栃木県	13	5	4	1	7	1	24	7	広島県	15	4	9	4	9	3	33	11
群馬県	8	2	8	2	4	1	20	5	山口県	5	2	3	0	2	0	10	2
埼玉県	101	12	43	9	53	11	197	32	徳島県	1	0	1	1	4	2	6	3
千葉県	80	12	75	18	51	12	206	42	香川県	0	0	1	0	0	0	1	0
東京都	271	42	192	48	183	28	646	118	愛媛県	2	0	4	2	1	0	7	2
神奈川県	152	40	83	19	91	11	326	70	高知県	3	0	2	2	1	0	6	2
新潟県	12	2	6	1	4	0	22	3	福岡県	7	1	3	1	5	2	15	4
富山県	6	1	1	1	0	0	7	2	佐賀県	3	2	0	0	1	0	4	2
石川県	4	1	7	3	1	0	12	4	長崎県	1	0	5	1	1	0	7	1
福井県	1	1	4	2	0	0	5	3	熊本県	3	1	6	3	8	2	17	6
山梨県	5	0	5	0	10	1	20	1	大分県	0	0	1	1	0	0	1	1
長野県	11	4	8	2	8	1	27	7	宮崎県	1	1	3	1	2	0	6	2
岐阜県	8	1	1	0	5	1	14	2	鹿児島県	4	1	5	0	2	2	11	3
静岡県	12	4	13	4	9	3	34	11	沖縄県	6	1	4	0	3	1	13	2
愛知県	18	5	21	6	15	2	54	13	その他	12	3	2	0	6	0	20	3
三重県	2	1	2	1	0	0	4	2	合計	893	177	642	168	602	110	2137	455
滋賀県	13	3	3	1	6	2	22	6	外国人留学生	4	1	1	0	0	0	5	1
									学部計	897	178	643	168	602	110	2142	456

令和3年度 卒業生の進路状況(%)

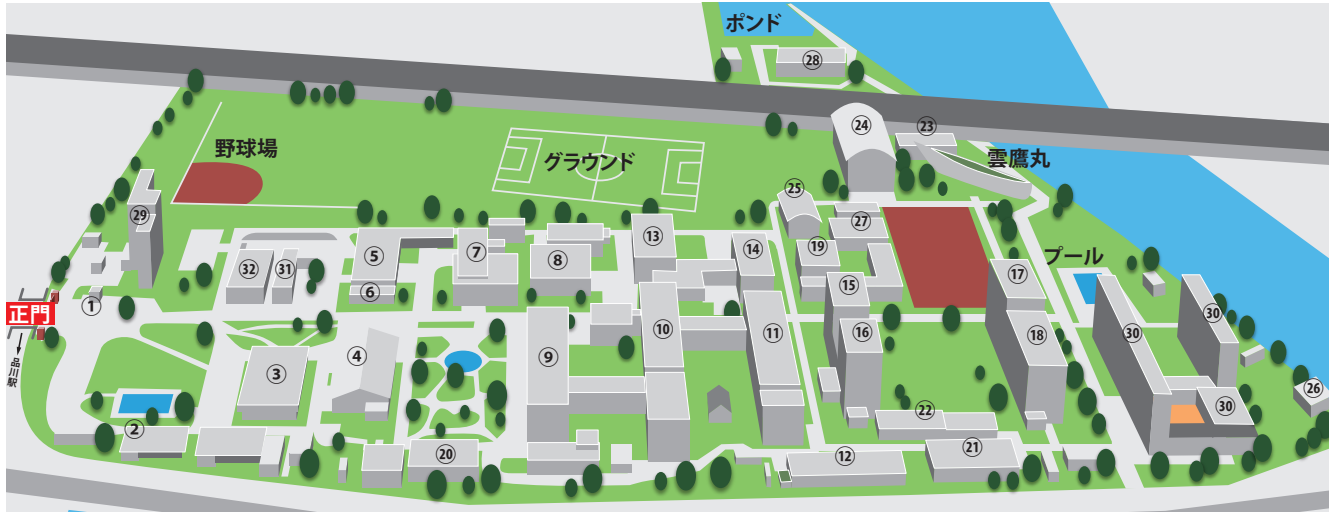


令和3年度 卒業生の就職状況(%)



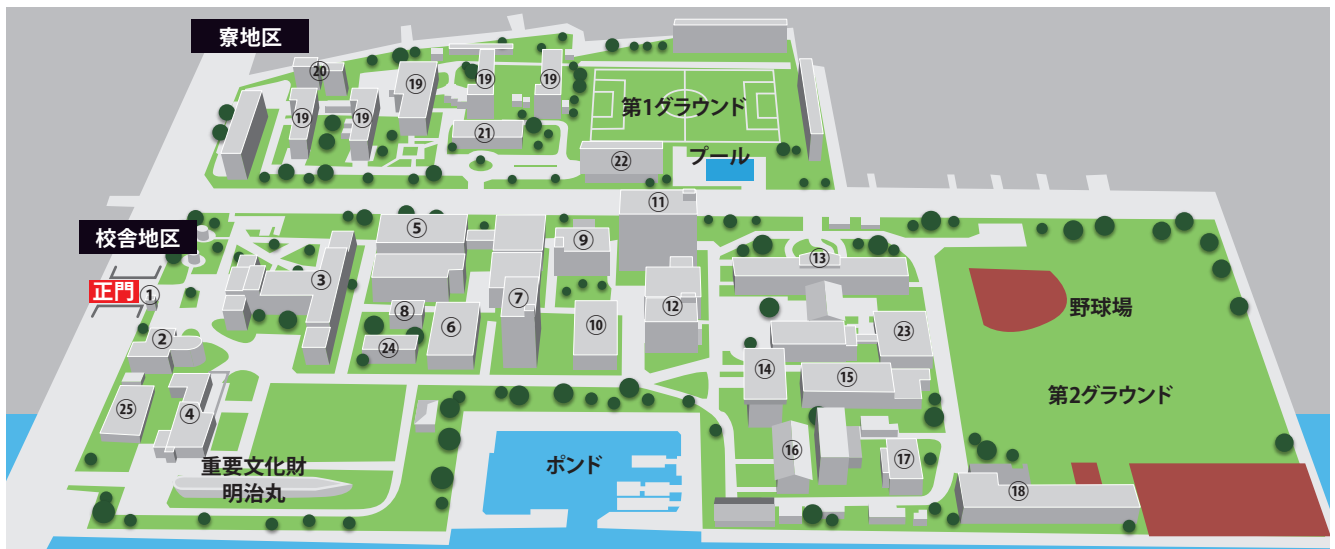
キャンパスガイド

海洋生命科学部・海洋資源環境学部（品川キャンパス）



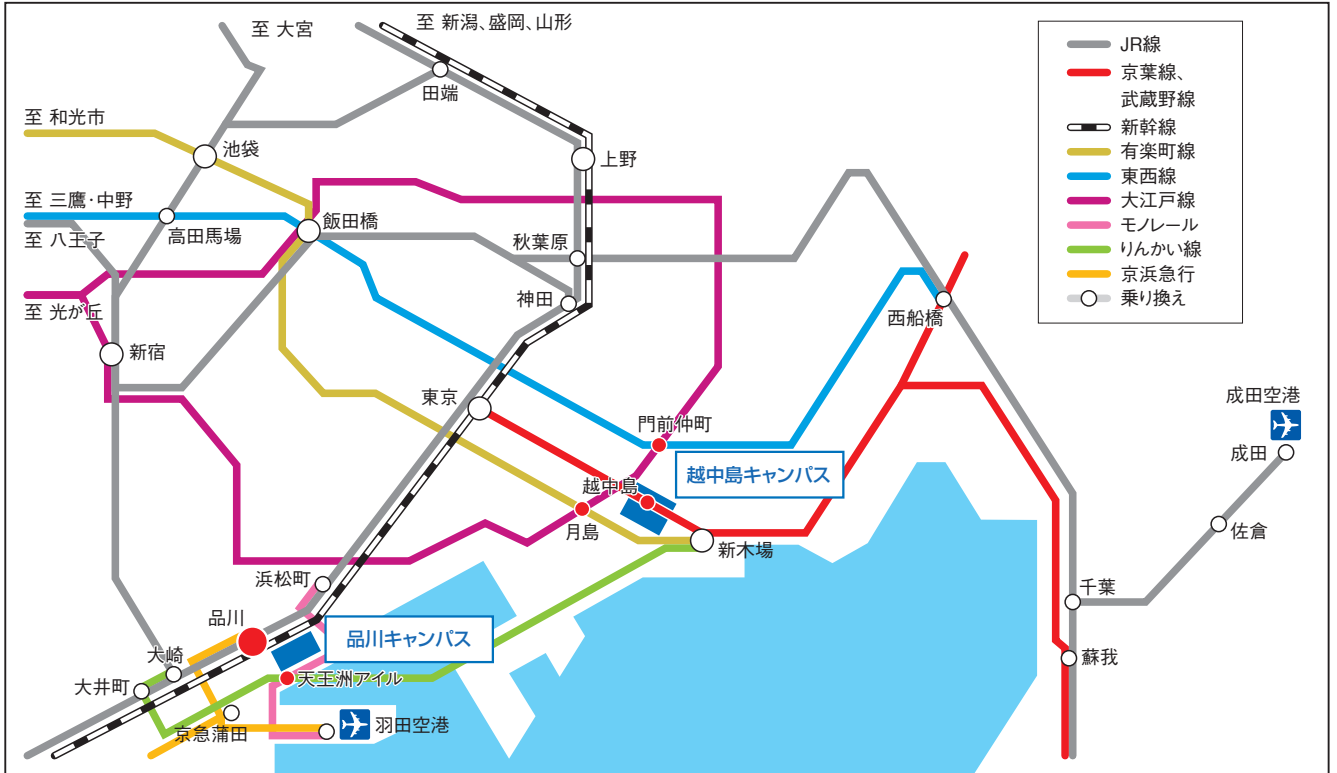
- | | | | |
|----------------------|--------------------|---------------------|--------------|
| ① 守衛所 | ⑨ 1号館 | ⑰ 8号館 | ⑳ 武道館 |
| ② 保健管理センター | ⑩ 2号館 | ⑱ 9号館 | ㉑ 弓道場 |
| ③ 本部管理棟 | ⑪ 3号館 | ㉒ 特殊実験棟（総合情報基盤センター） | ㉒ 課外活動施設 |
| ④ 中部講堂 | ⑫ 4号館 | ㉓ 回流水槽実験棟 | ㉓ 艇庫 |
| ⑤ マリンサイエンスミュージアム | ⑬ 講義棟（学務部） | ㉔ 放射性同位元素管理センター | ㉔ 国際交流会館 |
| ⑥ 鯨ギャラリー | ⑭ 5号館 | ㉕ 水理模型実験棟 | ㉕ 学生寮（朋鷹寮） |
| ⑦ 附属図書館 | ⑮ 6号館 | ㉖ 漁業機械学実験実習棟 | ㉖ 柔水会館 |
| ⑧ 大会館（グローバル教育研究推進機構） | ⑯ 7号館（産学・地域連携推進機構） | ㉗ 体育館 | ㉗ 白鷹館（就職支援室） |

海洋工学部（越中島キャンパス）

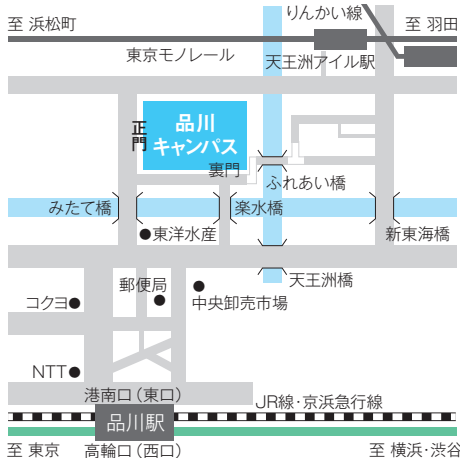


- | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---------------|--------------------|
| ① 守衛所 | ⑧ ターボ動力実験棟 | ⑱ 艇庫 | ㉔ 船舶機関室シミュレータセンター棟 |
| ② 産学・地域連携推進機構
越中島オープンラボ棟 | ⑨ 産学・地域連携推進機構 | ㉕ 課外活動棟 | ㉕ 明治丸記念館 |
| ③ 1号館 | ⑩ 附属図書館越中島分館 | ⑱ 船舶運航性能実験水槽棟 | |
| ④ 百周年記念資料館 | ⑪ 2号館（総合情報基盤センター） | ㉖ 学生寮（海王寮） | |
| ⑤ 第1実験棟 | ⑫ 3号館 | ㉗ 国際交流会館 | |
| ⑥ 第2実験棟 | ⑬ 越中島会館（保健管理センター） | ㉘ 八十五周年記念会館 | |
| ⑦ 第3実験棟 | ⑭ 第4実験棟 | ㉙ 体育館 | |
| | ⑮ 第5実験棟 | ㉚ マリン・カフェ | |

交通案内



品川キャンパス

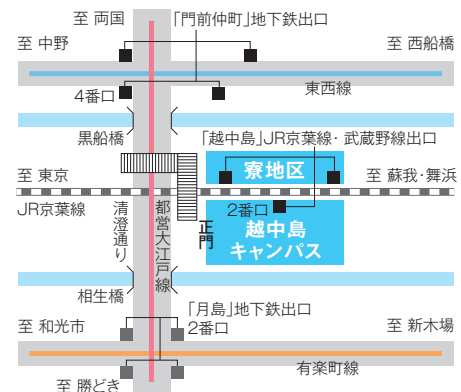


- JR線、東海道新幹線及び京浜急行線「品川駅」自由通路港南口（東口）を経て正門まで徒歩10分
 - 東京モノレール・りんかい線「天王洲アイル駅」からふれあい橋を渡り正門まで徒歩20分
- 〒108-8477
東京都港区港南 4-5-7
TEL.03-5463-0400（代表）



「品川キャンパス」から都心をのぞむ

越中島キャンパス



- JR京葉線・武蔵野線「越中島駅」（各駅停車のみ）2番出口徒歩2分
 - 地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」4番出口徒歩10分
 - 地下鉄有楽町線、大江戸線「月島駅」2番出口徒歩10分
- 〒135-8533
東京都江東区越中島 2-1-6
TEL.03-5245-7300（代表）



「越中島キャンパス」関東平野をのぞむ

2023(令和5)年度 学部入試日程

●学部入試の出願はインターネット出願で行います

www.kaiyodai.ac.jp/ から **入試** または **大学で学びたい方** をクリック！

入試区分		出願期間	入学試験日・面接日	合格発表日	備考	
総合型選抜	海洋生命科学部 海洋生物資源学科 食品生産科学科	2022年 11/1(火)～11/5(土)	第1次選抜	2022年11/25(金)	2022年12/9(金)	総合型選抜(C、E)は、第1次選抜で最終合格となります。
			第2次選抜	2022年12/20(火)	2023年1/17(火)	海洋生命科学部海洋生物資源学科の総合型選抜(A)のみ第2次選抜を実施します。
	海洋政策文化学科	2022年 9/1(木)～9/7(水)	第1次選抜	2022年9/30(金)	2022年11/1(火)	総合型選抜(B)は、第1次選抜で最終合格となります。
			第2次選抜	2022年11/25(金)	2022年12/9(金)	総合型選抜(A)の条件付合格者には、最終結果を2023年2月8日(水)以降に通知します。
	海洋工学部	2022年 9/1(木)～9/7(水)	第1次選抜	2022年 9/14(水)～9/22(木)	2022年10/14(金)	書類選考
			第2次選抜	2022年10/21(金)	2022年11/11(金)	
海洋資源環境学部	2022年 11/1(火)～11/5(土)		2022年11/25(金)	2022年12/9(金)		
学校推薦型選抜	海洋生命科学部 海洋生物資源学科 食品生産科学科	2022年 11/1(火)～11/5(土)	第1次選抜	2022年11/25(金)	2022年12/9(金)	
			第2次選抜	2022年12/20(火)	2023年1/17(火)	海洋生命科学部海洋生物資源学科の学校推薦型選抜(B)のみ第2次選抜を実施します。
	海洋資源環境学部		2022年11/25(金)	2022年12/9(金)		
	海洋生命科学部 海洋政策文化学科	2023年 1/23(月)～2/1(水)		書類選考	2023年2/8(水)	
一般選抜・私費外国人留学生特別入試	海洋生命科学部 海洋工学部 海洋資源環境学部	前期日程	2023年 1/23(月)～2/1(水)	2023年2/25(土)	2023年3/7(火)	※私費外国人留学生特別入試は前期日程の出願期間、試験日、合格発表日と同じ。
		後期日程		2023年3/12(日)	2023年3/23(木)	

出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新の情報を確認してください。


OPEN CAMPUS

東京海洋大学で「1日大学生」してみよう。

オープンキャンパスを夏と秋の2回、開催します！
大学・学部紹介、模擬講義、研究室紹介、入試相談など盛りだくさんのメニューでみなさまの参加をお待ちしています。

学部	第1回(夏季)	第2回(秋季)
海洋生命科学部	2022年7月20日(水)～ オンライン開催 ※海洋工学部のみ対面でも開催予定です。 2022年7月29日(金)	2022年10月下旬 ※日程などの詳細は、 追ってお知らせいたします。
海洋工学部		
海洋資源環境学部		

大学案内等の資料請求方法

 「テレメール」から請求


■ パソコン・スマートフォン・携帯電話

<https://telemail.jp/shingaku>



■ カスタマーセンター

TEL **050-8601-0102** (9:30～18:00)

 「モバっちょ」から請求

■ パソコン・スマートフォン・携帯電話

<https://djcm-b.jp/kaiyodai/>



■ カスタマーセンター

TEL **050-3540-5005** (平日10:00～18:00)

東京海洋大学の動画を見よう
Scientist Profile

東京海洋大学では、海洋に関するはもちろん、持続可能な社会に貢献する数多くの研究に取り組んでいます。世界の最先端の研究を行う教授陣、それらの研究を実践の中から吸収する学生達。その研究者や、学生などの『今』を切り取った映像サイエンティストプロフィールを是非、ご覧ください！！

「海洋大サイエンティスト」で検索！



東京海洋大学ホームページ

